

三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務

# 設 計 図

青 森 県

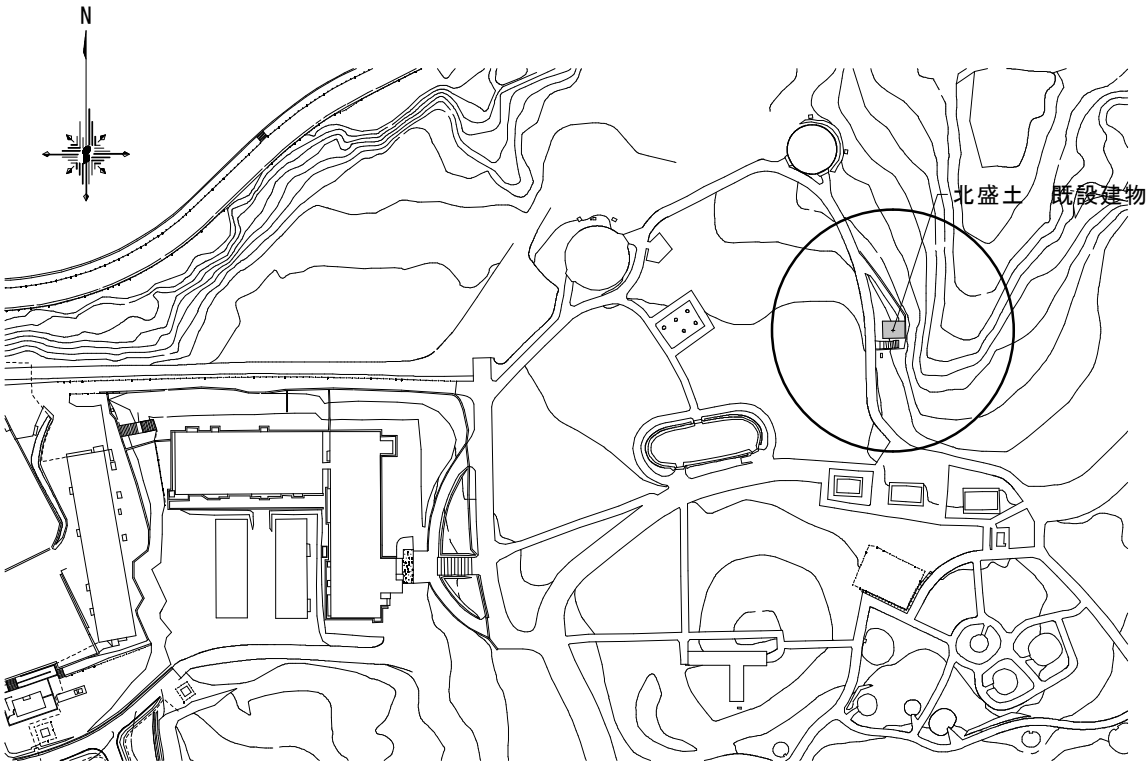
株式会社イビソク 仙台支店

図 面 目 録 （ １ / ２ ）

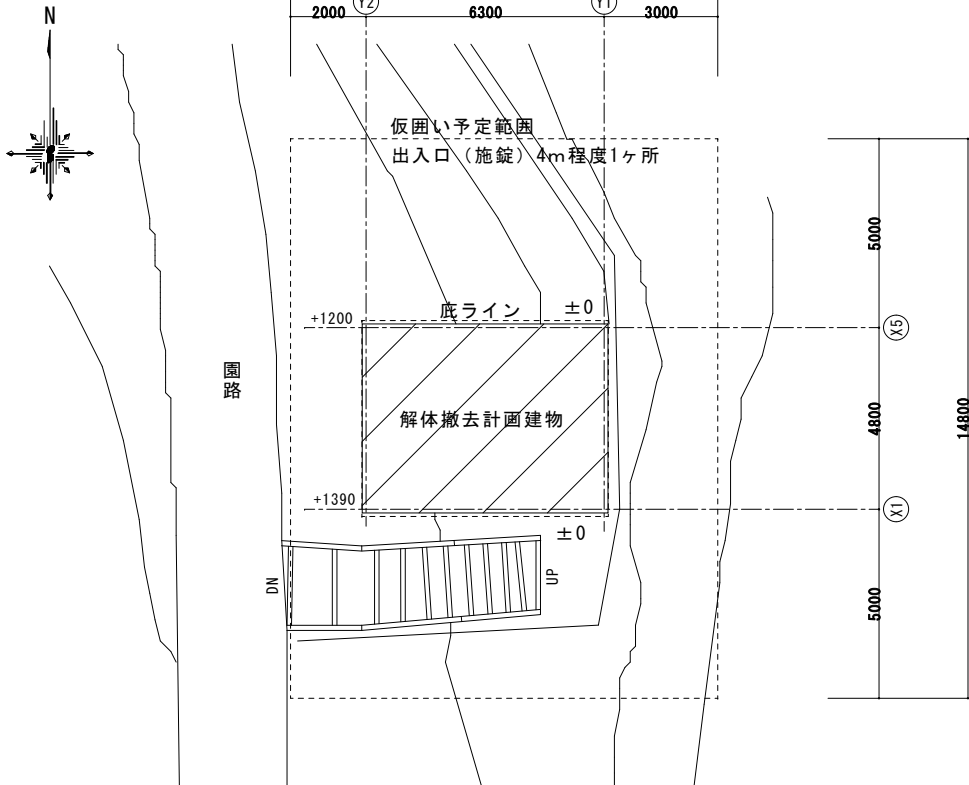
図面番号	図 面 名 称	縮 尺		図面番号	図 面 名 称	縮 尺	
		A1	A3			A1	A3
北覆 解-01	案内図、配置図、面積表、求積図・表	1/50	1/100	北覆 意-15	AD-1 姿図	1/40	1/80
北覆 解-02	平面図、基礎伏図、立面図、展開図	1/50	1/100	北覆 意-16	AD-1 縦断面図	1/2	1/4
北覆 意-01	案内図、配置図、面積表	1/150	1/300	北覆 意-17	AD-1 縦断面図	1/2	1/4
北覆 意-02	仕上表、床面積求積、開口部の検討	1/50	1/100	北覆 意-18	AD-1 平断面図	1/2	1/4
北覆 意-03	平均天井面の算定、排煙の検討	1/50	1/100	北覆 意-19	AD-1 平断面図	1/2	1/4
北覆 意-04	平面図、屋根伏図	1/50	1/100	北覆 構-01	構造特記仕様書（１）	-	-
北覆 意-05	立面図	1/50	1/100	北覆 構-02	構造特記仕様書（２）	-	-
北覆 意-06	断面図	1/50	1/100	北覆 構-03	構造仕様書	-	-
北覆 意-07	平面詳細図	1/20	1/40	北覆 構-04	鉄骨構造基準	-	-
北覆 意-08	矩計図	1/20	1/40	北覆 構-05	構造図 1	1/50	1/100
北覆 意-09	展開図	1/50	1/100	北覆 構-06	構造図 2	1/50	1/100
北覆 意-10	建具表、開口部の検討	1/50	1/100	北覆 E-01	電気設備特記仕様書（１）	-	-
北覆 意-11	AW-1 姿図	1/40	1/80	北覆 E-02	電気設備特記仕様書（２）	-	-
北覆 意-12	AW-1 縦断面図	1/2	1/4	北覆 E-03	工事区分表	-	-
北覆 意-13	AW-1 平断面図	1/2	1/4	北覆 E-04	電灯分岐設備図	1/50	1/100
北覆 意-14	AW-1 網戸詳細図	1/2	1/4	北覆 E-05	コンセント分岐・電灯幹線・動力設備図	1/50	1/100

図 面 目 録 （ 2 / 2 ）

図面番号	図 面 名 称	縮 尺		図面番号	図 面 名 称	縮 尺	
		A1	A3			A1	A3
北覆 M-01	機械設備 特記仕様書（１）	－	－	北土-10	覆屋内断面図（２）	1/20	1/40
北覆 M-02	機械設備 特記仕様書（２）	－	－	北土-11	覆屋内断面図（３）	1/20	1/40
北覆 M-03	機械設備 特記仕様書（３）	－	－	北土-12	撤去工平面図	1/150	1/300
北覆 M-04	案内図、配置図、凡例	1/150	1/300	北土-13	撤去工詳細図	1/10	1/20
北覆 M-05	空調換気設備 機器表	－	－	北土-14	覆屋内壁面求積図	1/50	1/100
北覆 M-06	空調換気設備 １階平面図	1/50	1/100	北土-15	工事仮設図	1/250	1/500
北覆 M-07	消火設備 １階平面図	1/50	1/100	北土-16	工事仮設詳細図	1/30	1/60
北土-01	作業工程図	1/100	1/200				
北土-02	整備計画平面図	1/150	1/300				
北土-03	整備断面図	1/50	1/100				
北土-04	階段工詳細図	図示	図示の1/2				
北土-05	舗装工詳細図	1/10	1/20				
北土-06	付属施設工詳細図	1/10	1/20				
北土-07	植生工平面図	図示	図示の1/2				
北土-08	覆屋内平面図	1/10	1/20				
北土-09	覆屋内断面図（１）	1/20	1/40				



案 内 図



配置図、仮設計画図 1/100

既 設 建 物 面 積 表			
建物概要	鉄筋コンクリート造平屋建	都市計画区域	都市計画区域内市街化区域
工事種別	改築	用途地域	第2種住居地域
建物用途	展示施設	防火、準防火地域	指定なし
敷地地名地番	青森県青森市大字三内 地内	その他の地域地区	
敷地面積	㎡	景観計画区域	景観形成重点地区内
建築基準法第52条 第1項の建ぺい率	60 %		景観法・青森市景観条例及び 景観形成基準に従う事。
建築基準法第53条 第1項の容積率	200 %		景観法・青森市景観条例に係る 事前協議・届出を行う事。
建築面積	30.24 ㎡		青森県・青森市の推奨色範囲に従う事。
延べ床面積	30.24 ㎡	都市計画公園	内（青森県総合運動公園）
1階床面積	30.24 ㎡		

外部仕上

屋根	塩ビ鋼板 エパールーフⅠ型 ヨコ葺
	アスファルトルーフィング 22Kg品
	FGボード t12+12

棟包	塩ビ鋼板 t06加工
水切	塩ビ鋼板 t0.6加工
カマクラ採光型スモークハッチ	SH-1600G (2000×1040)
ガラス	網入り磨きガラス t6.8+フィルム貼

表し鉄部	SOP
外壁	打放し仕上

内部仕上

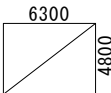
天井	屋根FGボード表しのまま
表し鉄部	SOP
壁	打放し仕上
妻ガラス	フロートガラス t6+フィルム貼
床（観覧路）	土間コンクリート金鍍仕上

建具

アルミ製両開き框ドア	W1700×H1900 2ヶ所
ガラス	網入り磨きガラス t6.8+フィルム貼

観覧路手摺

鋼製枠 (50×50×2.3) SOP
アクリル板 t4

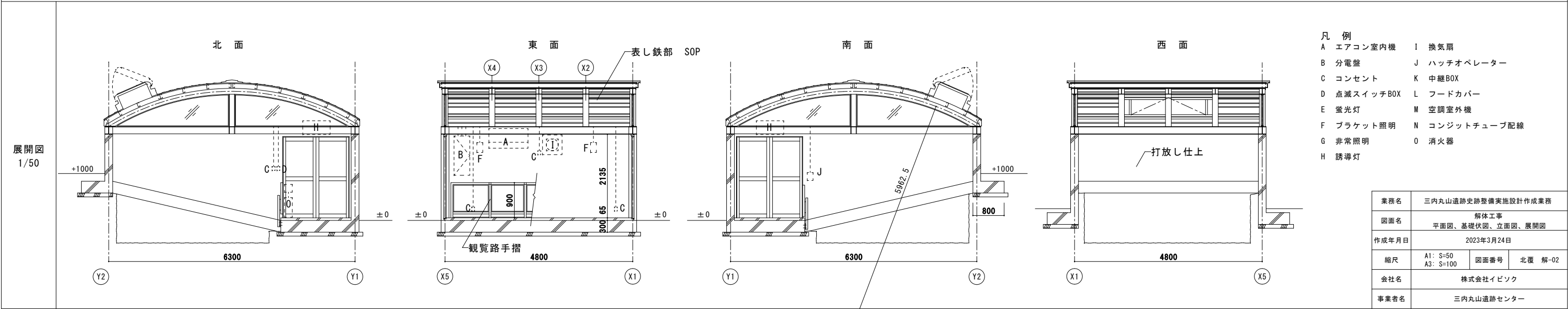
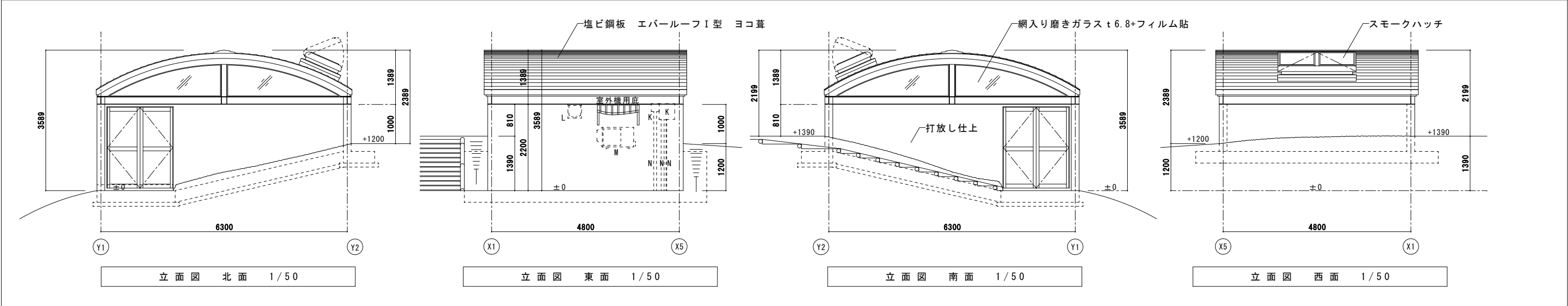
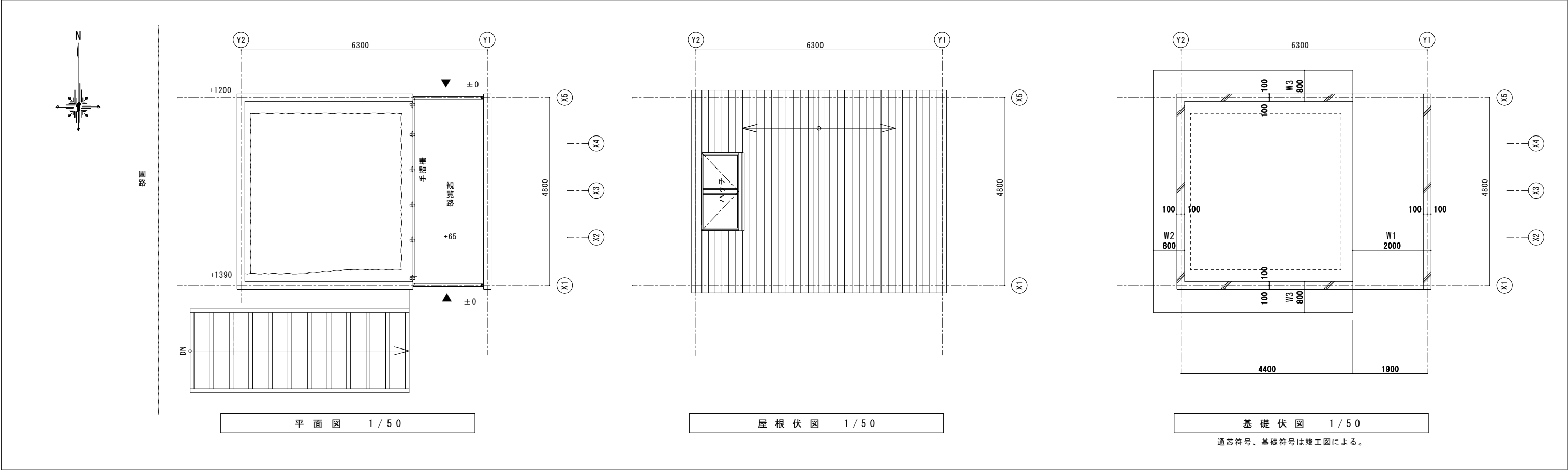


求 積 図

求 積 表

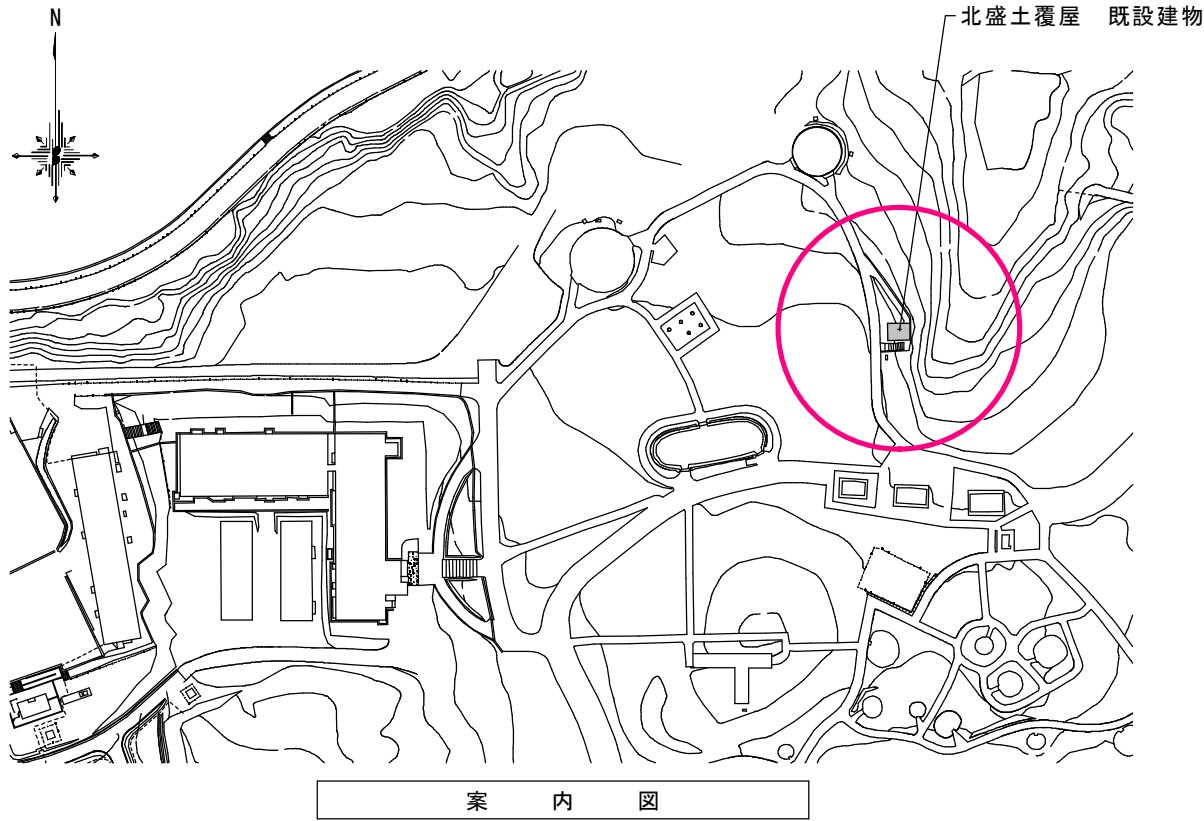
6.300×4.800 = 30.24	
床面積	=30.24㎡
建築面積	=30.24㎡

業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	解体工事 案内図、配置図、面積表、求積図・表		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=50 A3: S=100	図面番号	北覆 解-01
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		



- 凡 例
- A エアコン室内機
  - B 分電盤
  - C コンセント
  - D 点滅スイッチBOX
  - E 蛍光灯
  - F ブラケット照明
  - G 非常照明
  - H 誘導灯
  - I 換気扇
  - J ハッチオペレーター
  - K 中継BOX
  - L フードカバー
  - M 空調室外機
  - N コンジットチューブ配線
  - O 消火器

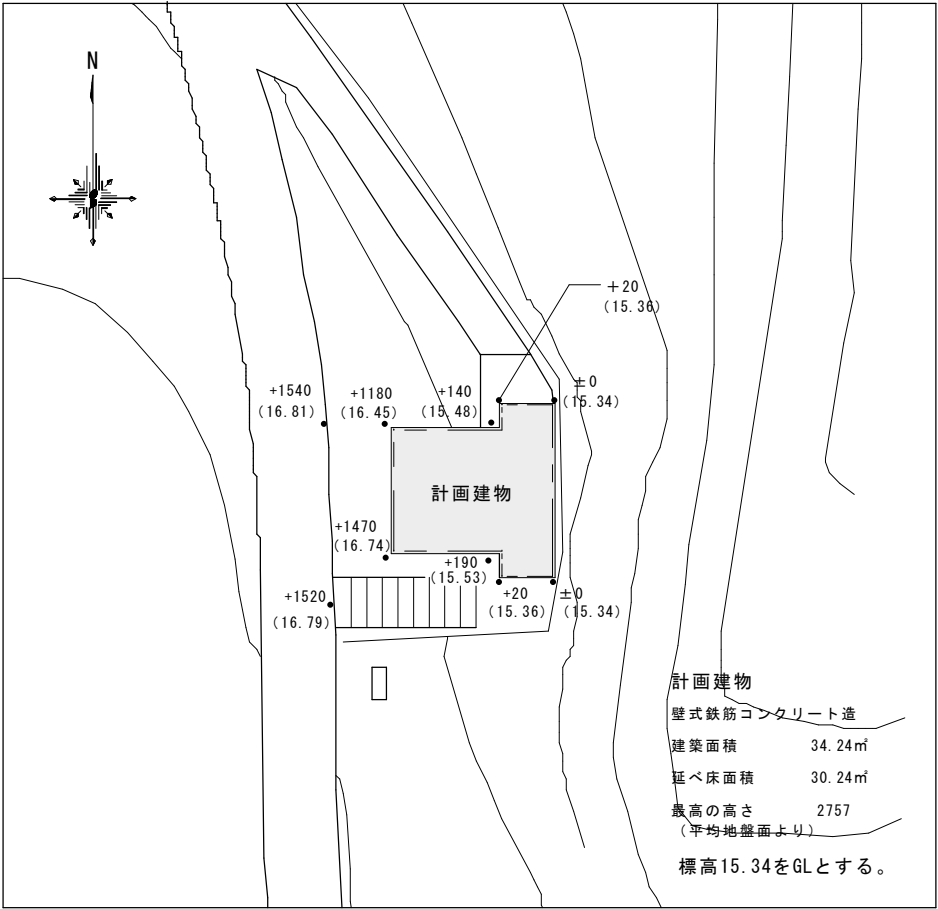
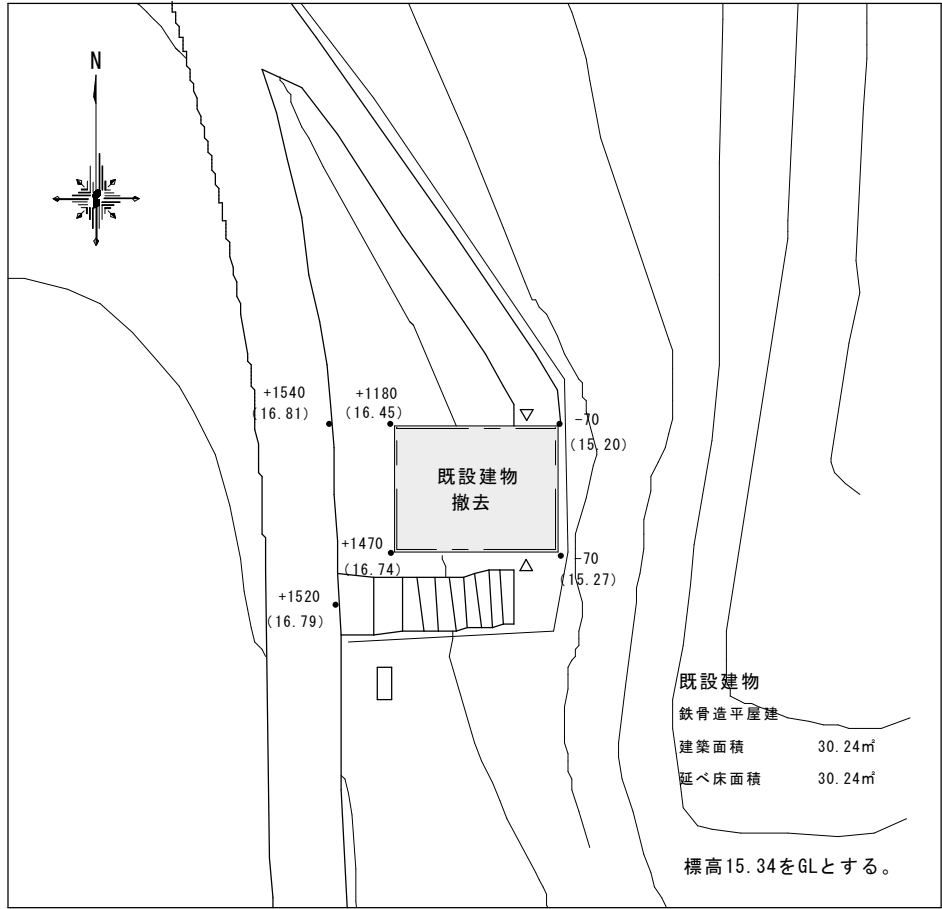
業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	解体工事 平面図、基礎伏図、立面図、展開図		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=50 A3: S=100	図面番号	北覆 解-02
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		



面 積 表			
建物概要	鉄骨造平屋建	都市計画区域	都市計画区域内市街化区域
工事種別	改築	用途地域	第2種住居地域
建物用途	展示施設	防火、準防火地域	指定なし
敷地地名地番	青森県青森市	その他の地域地区	
敷地面積	㎡	景観計画区域	景観形成重点地区内
建築基準法第52条 第1項の建ぺい率	60 %		景観法・青森市景観条例及び 景観形成基準に従う事。
建築基準法第53条 第1項の容積率	200 %		景観法・青森市景観条例に係る 事前協議・届出を行う事。
建築面積	34.24 ㎡ (ポーチ算入)		青森県・青森市の推奨色範囲に従う事。
延べ床面積	30.24 ㎡ (ポーチ不算入)	都市計画公園	内（青森県総合運動公園）
1階床面積	30.24 ㎡ (ポーチ不算入)		

建築工事仕様

- ・図面に記載されていない事項は国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書[建築工事編]（令和7年年版）」による。
- ・受注者は建築基準法に定める完了検査時には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料（報告書等）を用意する事。
- ・該当する建築基準関係規定、他法令、条例を遵守施工し、申請、届出等を行う事。
- ・既設建物に地耐力不足に起因した事象は確認されていないことから、十分な地盤状態であると推察される。本設計では、既設建物と同様の規模・構造としており、現況地耐力を有していると期待できるが、既設建物の撤去に合わせ監督員の指定する位置（1ヶ所）にて、載荷による確認試験を実施する。



業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	案内図、配置図、面積表		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=150 A3: S=300	図面番号	北覆 意-01
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

外部仕上表																																																																									
屋 根	上 裏	外 壁（ 腰 上 ）	腰	ポ ー チ	備 考																																																																				
<div>・カラーガルバニウム鋼板 t＝0.6 （三晃金属工業（株） 立馳SX-40キャップレスタイプ 山高38.8同等品）</div> <div>・改質アスファルトフィング t＝1.0 23kg/巻</div> <div>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材100mm（50mm×2） 3種 bD λ22 （スタイロフォームFG同等品）</div> <div>・硬質木片セメント板 t＝25</div> <div>・軒先鼻隠し（屋根同材）カラーガルバニウム鋼板 t＝0.6</div> <div>・ケラバ、破風（屋根同材）カラーガルバニウム鋼板 t＝0.6</div>	<div>・カラーガルバニウム角波鋼板 t＝0.4 LGS下地</div> <div>・上裏取合い（屋根同材）カラーガルバニウム鋼板 t＝0.6</div>	<div>・カラーガルバニウム鋼板 t＝0.4 三晃金属 美段15@225H＝15（バックアップ材）同等品</div> <div>・透湿防水シート（遮熱） フクビ遮熱エアテックスRST同等品</div> <div>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材50mm 3種 bD λ22 （スタイロフォームFG同等品）</div> <div>・硬質木片セメント板 t＝18</div> <div>・上裏、外壁取合い（外壁同材）カラーガルバニウム鋼板 t＝0.4</div> <div>・腰水切（外壁同材）カラーガルバニウム鋼板 t＝0.4</div>	<div>・外張断熱材直塗り仕上げ材 デュボン・スタイロ株式会社バツモル太郎同等品 （バツモルネットを含む）</div> <div>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材50mm 3種 bD λ22 （スタイロフォームFG同等品）</div>	<div>屋根</div> <div>・屋根に同じ</div> <div>天井</div> <div>・カラーガルバニウム鋼板 t＝0.4 LGS下地</div> <div>壁（腰上）</div> <div>・外壁に同じ</div> <div>腰</div> <div>・外部腰に同じ</div> <div>床</div> <div>・モルタル帯目（押え目地）</div>																																																																					
内部仕上表																																																																									
床	腰	壁（腰上）	天 井		備 考																																																																				
<div>・モルタル金鍍仕上（基礎スラブの上） t＝65 目地2m内</div>	<div>・コンクリート打放仕上</div>	<div>・表しのまま</div>	<div>・表しのまま</div>		<div>表し鉄部塗装</div> <div>・合成樹脂調合ペイント（SOP）塗装種類1種、種別A種</div> <div>・錆止め塗料種類1種、塗り種別A種（見え隠れはB種）</div> <div>手 摺（観覧路）</div> <div>・自立ガラスフェンス ガラス厚10+10mm、床付け用H1000 （スガツネ工業：自立ガラスフェンスシステム バラストレイドMAX同等品）</div> <div>・アルミ製片開き門扉H1100</div>																																																																				
床面積の算定			開口部の検討																																																																						
<div><div><div><div><div>ポーチ</div><div>3</div></div><div>2000</div><div>1000</div><div>1</div><div>4800</div><div>6300</div><div>1000</div><div>2000</div><div>2</div><div>ポーチ</div></div><div>求積図</div></div><div><div>工事床面積の算定</div><table><tr><td>①</td><td>6.300×4.800</td><td>=</td><td>30.240</td></tr><tr><td>+</td><td>②</td><td>2.000×1.000</td><td>= 2.000</td></tr><tr><td>+</td><td>③</td><td>2.000×1.000</td><td>= 2.000</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td></td><td>35.020</td></tr><tr><td colspan="2">工事床面積</td><td></td><td>34.24㎡</td></tr></table></div><div><div>基準法床面積の算定（ポーチ不算入）</div><table><tr><td>①</td><td>6.300×4.800</td><td>=</td><td>30.240</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>床面積</td><td>30.24 ㎡</td></tr></table><div>基準法建築面積の算定（ポーチ算入）</div><table><tr><td>①</td><td>6.300×4.800</td><td>=</td><td>30.240</td></tr><tr><td>+</td><td>②</td><td>2.000×1.000</td><td>= 2.000</td></tr><tr><td>+</td><td>③</td><td>2.000×1.000</td><td>= 2.000</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>建築面積</td><td>34.24 ㎡</td></tr></table></div></div>			①	6.300×4.800	=	30.240	+	②	2.000×1.000	= 2.000	+	③	2.000×1.000	= 2.000	計			35.020	工事床面積			34.24㎡	①	6.300×4.800	=	30.240	計		床面積	30.24 ㎡	①	6.300×4.800	=	30.240	+	②	2.000×1.000	= 2.000	+	③	2.000×1.000	= 2.000	計		建築面積	34.24 ㎡	<div><div><div><div><div>1</div><div>AW</div></div><div>1</div><div>AW</div></div><div>1</div><div>AD</div></div><div>遺構</div><div>観覧路</div><div><div><div>1</div><div>AW</div></div><div>1</div><div>AW</div></div><div>1</div><div>AD</div></div> <div><div><div>1</div><div>AW</div></div>排煙採用窓 W0.700m×H0.300</div> <div><div>1</div><div>AD</div></div> 採光採用窓 W0.900m×H2.000 換気採用窓 消防有窓階用 <div><div>開口部の検討</div><table><tr><td>採光</td><td>必要 有効</td><td>30.24㎡×1/20 W0.900m×H2.000×2ヶ所</td><td>= =</td><td>1.512㎡ 3.600㎡</td><td>∴OK</td></tr><tr><td>換気</td><td>必要 有効</td><td>30.24㎡×1/20 W0.900m×H2.000×2ヶ所</td><td>= =</td><td>1.512㎡ 3.600㎡</td><td>∴OK</td></tr><tr><td>排煙</td><td>必要 有効</td><td>30.24㎡×1/50 W0.700m×H0.300×4ヶ所</td><td>= =</td><td>0.605㎡ 0.840㎡</td><td>∴OK</td></tr><tr><td>消防</td><td>有窓必要面積 有効</td><td>30.24㎡×1/30 W0.900m×H2.000×2ヶ所</td><td>= =</td><td>1.008㎡ 3.600㎡</td><td>∴有窓</td></tr></table></div>			採光	必要 有効	30.24㎡×1/20 W0.900m×H2.000×2ヶ所	= =	1.512㎡ 3.600㎡	∴OK	換気	必要 有効	30.24㎡×1/20 W0.900m×H2.000×2ヶ所	= =	1.512㎡ 3.600㎡	∴OK	排煙	必要 有効	30.24㎡×1/50 W0.700m×H0.300×4ヶ所	= =	0.605㎡ 0.840㎡	∴OK	消防	有窓必要面積 有効	30.24㎡×1/30 W0.900m×H2.000×2ヶ所	= =	1.008㎡ 3.600㎡	∴有窓
①	6.300×4.800	=	30.240																																																																						
+	②	2.000×1.000	= 2.000																																																																						
+	③	2.000×1.000	= 2.000																																																																						
計			35.020																																																																						
工事床面積			34.24㎡																																																																						
①	6.300×4.800	=	30.240																																																																						
計		床面積	30.24 ㎡																																																																						
①	6.300×4.800	=	30.240																																																																						
+	②	2.000×1.000	= 2.000																																																																						
+	③	2.000×1.000	= 2.000																																																																						
計		建築面積	34.24 ㎡																																																																						
採光	必要 有効	30.24㎡×1/20 W0.900m×H2.000×2ヶ所	= =	1.512㎡ 3.600㎡	∴OK																																																																				
換気	必要 有効	30.24㎡×1/20 W0.900m×H2.000×2ヶ所	= =	1.512㎡ 3.600㎡	∴OK																																																																				
排煙	必要 有効	30.24㎡×1/50 W0.700m×H0.300×4ヶ所	= =	0.605㎡ 0.840㎡	∴OK																																																																				
消防	有窓必要面積 有効	30.24㎡×1/30 W0.900m×H2.000×2ヶ所	= =	1.008㎡ 3.600㎡	∴有窓																																																																				

業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	仕上表、床面積求積、開口部の検討		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1：S=50 A3：S=100	図面番号	北 覆 意-02
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

1

AW

排煙採用窓 W0.700m×H0.300

1

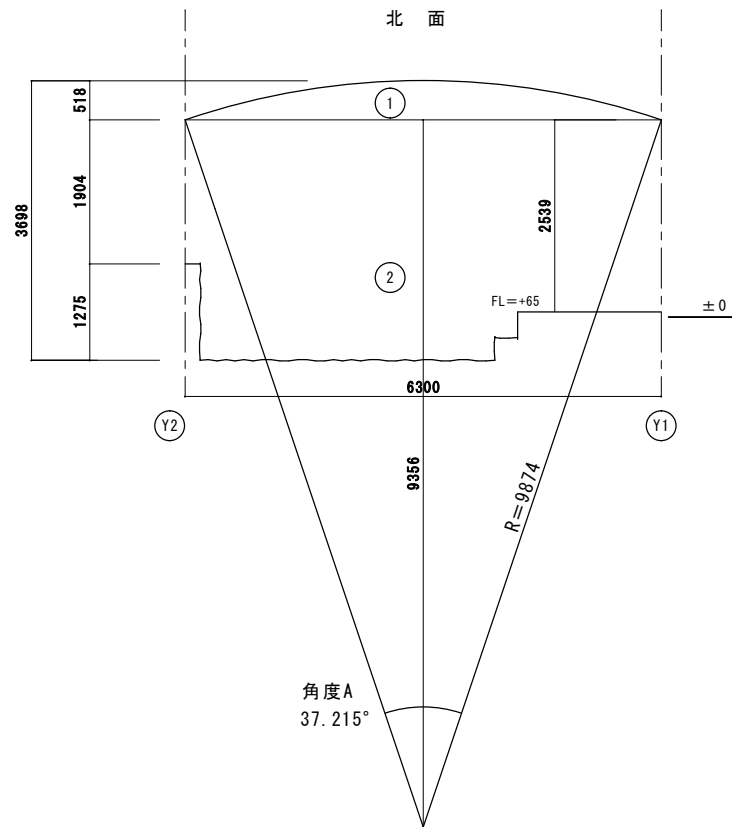
AD

採光採用窓  
換気採用窓  
消防有窓階用 W0.900m×H2.000

開口部の検討

採光	必要 有効	30.24㎡×1/20 W0.900m×H2.000×2ヶ所	= =	1.512㎡ 3.600㎡	∴OK
換気	必要 有効	30.24㎡×1/20 W0.900m×H2.000×2ヶ所	= =	1.512㎡ 3.600㎡	∴OK
排煙	必要 有効	30.24㎡×1/50 W0.700m×H0.300×4ヶ所	= =	0.605㎡ 0.840㎡	∴OK
消防	有窓必要面積 有効	30.24㎡×1/30 W0.900m×H2.000×2ヶ所	= =	1.008㎡ 3.600㎡	∴有窓

業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施施設設計作成業務		
図面名	仕上表、床面積求積、開口部の検討		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1：S=50 A3：S=100	図面番号	北覆 意-02
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		



円弧部分①面積

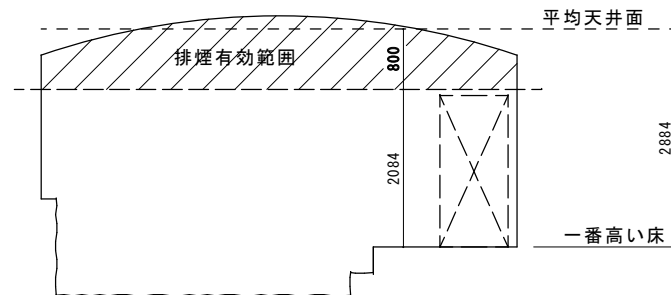
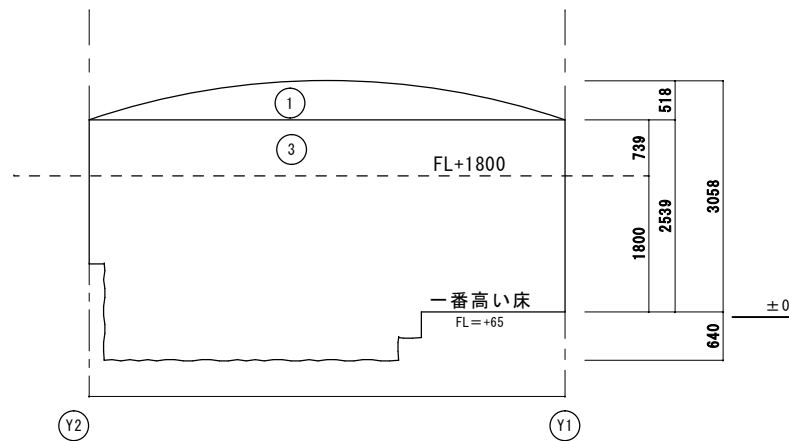
$$\textcircled{1}+\textcircled{2}=9.874\times 9.874\times \pi\times (\text{角度A}/360)$$

$$=31.646\text{㎡}$$

$$\textcircled{2}=6.300\times 9.356/2$$

$$=29.471\text{㎡}$$

$$\textcircled{1}=\textcircled{1}+\textcircled{2}-\textcircled{2}=31.646-29.471=2.175\text{㎡}$$



蓄煙可能な部分の断面積の算定

$$\textcircled{1} \quad 2.175\text{㎡}$$

$$\textcircled{3} \quad 4.655\text{㎡}$$

$$\text{合計} \quad 6.830\text{㎡}$$

蓄煙可能な部分の容積の算定

$$\text{容積} = \text{断面積} \times \text{奥行}$$

$$\text{奥行} \quad 4.800\text{m}$$

$$=6.830\times 4.800$$

$$=32.784\text{m}^3$$

平均天井面高さの算定

$$\text{平均天井面高さ}=1.800\text{m}+(\text{蓄煙可能容積}\div\text{床面積})$$

$$=1.800\text{m}+(32.784\text{m}^3/30.24\text{㎡})$$

$$=1.800\text{m}+1.084\text{m}$$

$$=2.884\text{m}$$

排煙有効高さの算定

$$\text{平均天井面から}0.800\text{m下がりラインから上部が}$$

$$\text{排煙有効高さ範囲となる}$$

排煙有効面積の算定

$$W0.700\times H0.300=0.210\text{㎡/か所}$$

$$0.210\text{㎡/ヶ所}\times 4ヶ所=0.840\text{㎡}$$

必要排煙開口面積

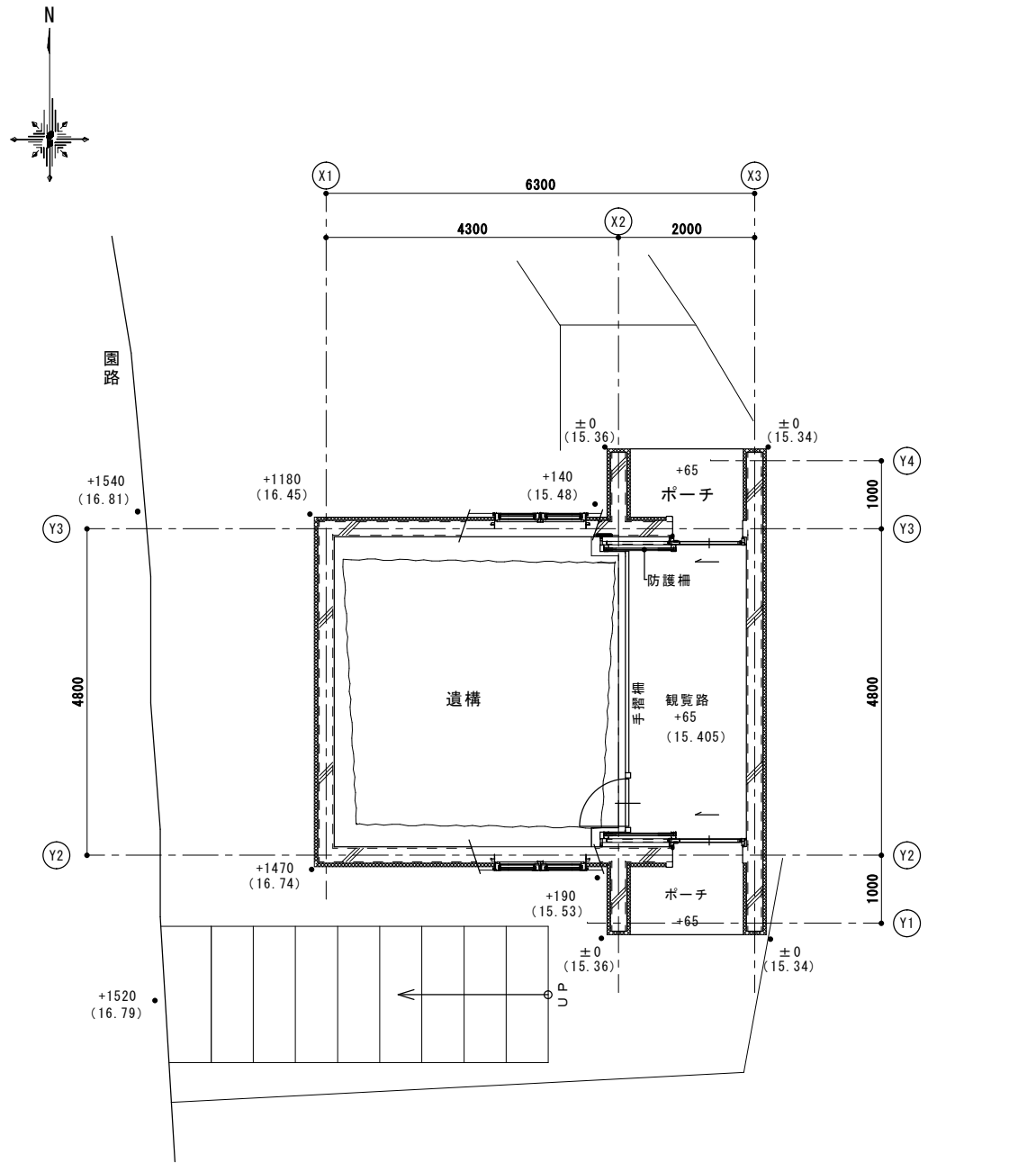
$$30.240\text{m}/50=0.605\text{㎡}$$

判定

$$\text{必要}0.605\text{㎡} < \text{有効}0.840\text{㎡} \quad \therefore \text{OK}$$

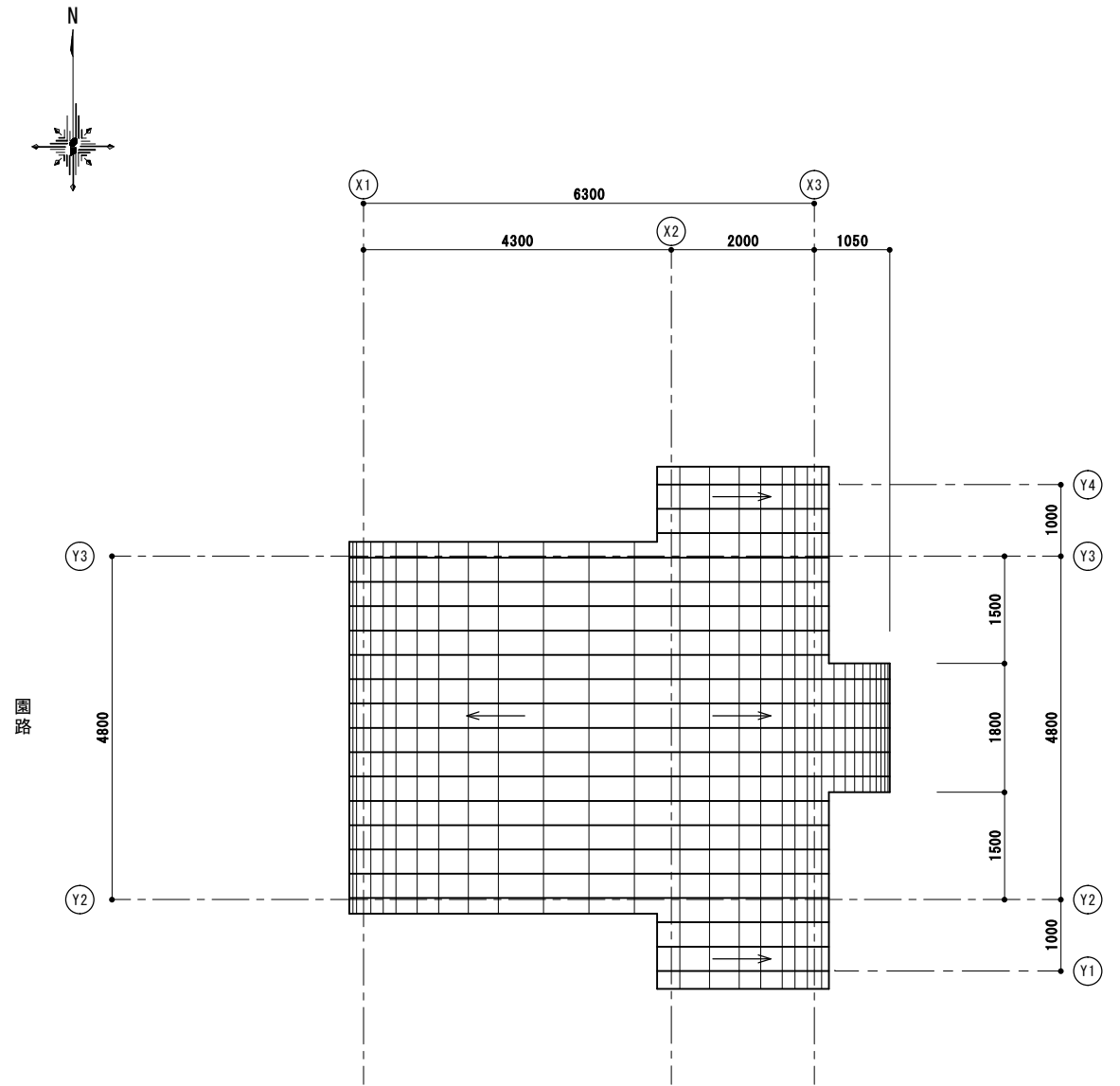
業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	平均天井面の算定、排煙の検討		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=50 A3: S=100	図面番号	北覆 意-03
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		





凡 例  
• +○○ ±0 (GL) からの高低差  
(○○) 標高

平 面 図 1 / 5 0



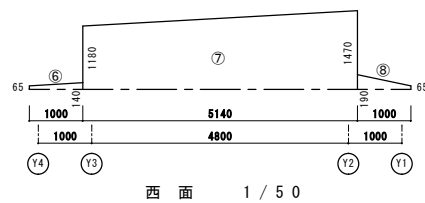
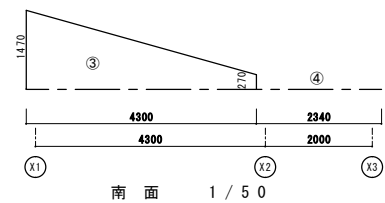
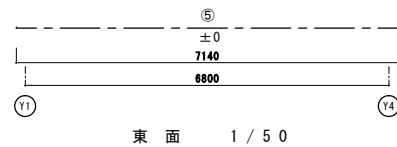
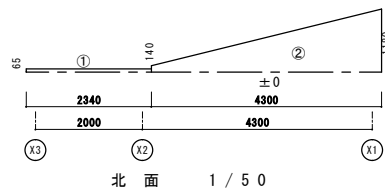
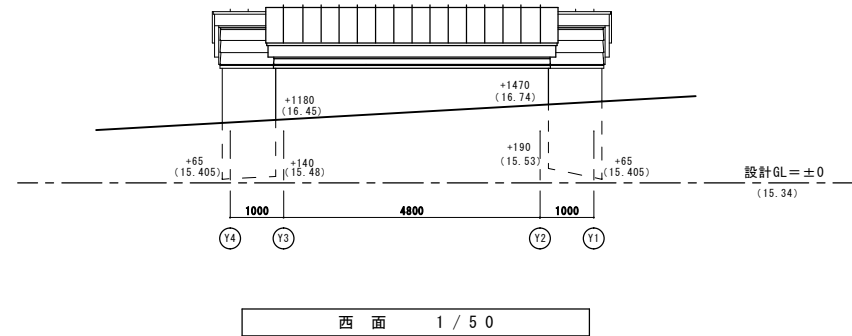
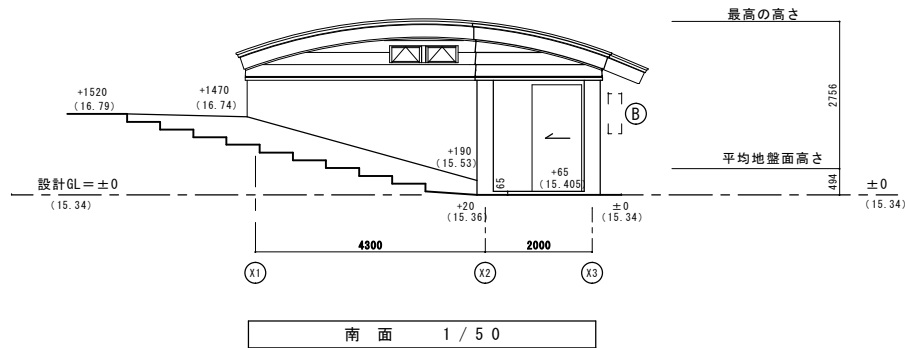
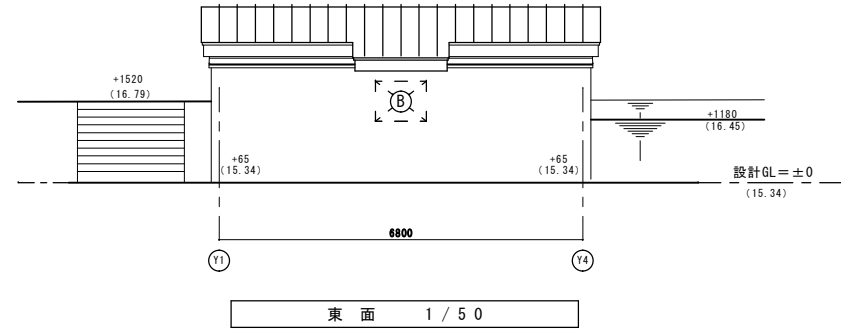
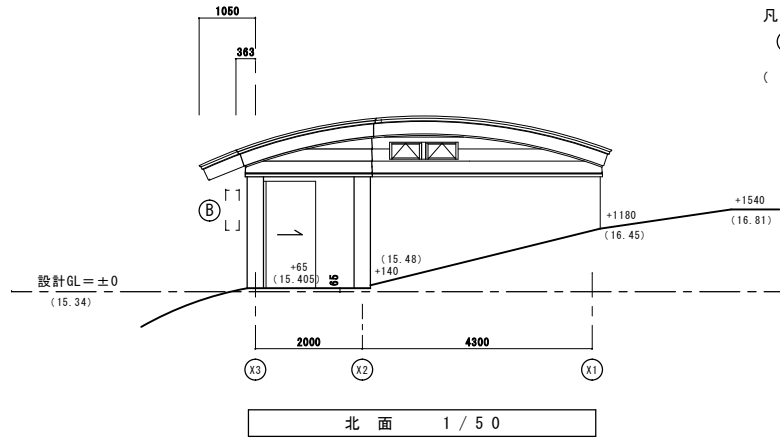
屋 根 伏 図 1 / 5 0

業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	北盛土覆屋 平面図、屋根伏図		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=50 A3: S=100	図面番号	北覆 意-04
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

凡 例

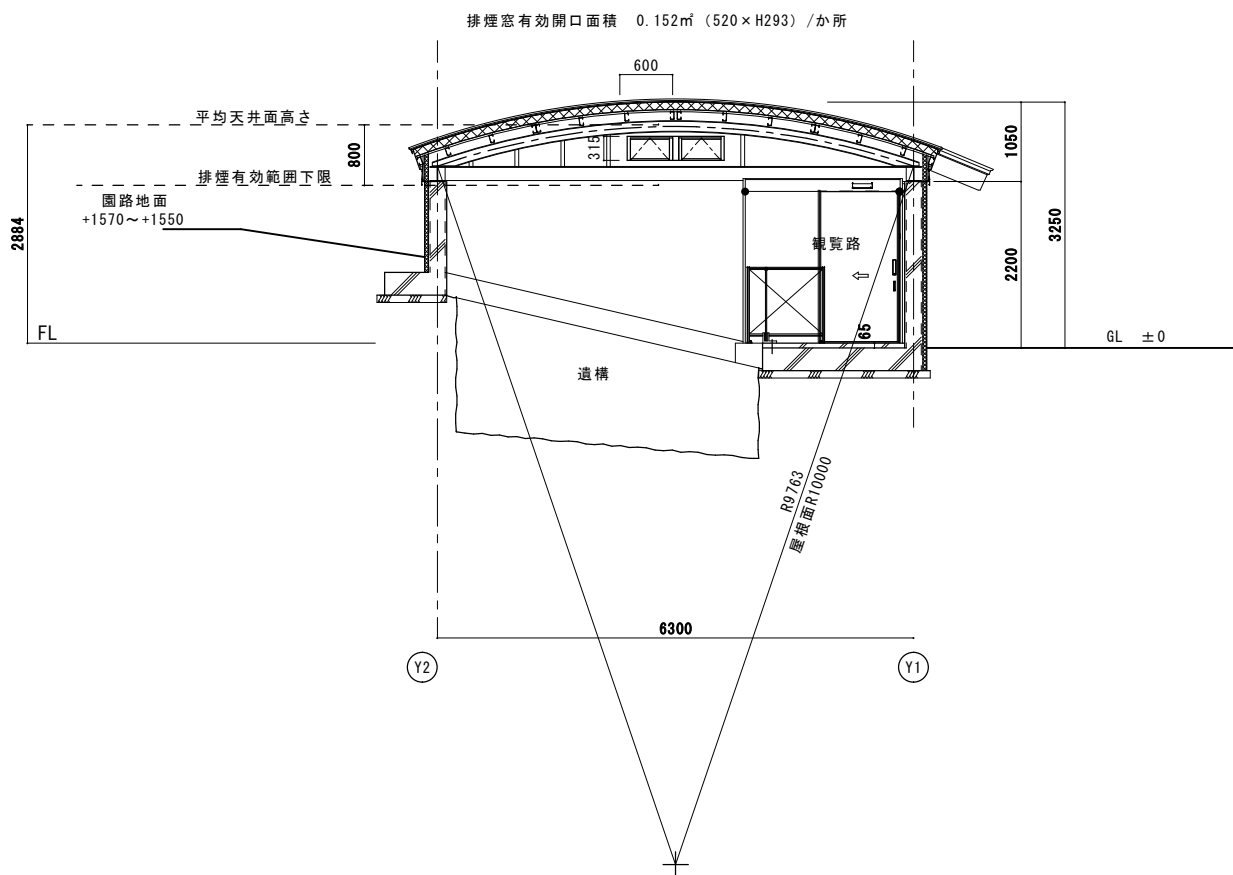
Ⓑ エアコン 室外機 壁付

( ) 内の数字は標高高さを示す。単位m

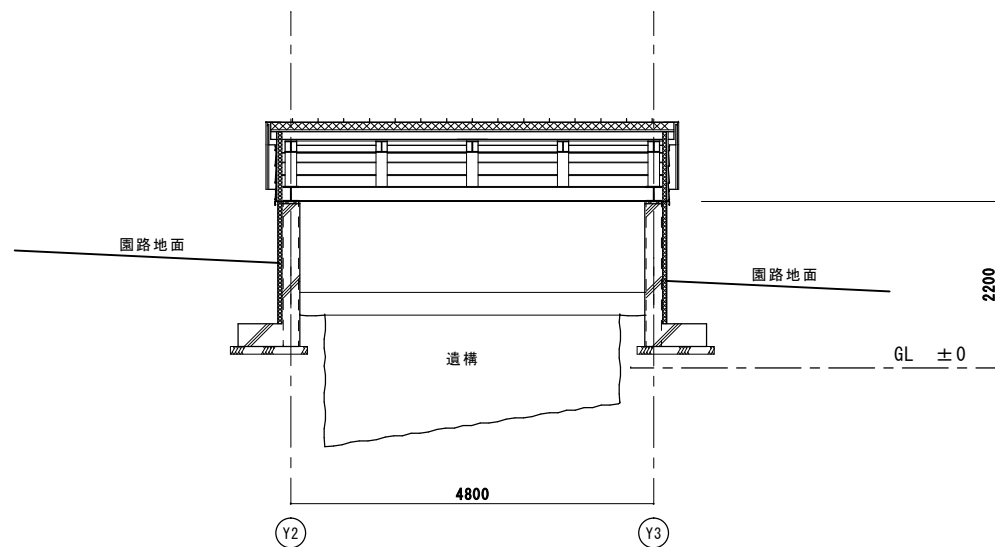


接地面積	符号	L (m)	H (m)	L×H (㎡)
北面	①	2.340	0.065	0.152
	②	4.300	(0.140+1.180) / 2	2.838
南面	③	4.300	(1.470+0.190) / 2	3.569
	④	2.340	0.02/2	0.023
東面	⑤	7.140	0	0
西面	⑥	1.000	(0.065+0.140) / 2	0.102
	⑦	5.140	(1.180+1.470) / 2	6.810
	⑧	1.000	(0.190+0.065) / 2	0.127
	Σ	27.560 m		13.621 ㎡
平均地盤面高さの算定 $\Sigma (L \times H) / \Sigma L = 13.621 \text{ ㎡} / 27.560 \text{ m} = 0.494 \text{ m}$				
従ってGL (標高15.34) +494mm (標高15.834) が平均地盤面高さとなる。				

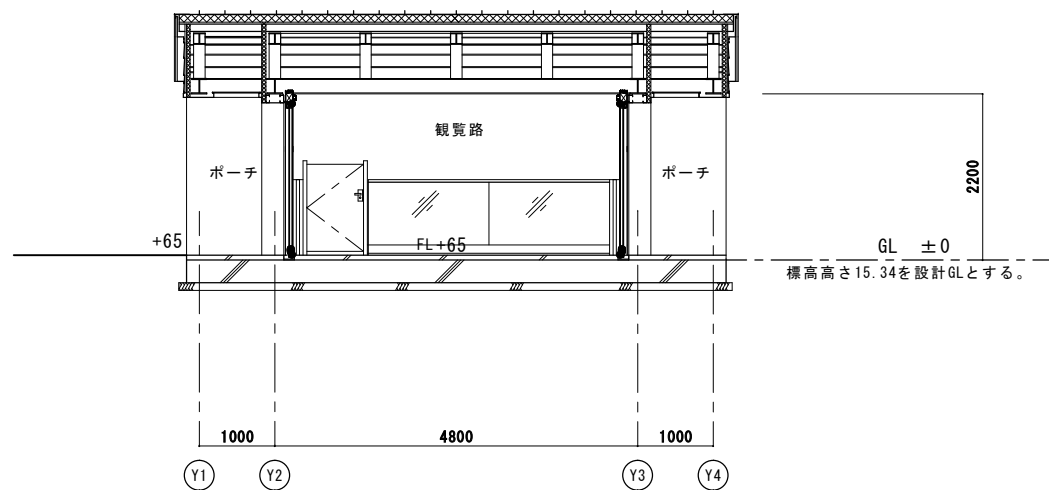
業務名	三内丸山道跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	立面図		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=50 A3: S=100	図面番号	北 覆 意-05
会社名	株式会社イビック		
事業者名	三内丸山道跡センター		



断面図 1 / 5 0

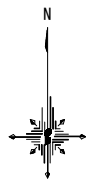


断面図 1 / 5 0



断面図 1 / 5 0

業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	北盛土覆屋 断面図		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=50 A3: S=100	図面番号	北覆 意-06
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

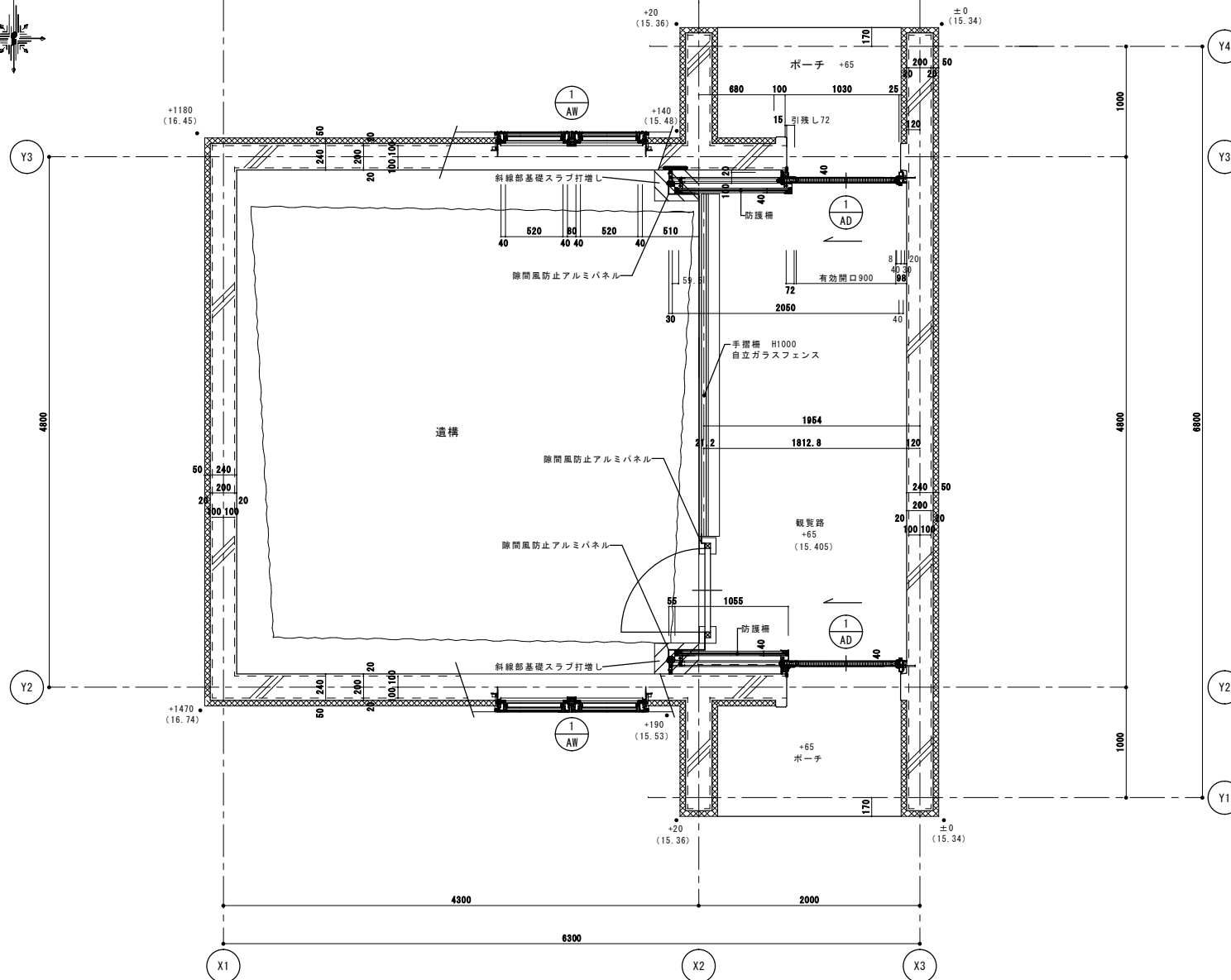


+1540  
(16.81)

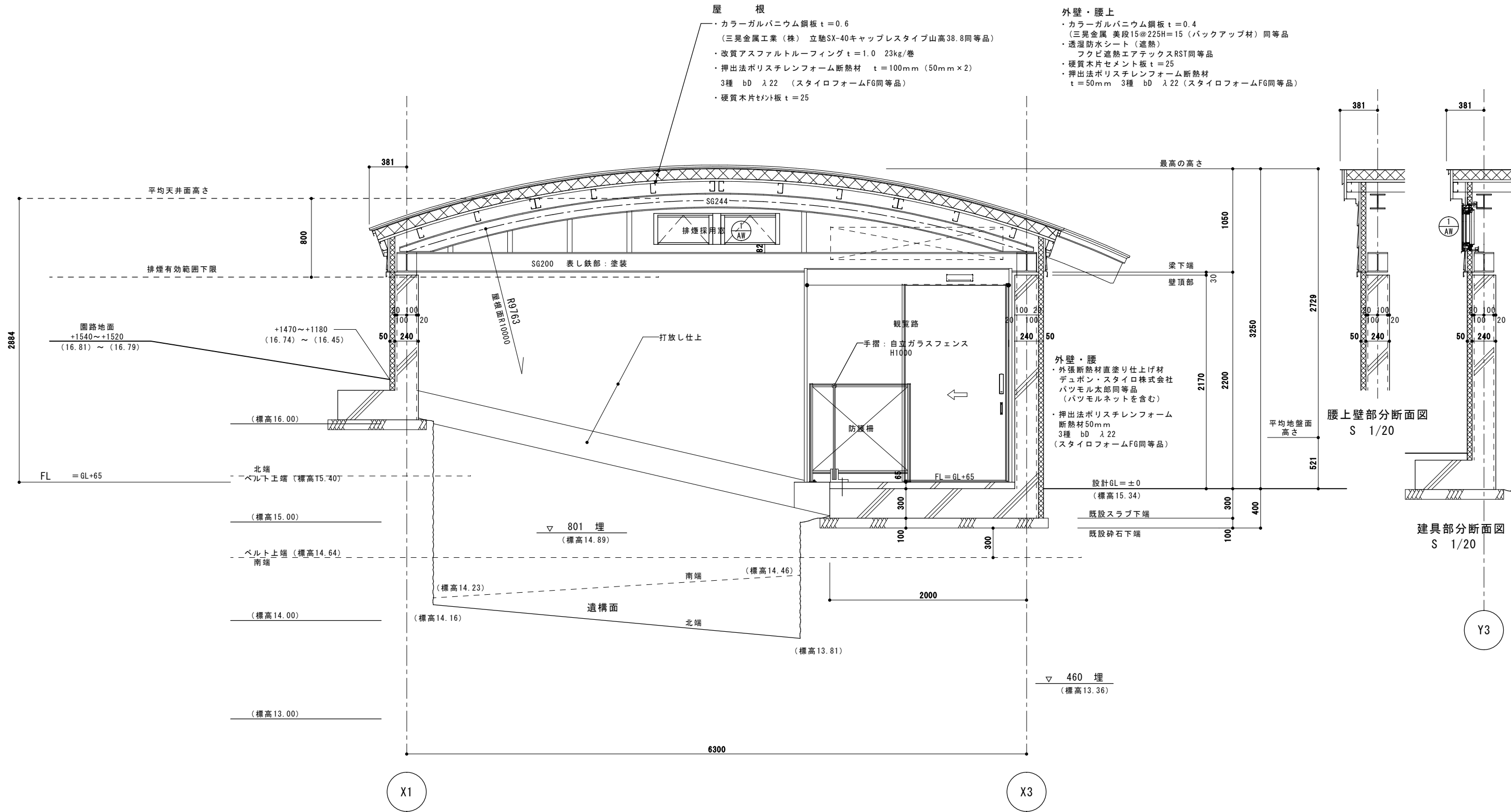
+1180  
(16.45)

+1470  
(16.74)

+1520  
(16.79)

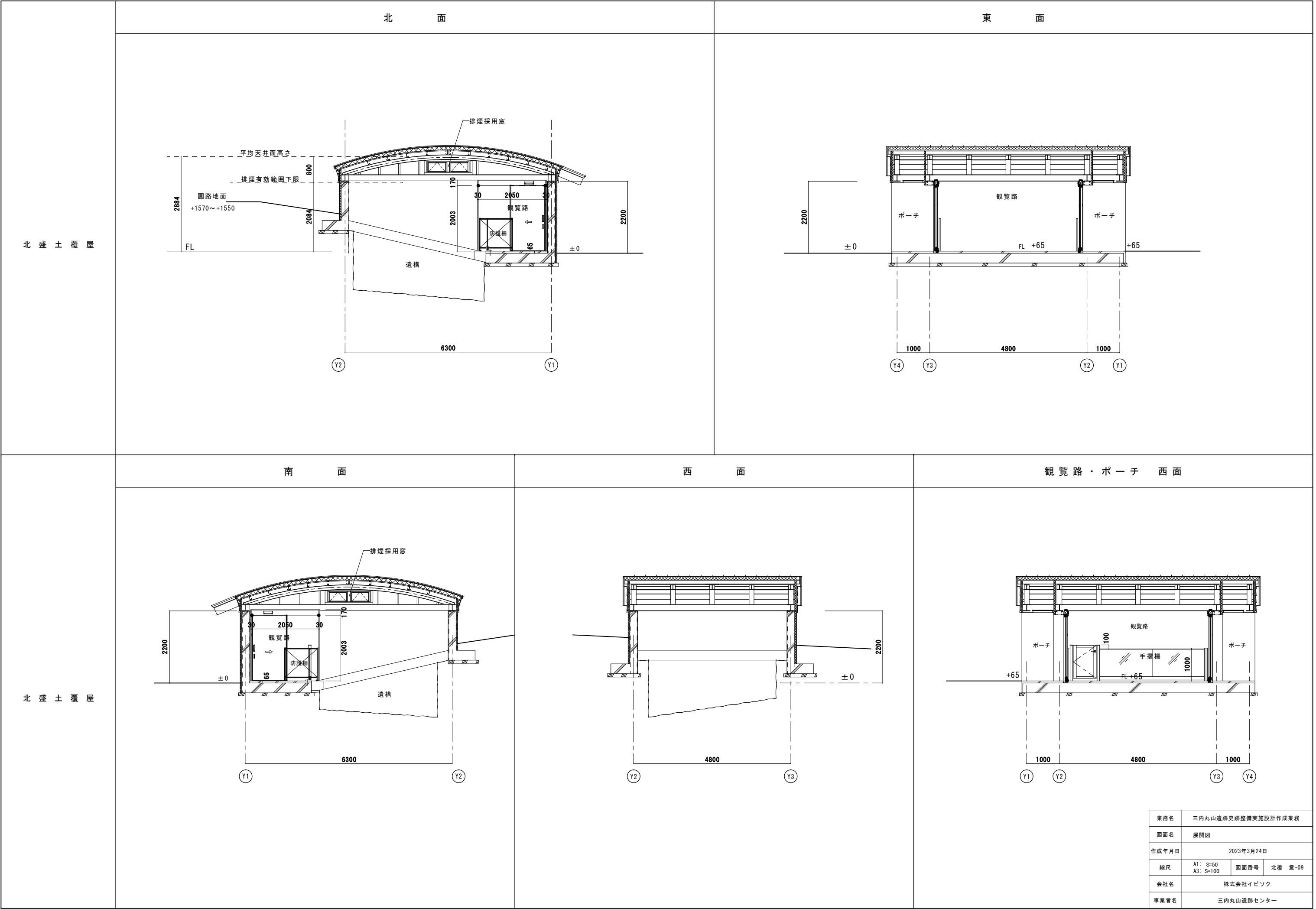


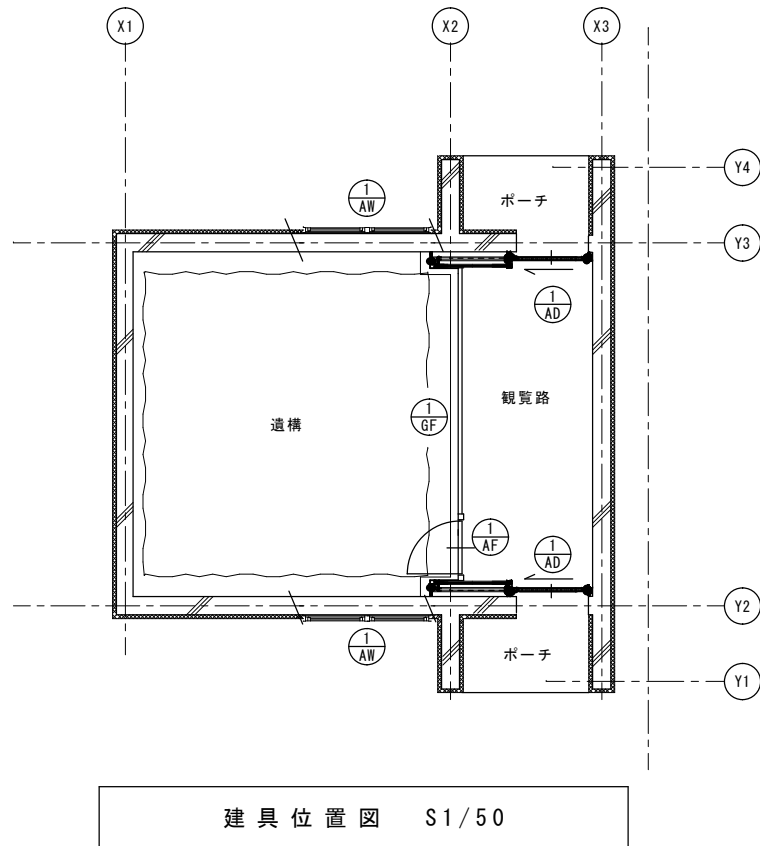
業務名	三内丸山道跡安葬整備実施設計作成業務		
図面名	平面詳細図		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=20 A3: S=40	図面番号	北 覆 意-07
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山道跡センター		



矩 計 図 1 / 2 0

業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	矩計図		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=20 A3: S=40	図面番号	北覆 意-08
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

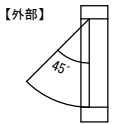
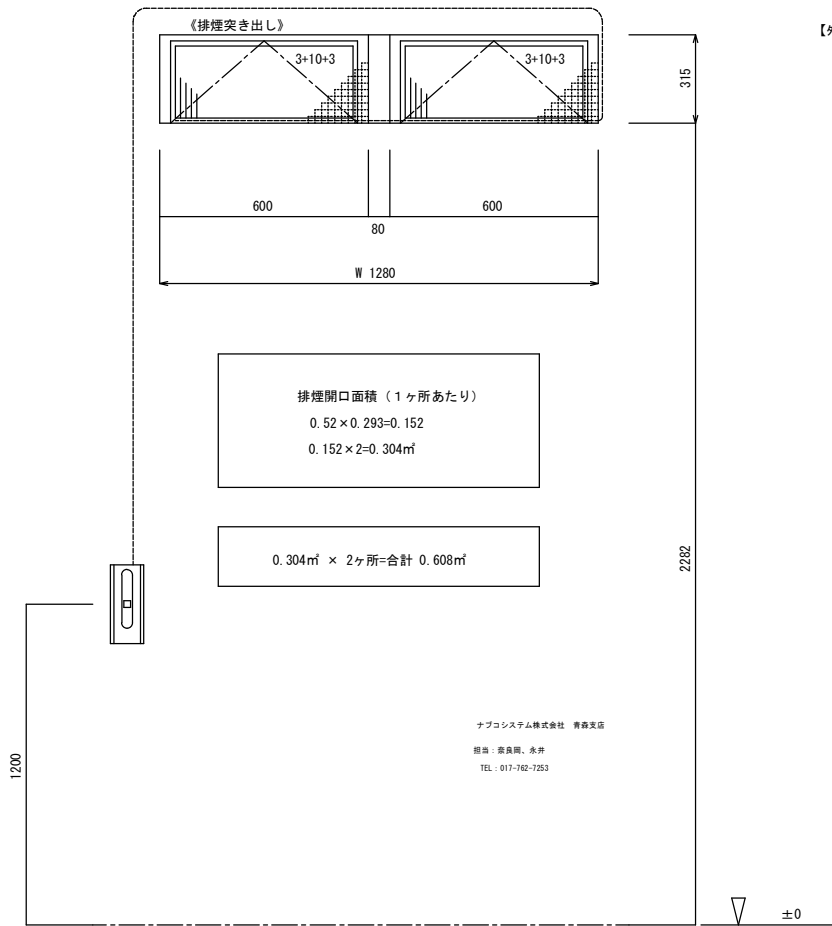


開口部の検討

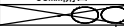
- ・ AD-1 防護柵
- ・ AF-1 H1100

業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	建具表、開口部の検討		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=50 A3: S=100	図面番号	北覆 意-10
会社名	株式会社イビソフ		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

建具詳細図-1



【内部】

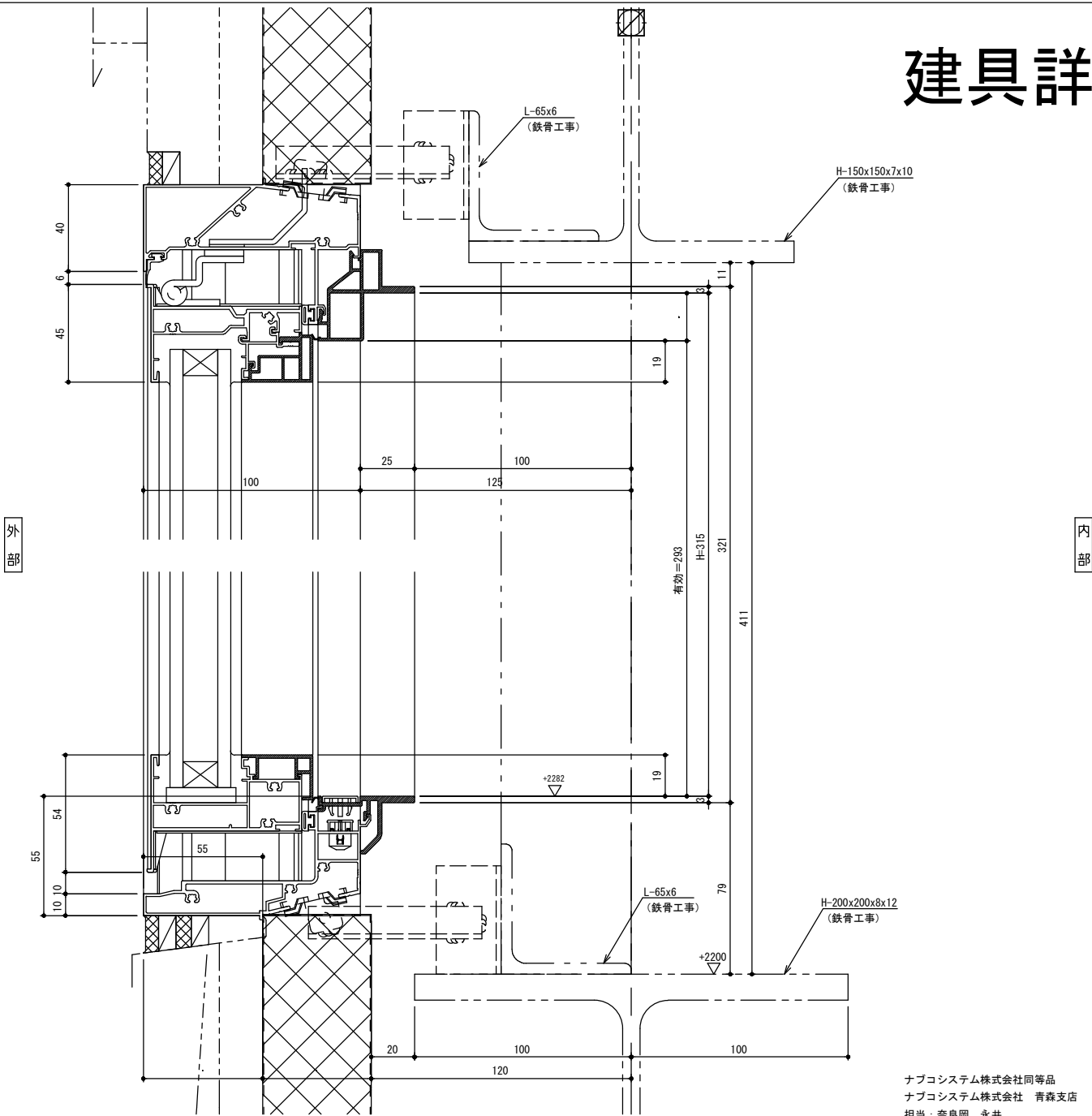
符号	AW	シリーズ	PRESEA-H F 枠		内観色	外観色：未定	
数量	2	防火・非防火区分		耐火区	気密性	水密性	断熱性
		①防火	防火	S-5	A-4 W-5	T-2	H-3
網戸	機種	固定網戸		ガラス開口		ガラス仕舞	
	材質	PD・PVC・SUS		38mm開口		E-ド・シール	
	色	ブラック					
付属部品	部 品 名			メーカー・品番		備 考	
	丁番			制定品			
	結露排水弁			制定品			
	オペレーター装置			オイルス/SL-88		隠蔽・45°	
	ハンドルボックス			オイルス/		埋込	
詳細図番：							
取付場所	北面／南面						
ガラス	ペアパネル 7mm リットル 発泡スチロール 10+7mm リットル						

ナブコシステム株式会社同等品  
ナブコシステム株式会社 青森支店  
担当：奈良岡、永井  
TEL：017-762-7253

業務名	三内丸山道跡史跡整備実施設計作成業務
図面名	AW-1 窓図
作成年月日	2023年3月24日
縮尺	A1: S=40 A3: S=80
図面番号	北覆 窓-011
会社名	株式会社イビソク
事業者名	三内丸山道跡センター



# 建具詳細図-2

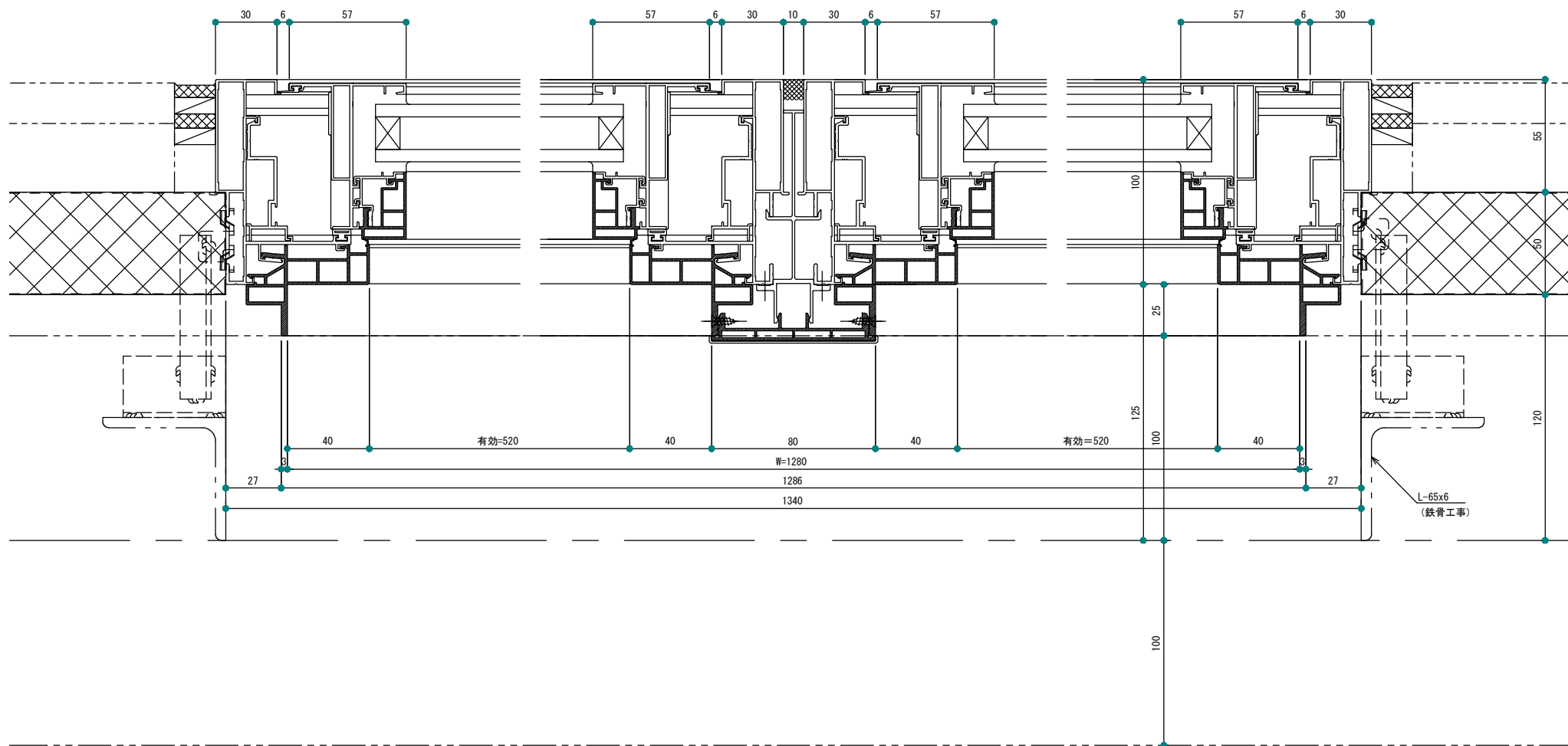


ナブコシステム株式会社同等品  
ナブコシステム株式会社 青森支店  
担当：奈良岡、永井  
TEL：017-762-7253

業務名	三内丸山道徳実態整備実施設計作成業務		
図面名	AW-1 縦断断面		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: 1/2 A3: 1/4	図番番号	北 窓 窓-012
会社名	株式会社イビソフ		
事業者名	三内丸山道徳センター		

# 建具詳細図-3

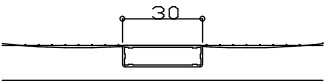
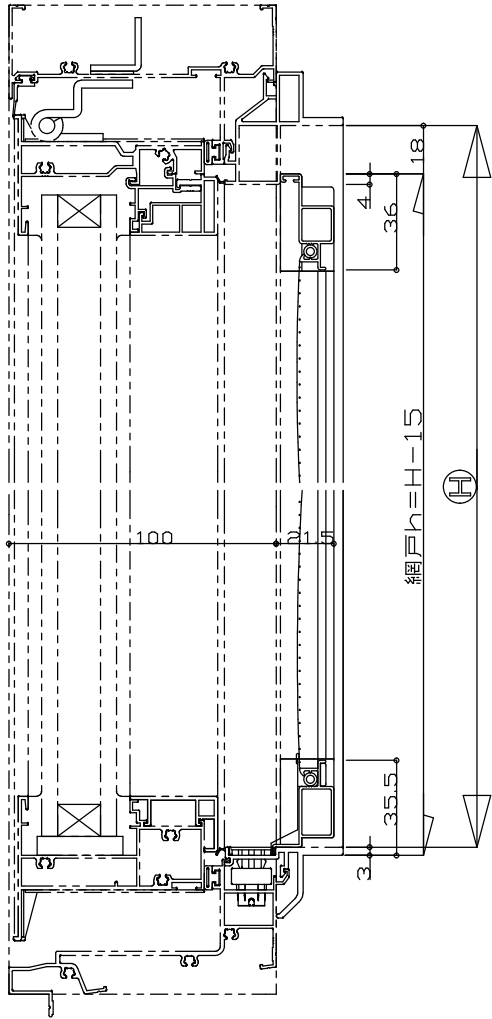
外部



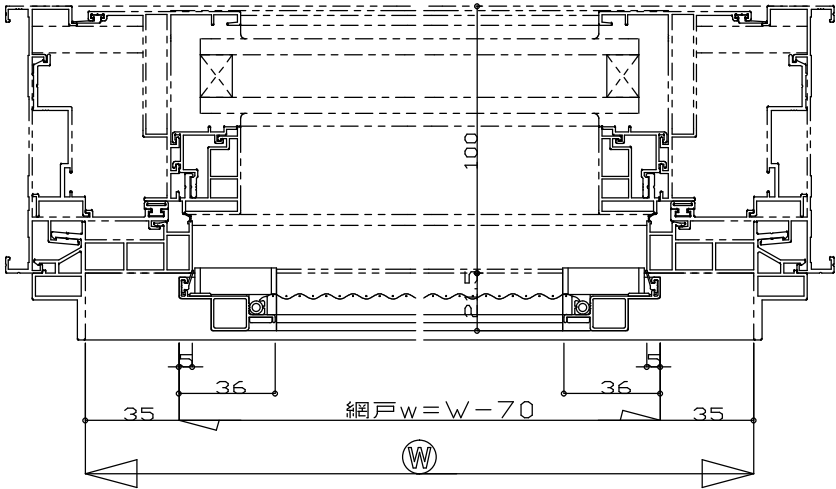
内部

業種名	三内丸山道跡史跡整備実地設計作成業務			
図面名	AW-1 平面図			
作成年月日	2023年3月24日			
縮尺	A1: S=2 A3: S=4	図面番号	北図	窓-013
会社名	株式会社イビソク			
事業名	三内丸山道跡センター			

# 建具詳細図-4



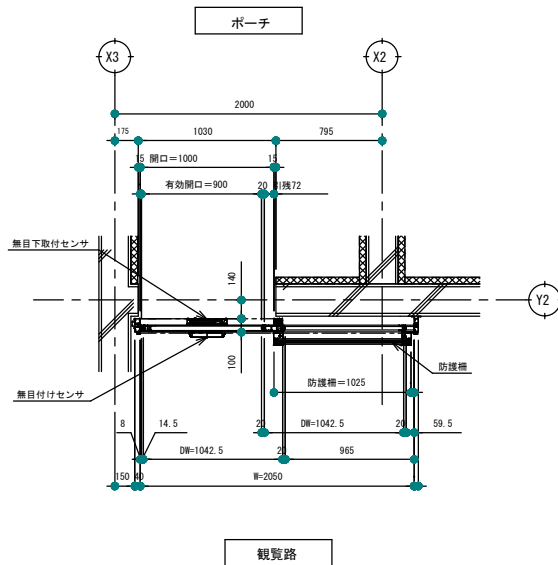
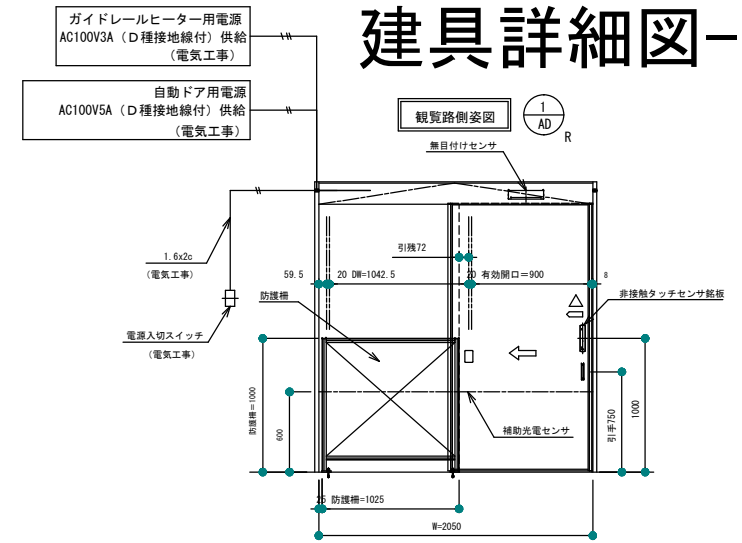
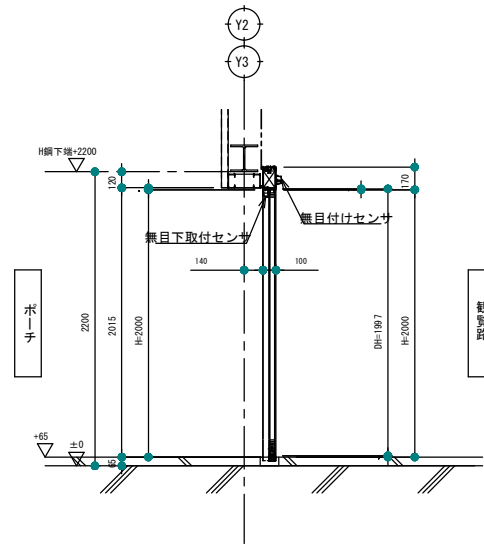
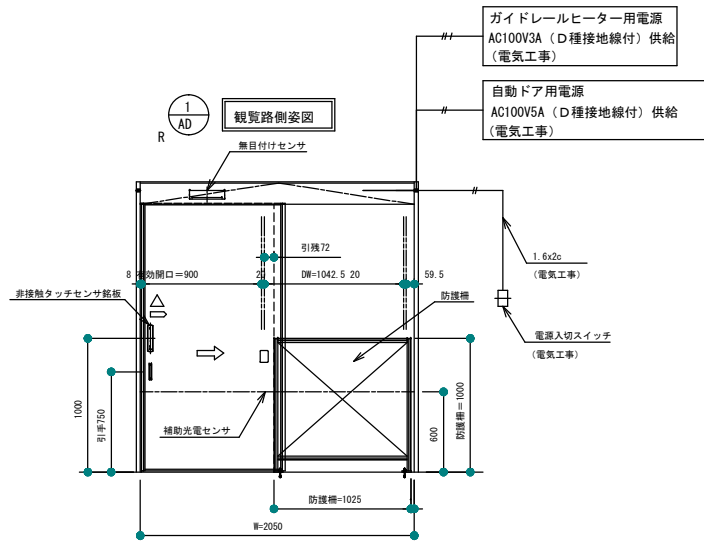
W ≥ 1208 の場合



ナブコシステム株式会社同等品  
ナブコシステム株式会社 青森支店  
担当：奈良岡、永井  
TEL：017-762-7253

業務名	三内丸山遺跡史跡整備実地設計作成業務		
図面名	AW-1 網戸詳細図		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=2 A3: S=4	図面番号	北図 意-014
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

# 建具詳細図-5

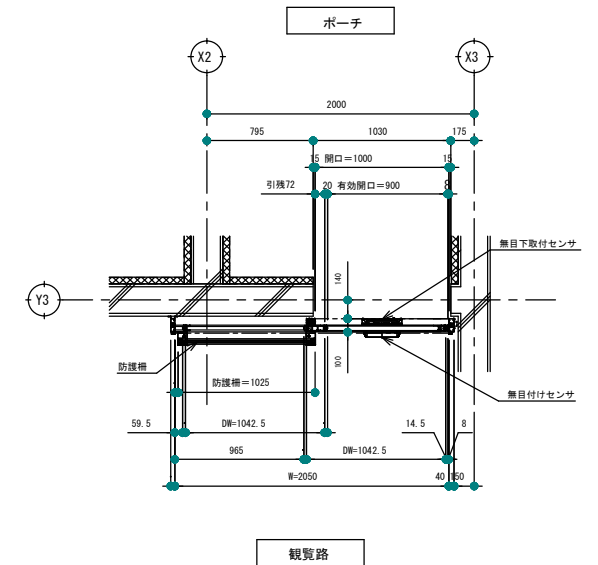


[防火区分: 無]  
[防 撞: 無]  
[気密性能: 無]

符号	数量	材質・仕上	取付階
1 AD	1	枠 LIXIL フロンテック シルバー 扉 アルミ フラッシュ扉 下地材 特記なき限り、St. 1.6t通し材とする。	1F
品 名	メーカー 品 番	数量	備 考
エンジン設置	ナブコ V-SL型	1	ドア単体面積 = 2.08 m <sup>2</sup> ドア縦横比 = 1.9
起動センサ	ナブコ NS-A02	1	無目内蔵型
起動センサ	ナブコ NS-A01	1	無目面取付型
起動センサ	ナブコ 非接触タッチセンサ	2	
補助光電センサ	ナブコ NP-01	1	
ハートビレール	ナブコ SUS型	1	
ヒーター	ワーク	1	
防護柵	ナブコ EVERY	1	シルバー仕上
引手	中西 SUS-H-1	2	HL仕上
旋 前	MIWA DG2D-1	1	HL仕上

[JIS A 4722 対応表]

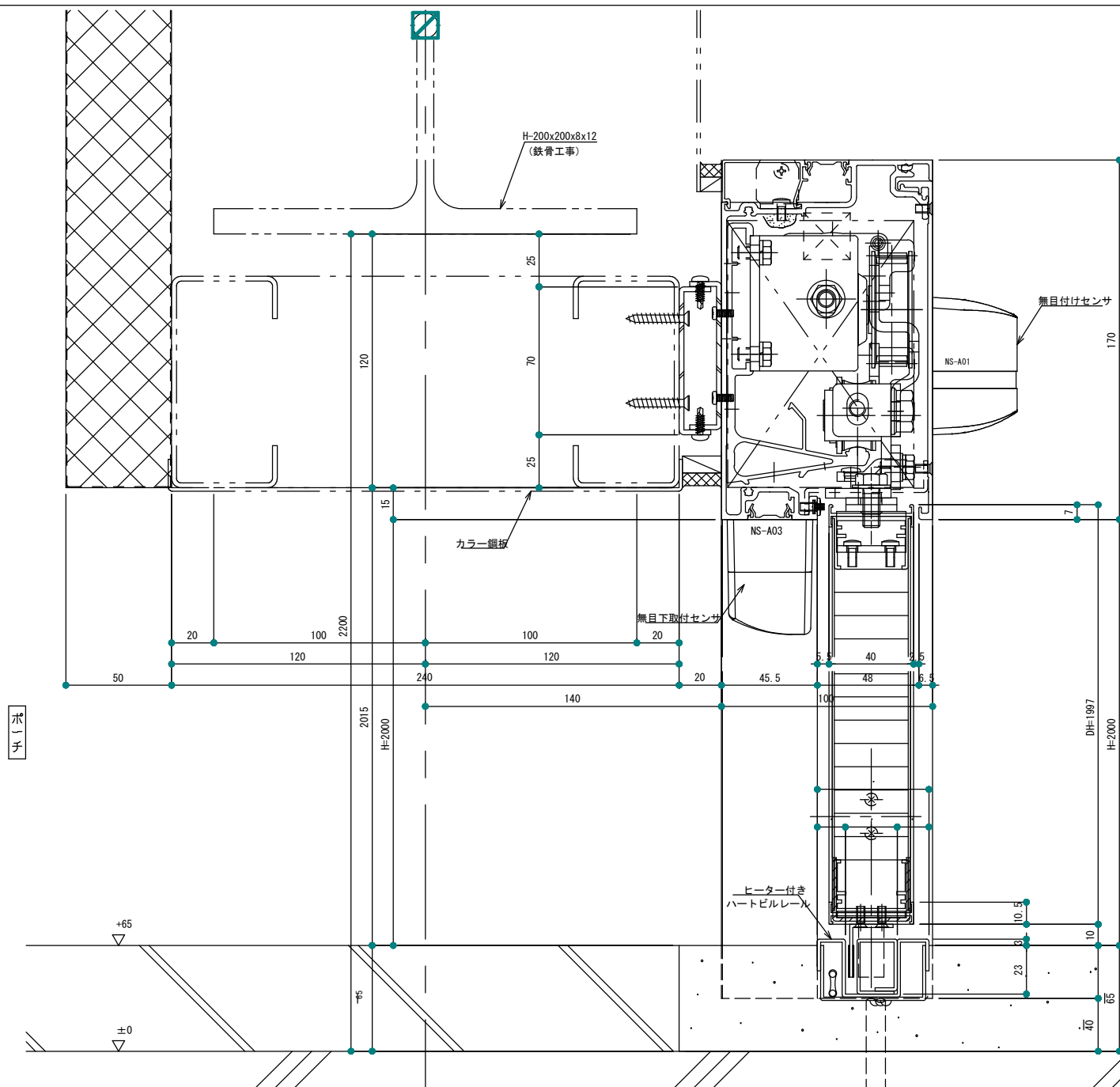
建具符号	AD-1	開閉方式	片引き
ドア質量	40kg	開閉速度 (mm/sec)	開=400 閉=200
設置場所	子どもへの配慮が必要な場合		
扉の安全防護	保護装置による保護		
扉の安全防護	防護柵の設置		



ナブコシステム株式会社同等品  
ナブコシステム株式会社 青森支店  
担当: 奈良岡、永井  
TEL: 017-762-7253

業務名	三内丸山造詣史跡整備事業施設設計作成業務		
図面名	AD-1 立面		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=40 A3: S=80	図面番号	北環 第-015
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山造詣センター		

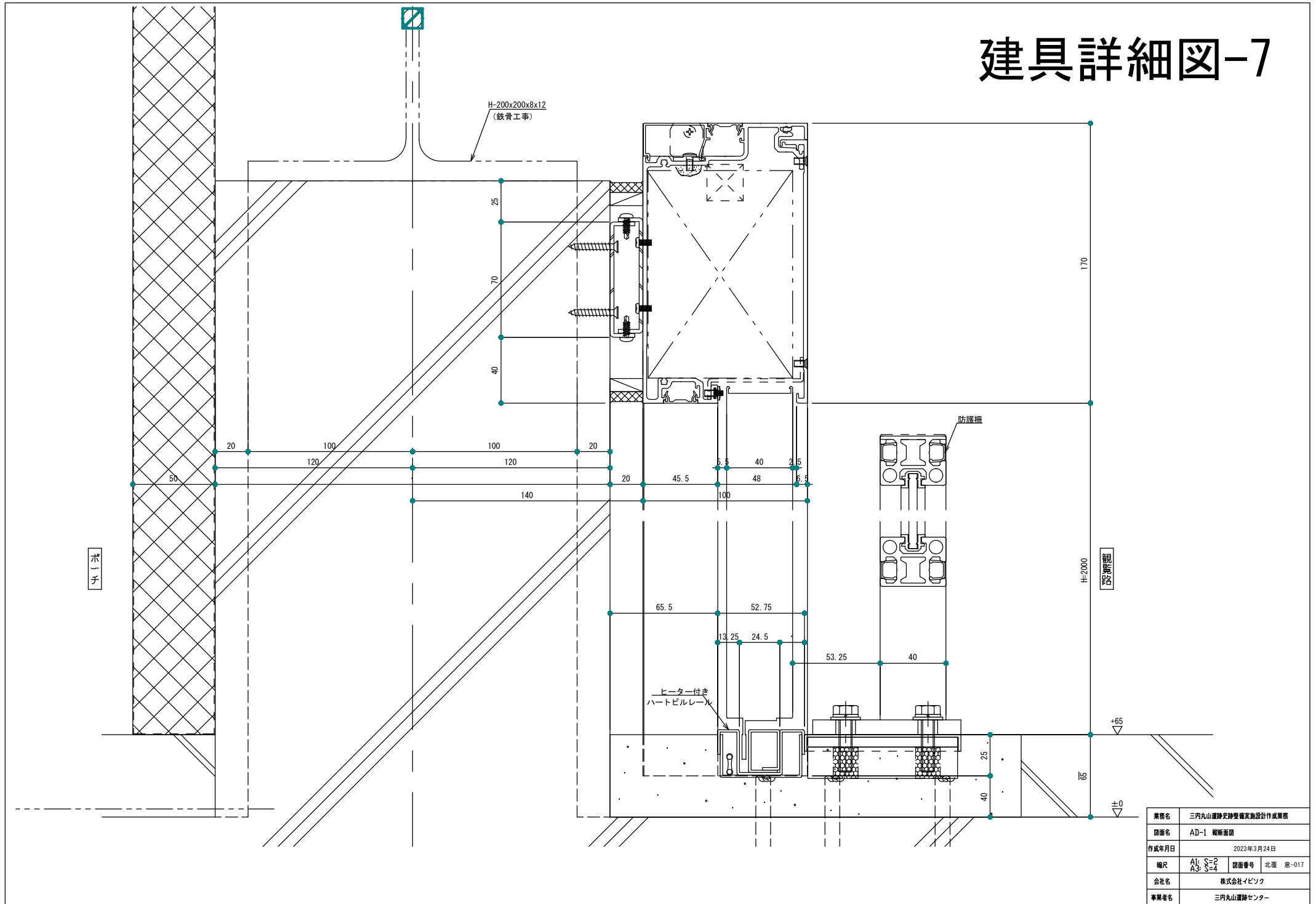
## 建具詳細図-6



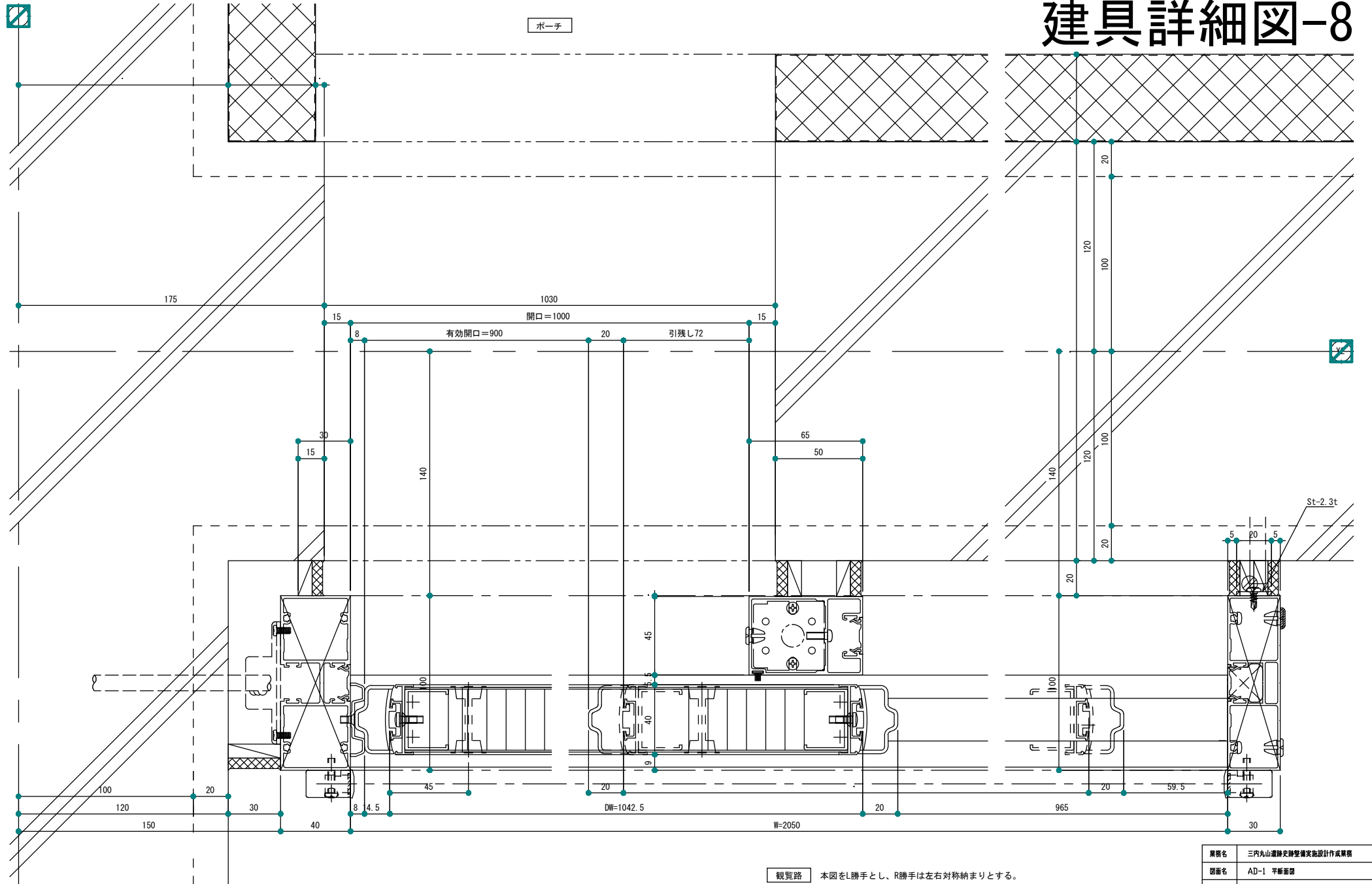
ナブコシステム株式会社同等品  
ナブコシステム株式会社 青森支店  
担当：奈良岡、永井  
TEL：017-762-7253

業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	AD-1 縦断面図		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=2 A3: S=4	図面番号	北 覆 窓 -016
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

## 建具詳細図-7



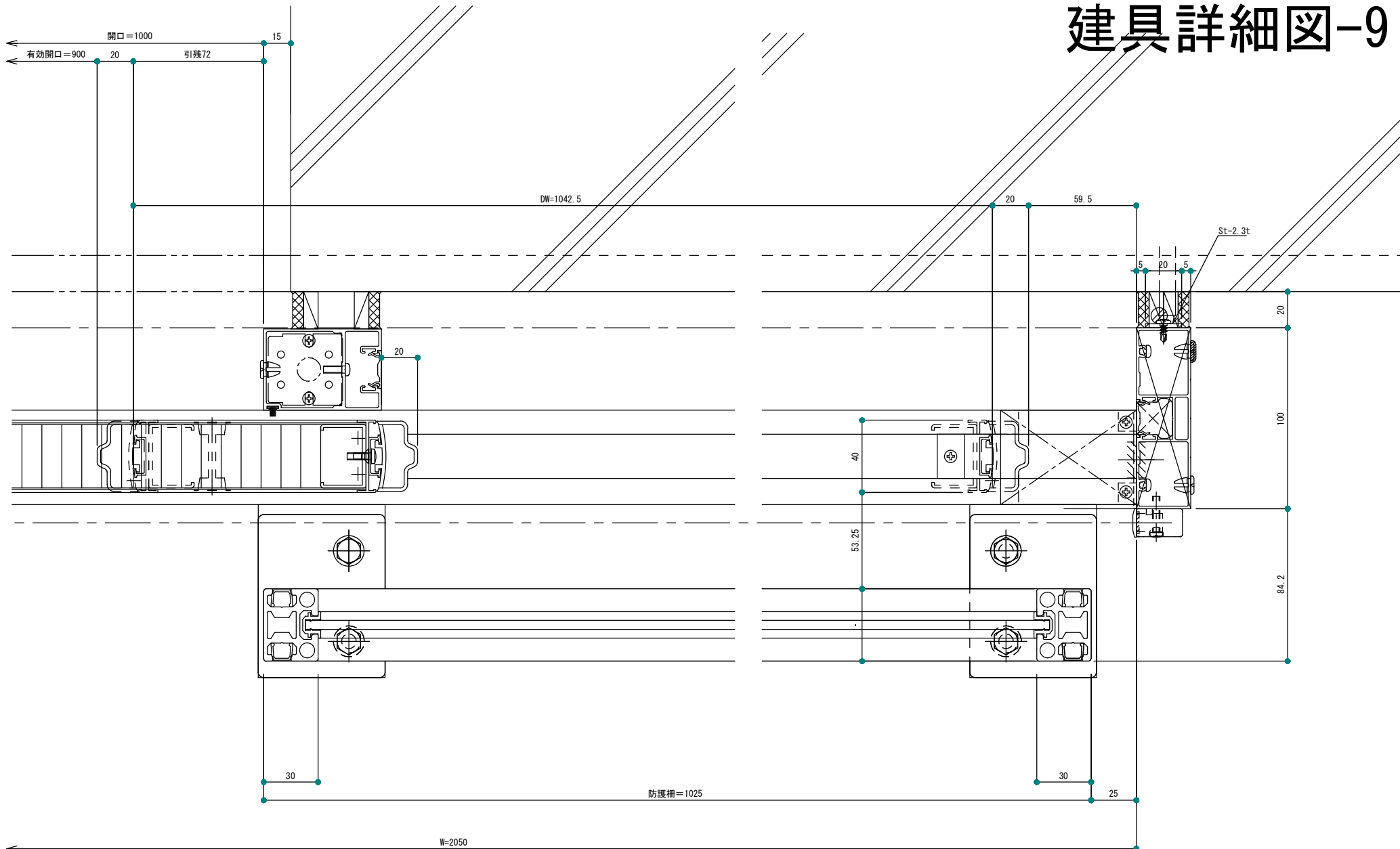
# 建具詳細図-8



業務名	三内丸山道跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	AD-1 平面図		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=2 A3: S=4	図面番号	北 環 窓-018
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山道跡センター		

ポーチ

# 建具詳細図-9



観覧路

本図をL勝手とし、R勝手は左右対称納まりとする。

業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	AD-1 平断面図		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=2 A3: S=4	図面番号	北図 意-019
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		



壁式鉄筋コンクリート造配筋基準図（１）

1. 一般事項

- ・コンクリートの設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>以上とする。  
・鉄筋はSD295A（D16以下）、SD345（D19以上）とする。  
・鉄筋末端部の折曲げ形状・寸法

折曲げ 角度	折曲げ図	鉄筋の種類		使用箇所
		SD295A	SD345	
180°		D 3d以上 11d以上	4d以上 12d以上	柱、はりの主筋及び杭基礎 のベース筋並びに径16mm 以上の鉄筋
135°		D 3d以上 11d以上	4d以上 12d以上	径13mm以下の鉄筋並び にあばら筋、帯筋、スパイラル 筋及び床版筋
90°		D 3d以上 12d以上	4d以上 12d以上	T形及びL形はりのあばら筋

2. 鉄筋中間部の折曲げ形状・寸法

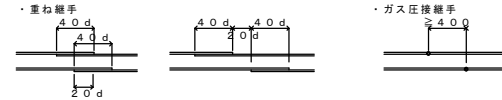
折曲げ 角度	折曲げ図	鉄筋の種類		使用箇所
		SD295A	SD345	
90° 以下		D 3d以上	4d以上	あばら筋、帯筋、スパイラル筋
		D 5d以上	5d以上	径16mm以下の床版筋、壁筋
		D 6d以上	6d以上	上記以外の鉄筋でD25以下
		D 8d以上	8d以上	上記以外の鉄筋

3. 鉄筋の定着および継手長さ

部 分	定 着	継 手
壁筋（縦、横筋）	40d	40d
曲げ補強筋、壁梁主筋	40d	40d
斜め補強筋	40d	
床 版	上 40d	40d
	下 10dかつ150mm	40d
耐圧床版	上 40d	40d
	下 40d	40d

- ・床版下端定着は逆梁の場合は特記による。  
・フックのある場合の定着は特記による。  
・径の異なる鉄筋の重ね継手の長さは、径の  
細いほうのdによる。  
・D19以上の継手はガス圧接とする。

4. 鉄筋の継手位置



5. 鉄筋の最小かぶり厚さ

土に接し ない部分	構造部分の種類	普通コンクリート	
		床 版	仕上りあり 非耐力壁
土に接す る部分	柱	仕上りあり 仕上りなし	30 30
	耐力壁	仕上りあり 仕上りなし	30 30
	横 壁	仕上りあり 仕上りなし	40 40
	基礎、耐圧床版	仕上りあり 仕上りなし	60 60

- ・軽量コンクリートの場合は特記による。  
・仕上りありとは、モルタル塗り同等の仕上  
りのあるものとする。  
・捨コンクリートの厚さは、かぶり厚さに  
含まない。  
・杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端から  
とする。

6. 鉄筋相互間のあき

- ・粗骨材の最大寸法の1.25倍  
・25mm  
・異形鉄筋では径の1.7倍

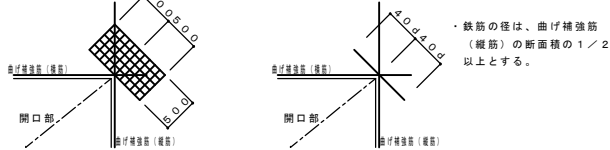
2. 壁 リ ス ト

符 号	壁 厚	配 筋			
		縦 筋		横 筋	
W12	120	D10-@200	(S)	D10-@200	(S)
W15	150	D10-@150	(S)	D10-@150	(S)
W16	160	D10-@200	(D)	D10-@200	(D)
W18	180	D10-@200	(D)	D10-@200	(D)
W20	200	D10、D13-@200	(D)	D10、D13-@200	(D)
W25	250	D10、D13-@200	(D)	D10、D13-@200	(D)
KW18	180	D13-@200	(D)	D10-@200	(D)
KW20	200	D13-@150	(D)	D10、D13-@200	(D)

3. 壁開口部補強筋

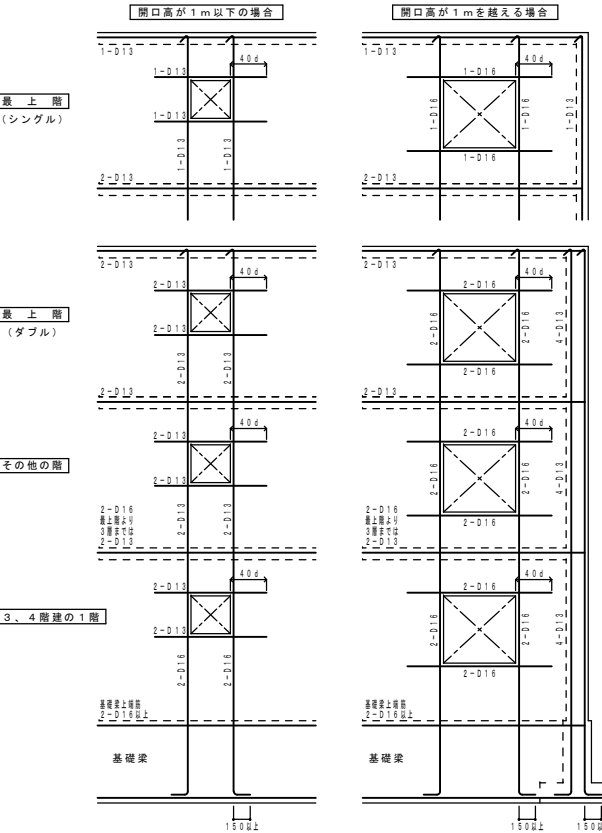
壁 厚	開口部補強筋	
	曲げ補強筋（縦筋、横筋）	斜め筋補強
120	曲げ補強筋（縦筋、横筋）要領による。	溶接金網 6φ-@100（片面）
150		溶接金網 6φ-@100（片面）
160		溶接金網 6φ-@100（片面）
180		溶接金網 6φ-@100（片面）
200		溶接金網 6φ-@100（両面）
250		溶接金網 6φ-@100（両面）

1. 斜め補強筋要領



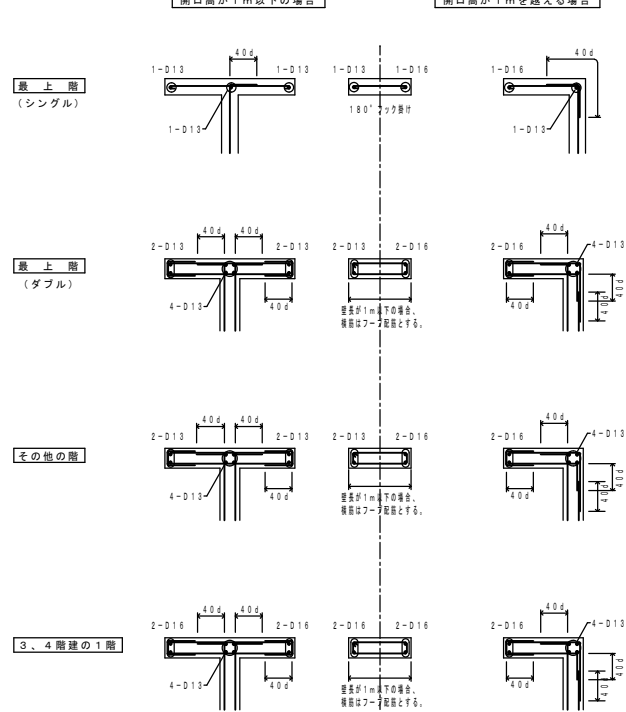
- 斜め補強筋：溶接金網 6φ-@100  
・片面積強の場合は、屋外側に配筋する。  
開口部が壁梁等に接する場合は、上記の配筋としてよい。

4. 曲げ補強筋（縦筋、横筋）要領

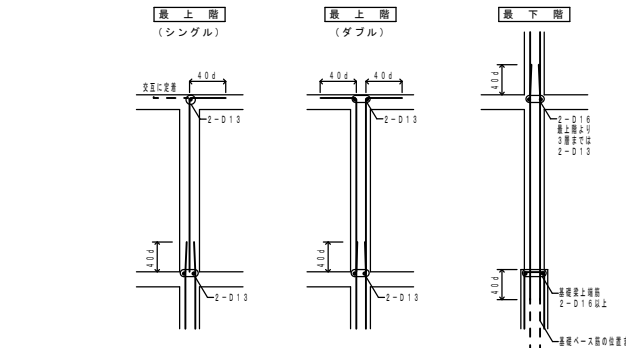


5. 壁筋の定着要領

1. 横 筋



2. 縦 筋

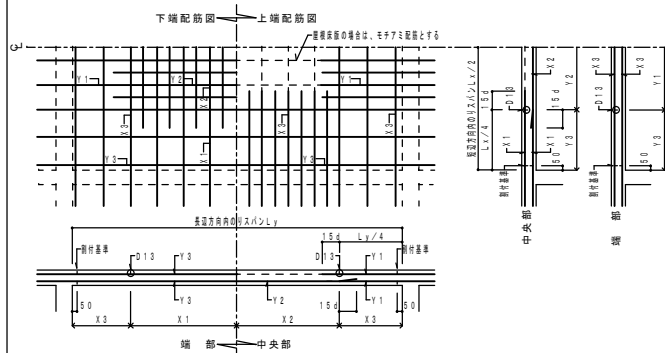


業務名	三内丸山造跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	北壁土留壁 構造特記仕様書（１）		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: ー A3: ー	図面番号	北壁 横-01
会社名	株式会社イシンク		
事業者名	三内丸山造跡センター		

壁式鉄筋コンクリート造配筋基準図（２）

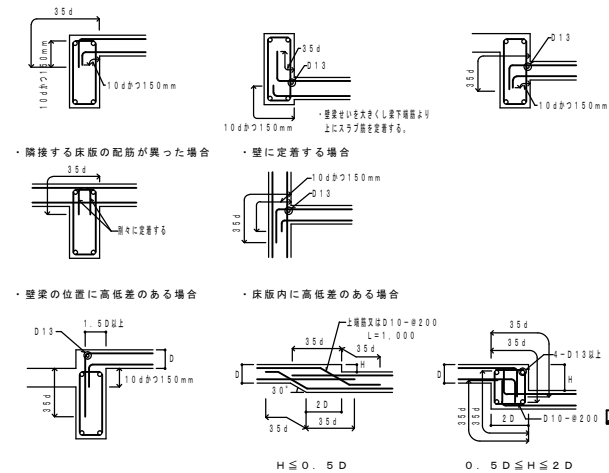
## 6. 床版配筋リスト

序号	新单	位置	组别方向		端 部 (X3)	表证方向		端 部 (Y3)	備考
			中 央 部			中 央 部			
			端 部 (X1)	中 央 (X2)		端 部 (Y1)	中 央 (Y2)		
		上角部							
		下角部							
		上部部							
		下部部							
		上部部							
		下部部							
		上部部							
		下部部							
		上部部							
		下部部							
		上部部							
		下部部							
		上部部							
		下部部							
		上部部							
		下部部							
		上部部							
		下部部							
		上部部							
		下部部							
		上部部							
		下部部							
		上部部							
		下部部							



## 7. 床版の定着要領

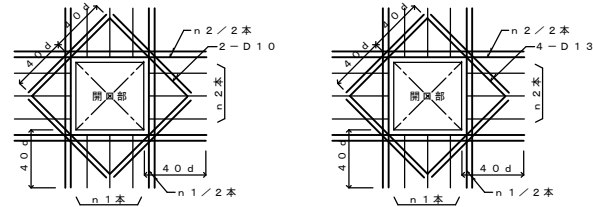
- ・ 壁梁に定着する場合
- ・ 壁梁下端に定着する場合
- ・ 壁梁の中間に定着する場合



## 8. 床版開口部の補強

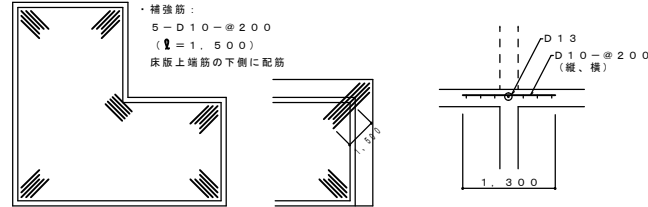
- ・開口の最大径600以下の場合

・開口の最大径900以下の場合



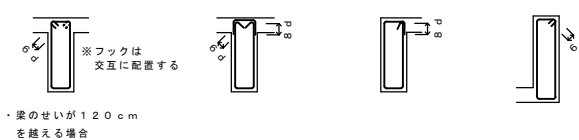
9. その他の補強

- ・屋根床版出隅入隅部補強
- ・壁付き床版補強  
床版に上端筋がなく、壁が付く場合

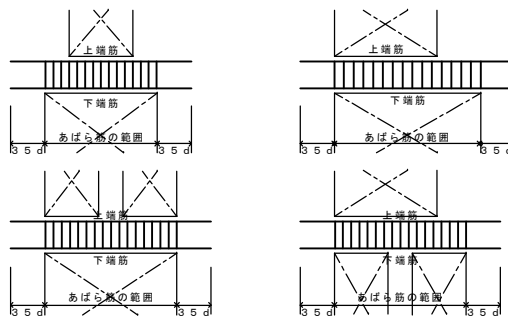


## 10. 壁梁の配筋要領

- ・標準又は床版なしの場合      ・両側床版付の場合      ・片側床版付の場合      ・逆梁の場合

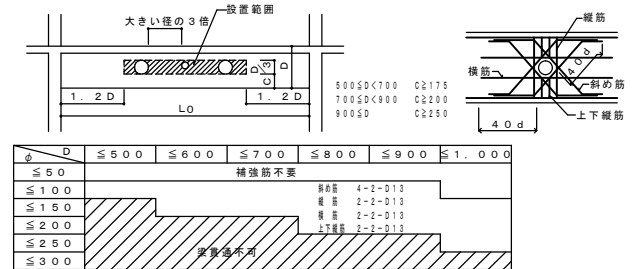


### 11. 上下開口がずれる場合の壁梁の配筋要領



## 12. 梁貫通孔補強要領

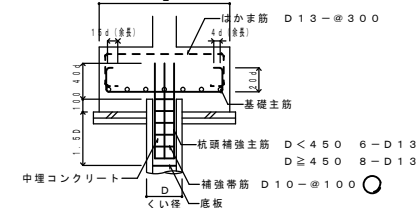
- ・貫通孔の設置範囲



- ・縦筋、及び上下縦筋は、あばら筋の形にする。

## 13. 基礎

- ・基礎主筋はD13以上とし、はかま筋はD13-@300以下とする。



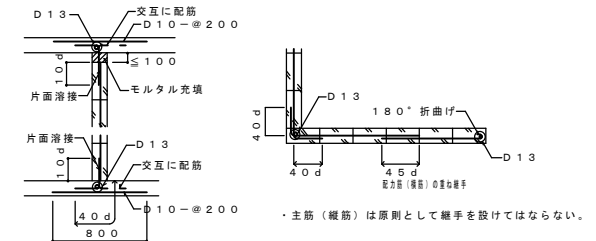
## 2. 基礎梁

- ・基礎梁の主筋は2-D 16以上とする。
- ・上部の耐力壁の縦筋及び曲げ補強筋(縦筋)は、原則として基礎ベース筋位置まで延ばす。

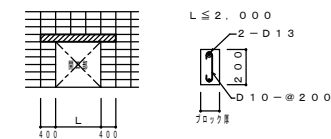
#### 14. コンクリートブロックの間仕切壁

- ### 1. 間仕切壁の配筋

主筋	配力筋	開口部（縦、横補強筋）
D 10 - @ 400	D 10 - @ 400	1 - D 13



## 2. まぐさの配筋



業務名	三内丸山道跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	北盛土覆層 構造特記仕様書（２）		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: ー A3: ー	図面番号	北覆 構-02
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山道跡センター		

構造上主要な部分に用いる材料の種別				
使用材料	設計基準強度	所要スラブ		備考
普通コンクリート Ⅰ類	2 4 N/mm <sup>2</sup>	1 8 cm		躯体18cm
	2 1 N/mm <sup>2</sup>	1 5 cm		土間15cm
	1 8 N/mm <sup>2</sup>	1 5 cm		
	調合管理強度 設計基準強度に表6.3.2の構造体強度補正 (S) を行う			
	単位水量 1 8 5 Kg/m <sup>3</sup> 以下			
	単位セメント量 2 7 0 Kg/m <sup>3</sup> 以上			
	強化物量 強化物イオン量 0. 3 0 Kg/m <sup>3</sup> 以下			
	所要空気量 4. 5 % (目標値)			
	水セメント 6 0 %以下			
	気乾単位容積質量 2. 2 ~ 2. 4 t /m <sup>3</sup> 以下			
鉄 筋	S D 2 9 5 A	D 1 6 以下		
	S D 3 4 5	D 1 9 以上		

コンクリートの骨材、水及び混和材料の種別				
使用材料		規格番号	使用材料種類	
セメント		JIS R 5210	普通ポルトランドセメント	
混和材料		JIS A 6204	A E材・A E減水材・高性能減水材	
水		JIS A 5308	レディミクスト用への練混ぜに用いる水	
骨材	粗骨材	JIS A 5308	砂利・砕石・砂利と砕石の混合	
	細骨材	JIS A 5308	砂・砕砂・砂と採砂の混合	

コンクリートの型枠の存置期間及び取り外し時期及び方法				
せき板最小存置期間				
施工箇所	セメントの種類	コンクリートの材齢による場合(日)	コンクリートの圧縮強度による場合	
基礎	普通	1 5℃以上	3 日以上	圧縮強度が、5 N/mm <sup>2</sup> となるまで
柱、壁	ポルトランド	5℃以上	5 日以上	
梁桁、スラブ	セメント	0℃以上	8 日以上	
支柱の最小存置期間				
せき板支柱、最小存置期間				
		コンクリートの材齢による場合(日)	コンクリートの圧縮強度による場合	
施工箇所	セメントの種類	1 5℃以上	1 7 日以上	圧縮強度が、設計基準強度の95%以上又は
スラブ下	普通	5℃以上	2 6 日以上	12N/m <sup>2</sup> 以上であり、かつ施工中の荷重及び
	ポルトランド	0℃以上	2 8 日以上	外力について、構造計算により安全である
	セメント			ことが確認されるまで。
支柱の最小存置期間				
施工箇所	セメントの種類	コンクリートの材齢による場合(日)	コンクリートの圧縮強度による場合	
梁 下	普通	1 5℃以上	2 8 日以上	圧縮強度が、設計基準強度以上であり、かつ
	ポルトランド	5℃以上		施工中の荷重及び外力について構造計算に
	セメント	0℃以上		より安全であることが確認されるまで。

コンクリートの圧縮試験方法等計画書(コンクリートの圧縮強度試験方法はJASS A 1108 による)				
コンクリートの強度試験の施工方法等計画書	(a) コンクリートの強度試験の試験数は、製造工場ごとに、次にように行う。 (1) 普通コンクリートの場合は、コンクリートの種類が異なるごとに、1日1回以上、かつ、コンクリート1 5 0 m <sup>3</sup> ごと及びその増数につき1回以上とする。 (2) 試し練りは、計画書について、監督職員の承認を受けることにし、 (b) コンクリートの強度試験方法 (1) 1 回の試験の供試体の個数及び試料採取 (i) 1 回の試験の供試体の数は、材齢7日用材齢2 8 日用、型 枠取出し時期決定用その他必要に応じてそれぞれ3個とする。 (ii) 適切な期間をあげた運 搬車から、3度に分けて試料を採取し、(i)で必要な数の供試体を作成する。 (iii) (i) で3度に分けて作成した供試体から、それぞれ1個ずつ3個を取り出し、1 回の試験における1 材齢の供試体とする。 (2) 供試体は、工事現場において、JIS A 1132(コンクリートの強度試験用供試体の作り方)によって作成し、それぞれ試験の目的に応じた養生を行う。 なお、脱型 はコンクリートを脱め終わってから2 4 時間以上4 8 時間以内に行う。 (3) 供試体の養生方法及び養生温度 (i) 1 回の試験の供試体の数は、材齢7日用材齢2 8 日用、型 枠取出し時期決定用その他必要に応じてそれぞれ3個とする。 (ii) 適切な期間をあげた運 搬車から、3度に分けて試料を採取し、(i)で必要な数の供試体を作成する。 (4) 圧縮強度試験 (i) 圧縮強度試験方法は、JIS A 1108(コンクリートの圧縮試験方法)による。 (ii) 供試体の養生方法、材齢及び試験回数は、表6.9.2による。			

供試体の養生方法、材齢及び試験回数 表 6.9.2											
試験の目的		調合管理強度の判定		型枠取出し 時期の決定		構造体のコンクリート強度の判定					
1 回の 試験	頻度	打ち込み日ごと、打ち込み区ごと かつ、150㎡以下にほぼ均等に 分割した単位ごとに行う。		必要に応じ て定める。		打ち込み日ごと、打ち込み区ごと、かつ、 150㎡以下にほぼ均等に分割した単位 ごとに行う。					
	供試体の個数	3									
供試体の作成方法		1台の運搬車から採取した 試料で同時に3個の供試体 を作成する。		適切な間隔をあげた3台の運搬車から、それぞれ試料を 採取し、1台につき1個（合計3個）の供試体を作成する。							
養生方法		標準養生		工事現場 における 水中養生 又は 封かん養生		工事現場 における 首冠中養生		工事現場 における 封かん養生		標準養生	
材齢		28日		必要に応じ て定める。		28日		28日及び 28日を超え 91日以内		28日	

コンクリートの養生方法 (養生処理方法は JASS-5 8.1~8.4による。)	
養生温度	(a) 寒冷期においては、コンクリートを寒気から保護し、打ち込み後5日間以上は、コンクリート温度を2℃以上に保つ。 なお、適切な養生を行うことができる場合は打ち込みを行わない。 (b) コンクリート打ち込み後、初期凍害を受けるおそれのある場合は、初期養生を行う。 (c) コンクリート打ち込み後、セメントの水和熱により部材断面の中心部温度が外気温より25℃以上高くなる恐れがある場合は、温度応力による悪影響が生じないように養生を行う。
表面の乾燥防止	打ち込み後コンクリートは、普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種の場合は5日間以上、高炉セメントB種の場合7日間以上、散水、その他の方法で湿潤に保つ。また、気温が高い場合又は直射日光を受ける場合には、コンクリート面が乾燥することないようにする。
振動及び外力からの保護	(a) 硬化初期のコンクリートが、有害な振動や外力による悪影響を受けないようにする。 (b) コンクリートの打ち込み後、少なくとも1日間はそのもの歩行又は作業をしない。やむを得ず歩行したり、作業を行う必要がある場合は、コンクリートに影響を与えないような保護を行う。

鋼 材 (鋼材の材質)		
規格番号	規格名称等	種類の記号
JIS G 3101	一般構造用圧延鋼材	SS400, SS490, SS540
JIS G 3106	溶接構造用圧延鋼材	SM400A, B, C, SM490A, B, C, SM500YA, YB, SM520B, C
JIS G 3114	溶接構造用耐熱性熱間圧延鋼材	SM490AH, AP, BH, BP, CH, CP, SM490AH
JIS G 3136	建築構造用圧延鋼材	SM400A, B, C, SM490B, C
JIS G 3138	建築構造用圧延鋼材	SM400A, B, SM490B
JIS G 3350	一般構造用軽形鋼材	SSC400
JIS G 3353	一般構造用溶接軽形鋼材	SMH400
JIS G 3444	一般構造用炭素鋼鋼管	STK400, STK490
JIS G 3466	一般構造用角形鋼管	STKR400, STKR490
JIS G 3475	建築構造用炭素鋼鋼管	STKM400M, STKM490M, STKM490B

打ち込み及び締め固めの方法	
打ち込み	(密実)に充填するための打ち込み及び、締め固めの方法は JASS-5 7.1~7.17による。) (a) コンクリートの品質に影響を及ぼすおそれのある降雨・降雪が予想される場合及び打ち込み中のコンクリート温度が℃で下回るおそれのある場合は、適切な養生を行う。 (b) 打ち込みに充ち、打ち込み場所を清掃して雑物を取り除き、散水して湿らせ及び打継ぎ面を湿潤にする。 (c) コンクリートは、その占める位置にできるだけ近づけて打ち込む。また、柱で区切られた壁においては、柱を通過しコンクリートの漏れをしない。 (d) 打ち込み区画 (1) バラベタの上上がり、ひし、パルコウ等これを持する構造体部分と同一の打ち込み区画とする。 (2) 1回で打ち込むように計画した区画内では、コンクリートが一体となるように連続して打ち込む。 (e) 打ち込み速度は、コンクリートのワーカビリティ、打ち込み場所の施工条件等に応じ、良好な締め固めができる範囲とする。 (f) コンクリートの自由落下高さ及び水平流動距離は、コンクリートが分離しない範囲とする。 (g) 打ち込みの方法は (1) による。ただし、通常の高さより低い場合においては、状況により (2) によることができる。 (1) 梁及びスラブラのコンクリートは、壁及び柱のコンクリートの沈みが落ち着いた後に梁を打ち込み、梁のコンクリートが落ちついた後に、スラブを打ち込む。 (2) 型 枠、変形部が生じないように増強しておき、スラブ上まで一度に打ち込み、一端より逐次左端に打ち進める。なお、壁の場合は (1) による。 (h) 同一区画の打ち込み継続中における打ち継ぎ時間は、先に打ち込まれたコンクリートの再振動可能時間以内とする。 (i) コンクリートの打ち込みに際しては、鉄筋、型 枠、スパーサー及びひサポートを移動せないよう注意する。
打ち継ぎ	(密実)に充填するための打ち継ぎ部の処理方法は JASS-5 7.3による。) (a) 打ち継ぎは、梁及びスラブラの場合は、そのスパンの中点付近に設け、柱及び壁の場合は、スラブ、壁梁又は基礎の上端に設ける。 (b) 打ち継ぎ面には仕切板等を用い、モルタル、セメントペースト等が漏出ないように仕切る。また、打ち継ぎ面が外部に接する箇所には、定規を取り付け、引通しよく打ち切り、目地を設ける。なお、目地の寸法は特記による。 (c) 打ち継ぎ面には水がたまらないようにする。 (d) 打ち継ぎ面は、レイタス及びスライム等コンクリートを取り除き、健全なコンクリートを露出させる。
締め固め	(a) コンクリートの締め固めは、鉄筋、鉄骨、埋設物等の周囲や型 枠の隅々までコンクリートが充填されるように行う。 (b) 締め固めは、コンクリート棒形振動機、型 枠振動機又は突き棒を用いて行い、必要に応じて、他の用具を補助として用いる。 (c) コンクリート棒形振動機は、打ち込み層ごとに用い、その下層に振動機の先端が入るように、ほぼ垂直に挿入する。打ち込み高さとは速度に応じて、挿入間隔は60cm以下とし、加減はコンクリートの上面にペーストが浮くまでとする。 (d) 型枠振動機は、打ち込み高さとは速度に応じて、コンクリートが密実になるように、順序立てて加減する。 (e) 通常の施工の締め固め用振動機及び要員は、コンクリート輸送管1系統につき、棒形振動機2台以上を配置し、振動機要員、たたき棒の要員、型 枠工、鉄筋工等を適切に配置する。

令第129条の2の3の事項 ※設計が該当する場合には、□にチェックを記入する。	
建築物に設ける建築設備については、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。	
■ 建築設備 (昇降機を除く)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐食の恐れがないものとする。	
■ 屋上から突出する水栓、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、接続すること。	
□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄筋の支持を設けたものを除き、90cm以下とする。	
□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さは5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造、若しくはコンクリートブロック造とする。	
□ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、■ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。■ 建築物の部分を選定して配管する場合においては、当該建築物に配管スリーブを設ける等有効な管の振動防止のための措置を講ずること。■ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な振動防止のための措置を講ずること。■ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防護ムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。	
■ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水栓、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。	
■ 給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1389号第5に規定する構造方法によること。	

その他コンクリート工事について特記なき事項はJASS5、鉄骨工事についてはJASS6による。

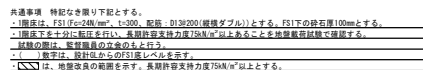
平成12年建設省告示第1464号			
鉄骨造の継手又は仕口の構造方法を定める件建築基準法施行令 (以下「令」という。 ) 第6条第2項に規定する鉄骨造の継手又は仕口の構造は、次の各号に掲げる接合方法の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める構造方法を用いるものとしなければならない			
一 高力ボルト、ボルト又はリベット (以下「ボルト等」という。 ) による場合 次に定めるところによる。			
イ ボルト等の縦断面 (当該ボルト等の中心軸から接合する鋼材の縦断面までの距離のうち最短のものという。以下同じ。 ) は、ボルト等の径の2倍の長さの鋼材の縦断面に、それぞれ当該各号に定める数値以上の数値としなければならない。			
ロ 高力ボルト摩擦接合部の摩擦面は、次に掲げる鋼材の種類に応じ、それぞれ次の (1) 又は (2) に定める状態としなければならない。			
(1) 炭素鋼 高強度等を除去した後に自然放置状態で表面に赤錆が発生した状態又はショットブラスト、グリッドブラスト等の方法によってこれと同等以上のすべり係数を有する状態			
(2) ステンレス鋼 無酸素ステンレス粉末入塗料塗装処理、ステンレス粉末プラズマ溶射処理等の方法によって (1) と同等以上のすべり係数を有する状態			
二 溶接による場合 次に定めるところによる			
イ 溶接部は、割れ、内部欠陥等の構造耐力上支障のある欠陥がないものとし、かつ、次に定めるところによらなければならない。			
(1) 柱とはりの仕口のダイヤフラムとフランジのずれにおいては、ダイヤフラムとフランジの間に配置する鋼材の厚さが、フランジの厚さよりも大きい場合においては当該フランジの厚さの1/4の値以下かつ5mm以下とし、当該フランジの厚さ以下の場合は当該フランジの厚さの1/5の値以下かつ4mm以下としなければならない。			
(2) 突合せ継手の良い違いは、鋼材の厚さが5mm以下の場合はあっては1. 5mm以下とし、厚さが15mmを超える場合にあっては厚さの1/10の値以下かつ3mm以下でなければならない。この場合において、通しダイヤフラム (柱の断面を横断するダイヤフラムという。以下同じ。 ) とはりフランジの溶接部においては、はりフランジは通しダイヤフラムを構成する鋼板の厚みの内端で溶接しなければならない。			
(3) 0. 3mmを超えるアンダーカットは、存在してはならない。			

業務名	三内丸山造設設計事務所建築設計作成業務		
図面名	北盤土盤盤 構造仕様書		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: ー A3: ー	図面番号	北盤 構-03
役社名	株式会社イビソク		
事業所名	三内丸山造設センター		

鉄骨構造基準				工作標準		仕口の標準		溶接基準図																		
(注) f : 余盛 G : ルート間隔 R : ルート面 S : サイズ (単位mm)																										
1. 一般事項 (適用事項は○印で示す)				1. 切 断 (J A S S 6)		柱梁接合部 ○内に上記溶接基準図の溶接番号を記入のこと。		(1) すみ肉溶接																		
1. 本工事は指示のない限り、下記最新版を適用する。 1. 日本建築学会 建築工事標準仕様書・同解説 J A S S 6 鉄骨工事 2. 日本建築学会 鉄骨精度測定指針 3. 日本建築学会 鉄骨工事技術指針 工場製作編 4. 日本建築学会鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査基準 同解説 5. 建設大臣官房官庁営繕部監修・建築工事共通仕様書 (7章: 鉄骨工事)				1. 鋼材の切断面はいちじるしい切欠きを生じない様にする。 ノッチの深さは1mm以下とする。 2. せん断切断する場合の鋼材の板厚は、13mm以下とする。 3. 切断面のたれ、まくれは取り除く。		<div>H型鋼柱</div> <div>角型鋼管柱</div> <div>柱通し</div> <div>梁通し</div> <div>ハンチ梁</div> <div>F P L折曲げ規定 勾配が1／5をこえる場合は 補強プレートP L ≥ 6をいれる R ≥ 50</div> <div>角型鋼管現場継手 角型鋼管柱継手 (現場溶接) 注) 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%行なう</div> <div>山型ラーメン棟部の継手</div> <div>大梁が斜めの場合は 溶接と添板のボルト 締めに注意のこと。</div>		<div>両側溶接</div> <div>片側溶接</div> <div>●但し片側溶接の場合はS = tとする ●tはt 1、t 2の小なる方とする 余盛は(1 + 0. 1 S) mm以下とする</div> <div>(2) 突合せ溶接 (平継手 T形継手)</div> <div>(裏はつり後溶接) 0. 5 ≤ f ≤ 3 (ただし、t ≥ 15のとき4mmとする)</div> <div>●補強すみ肉溶接を付加する</div> <div>(裏はつり後溶接) S = t / 4</div> <div>(裏はつり後溶接) ●両側に補強すみ肉溶接を付加する</div> <div>(裏はつり後溶接) S = t / 4</div> <div>●両側に補強すみ肉溶接を付加する</div>																		
2. 溶接部の設計応力度は下記の通りとする。 <div>1. 0 F</div> <div>0. 9 F</div>				2. 開先加工 (J A S S 6)																						
3. 製作工場は下記の通りとし監理者の承認した工場とする <table><tr><td>鉄骨建設業協会認定工場</td><td>S. A. B. C. グレード</td></tr><tr><td>建設省告示1103号による建設大臣認定工場</td><td>H (M) R. グレード</td></tr><tr><td>全国 構工業連合会認定工場</td><td>J グレード</td></tr><tr><td>指定工場名 ( )</td><td></td></tr></table>				鉄骨建設業協会認定工場	S. A. B. C. グレード	建設省告示1103号による建設大臣認定工場	H (M) R. グレード	全国 構工業連合会認定工場	J グレード	指定工場名 ( )		3. 孔あけ加工 (J A S S 6)														
鉄骨建設業協会認定工場	S. A. B. C. グレード																									
建設省告示1103号による建設大臣認定工場	H (M) R. グレード																									
全国 構工業連合会認定工場	J グレード																									
指定工場名 ( )																										
4. 鉄骨工事着手前に提出するもの 1. 認定工場認定証の写し (指定ゴム印のあるもの) 2. 溶接工事作業計画書 3. 製作要領書  5. 現場建方時に製作工場名表示看板を掲げる事 (建設省住指発第347号)  6. 鉄骨工事完了後提出するもの 1. 鋼材規格証明書 (実物又は裏書きミルシート) 2. 高力ボルト規格証明書 3. 防錆塗料成分証明書 4. 鉄骨工事施工状況報告書の内、製作工場に求められる書類 (建設省住指発第349号)				4. 摩擦面の処理 (J A S S 6)																						
2. 材 料 (適用事項は○印で示す)				すべり係数0. 45以上確保できる方法は下記の通りとする。 1. 自然発生 — ディスクグラインター等で黒皮などを原則として、スプライスプレートの全面の範囲について除去した後、自然放置して発生させた赤さび状態を確保する。 2. プラスト処理 — ショットプラスト等で50μmRy以上のあらさを確保する。プラスト処理の場合は発錆の必要はない。																						
1. 主要構造部に使用する鋼材は、J I S規格品を使用すること。 2. 高力ボルトは、原則としてトルシア形高力ボルトとする。 3. 防錆塗料は下記の通りとする。 <table><tr><th>塗料種類</th><th>1種</th><th>2種</th><th>塗り回数</th></tr><tr><td>K-5674</td><td>●</td><td></td><td rowspan="4">工場 2回 現場タッチアップ 1回</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>				塗料種類	1種	2種	塗り回数	K-5674	●		工場 2回 現場タッチアップ 1回										5. 溶 接 (J A S S 6)					
塗料種類	1種	2種	塗り回数																							
K-5674	●		工場 2回 現場タッチアップ 1回																							
3. 検 査 (適用事項は■印で示す)				1. 組立溶接・本溶接ともJ I S Z 3801又はJ I S Z 3841の有資格者が行なう。 2. 溶接に使用する材料は母材の材質に適合したものを使用する。 3. 開先のある溶接の両端には、フラックススタブを用いる。 4. 気温－5℃を下回る場合は、溶接を行ってはならない。気温が－5℃から5℃においては、溶接部より100mmの範囲の母材部分を適切に加熱すれば溶接することができる。 5. 突合せ継手およびT継手の余盛高さ 完全溶込み溶接の突合せ継手の余盛高さは0mm以下とし、T継手の余盛高さは突合せの材の厚さの1／4とし、材の厚さが40mmを超える場合は10mmとする。このときの許容差はJ A S S 6－付則6「鉄骨精度検査基準」による。余盛は応力集中を避けるため滑らかに仕上げ、過大であったりビード表面形状に不整かあってはならない。																						
1. 立会検査 ■ 現寸検査. ■ 組立検査. ■ 製品検査. を行なう																										
2. 溶接部検査 (外観検査共) 超音波探傷検査とし、検査を行なう機関及び抜取率は下記による。 ■ ① 受入検査 (第三者検査会社) <div>35</div> % □ ② 指定の検査機関 <div></div> % ■ ③ 社内検査 (NDI・1種以上の資格者に限る) <div>100</div> %																										
デッキプレート受プレート (合成床の場合は設計図書による)																										

一級建築士第19837号・構造設計一級建築士第6911号 河島寛

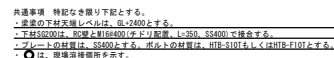
業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	北盛土覆屋 鉄骨構造基準		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: — A3: —	図面番号	北覆 構-04
会社名	株式会社イビツク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		



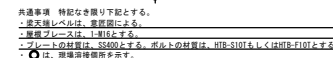
基礎伏図 1 / 50



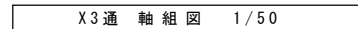
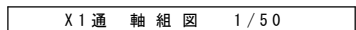
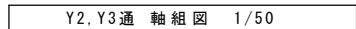
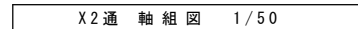
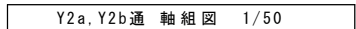
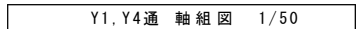
1 階 壁 伏 図 1 / 50






R階鉄骨下材伏図 1/50



R 階 小 屋 伏 図 1 / 50

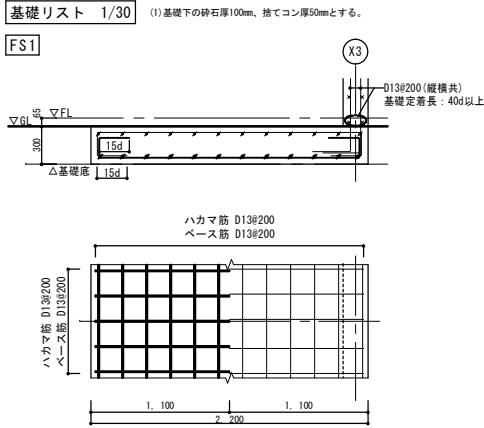


共通事項 特記なき限り下記とする。

- ・は、地中梁増打ちの範囲を示す。
- ・は、剛接合を示す。
- ・印は、柱及び梁ジョイント位置を示す。
- ・外壁コーナ一部の間隔は、20-100X50X20X2.3とする。

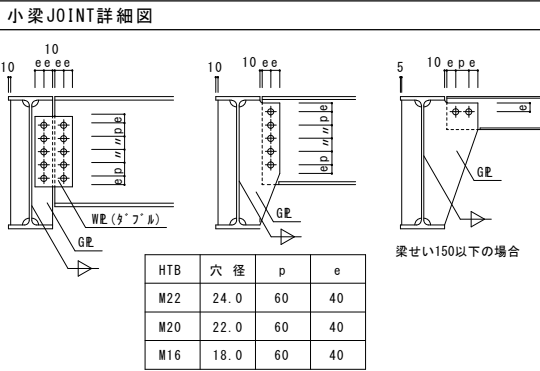
一級建築士第199827号・構造設計一級建築士第9911号 河島賢

業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	北壁土覆壁 構造図 1		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=50 A3: S=100	図面番号	北壁 構-0
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		



壁リスト	1/30
特記なき限り (1)巾止筋はD10@1000以内とする。	
符 号	W200
壁 厚	200
断 面	
縦 筋	D13@200 (S)
横 筋	D13@200 (S)
開口	縦筋 2-D16
補強筋	横筋 2-D16
斜筋	溶融金網Φ6-100x100
備 考	

部材リスト	特記事項 プレートの材質は、SS400とする。 ボルトの材質は、HTB-S10Tとする。アンカーボルトの材質は、SS400とする。			
部材名称	符 号	断 面	材 質	備 考 (継手等)
梁	SG150	H-150×150×7×10	SS400	BPL-12、6-M20
梁	SG200	H-200×200×8×12	SS400	GPL-9、2-M20、アンカーボルトM16 (SS400、L=400)
梁	SG244	H-244×175×7×11	SS400	BPL-12、GPL-12、8-M20
梁	CSG100	H-100×100×6×8	SS400	上フランジに[-75x40x5x7を溶接
梁	SB100	[-100×50×5×7.5	SS400	GPL-9、2-M20 (ボルト間隔90mm)
間柱	P1	□-100×100×6	STKR400	GPL-9、2-M20
屋根ブレース	1-M16		SNR400	GPL-9、1-M16
母屋		C-100×50×20×2.3	SSC400	GPL-6、2-M12 (中ボルト)
母屋		2C-100×50×20×2.3	SSC400	GPL-6、2-M12 (中ボルト)
胴縁		C-100×50×20×2.3	SSC400	GPL-6、2-M12 (中ボルト)
胴縁		2C-100×50×20×2.3	SSC400	GPL-6、2-M12 (中ボルト)



ブレース要領図 (ブレースはJIS規格品とする。)

羽子板ボルト

M12～M22のとき

M24～M33のとき

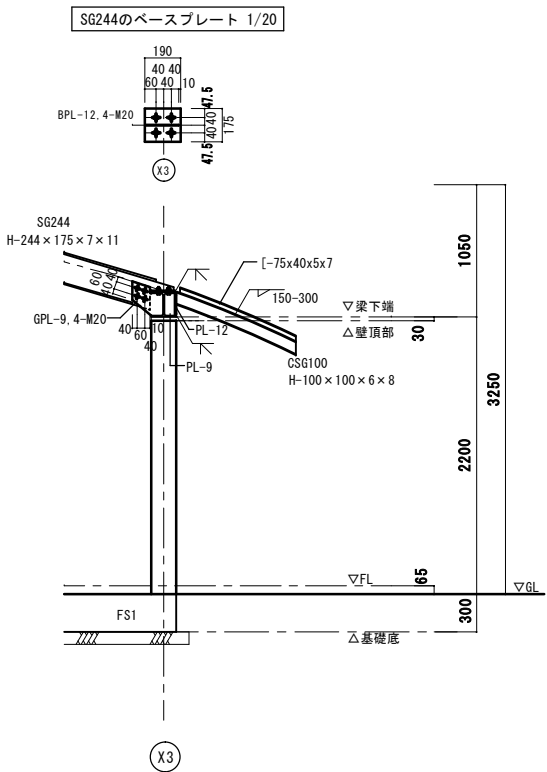
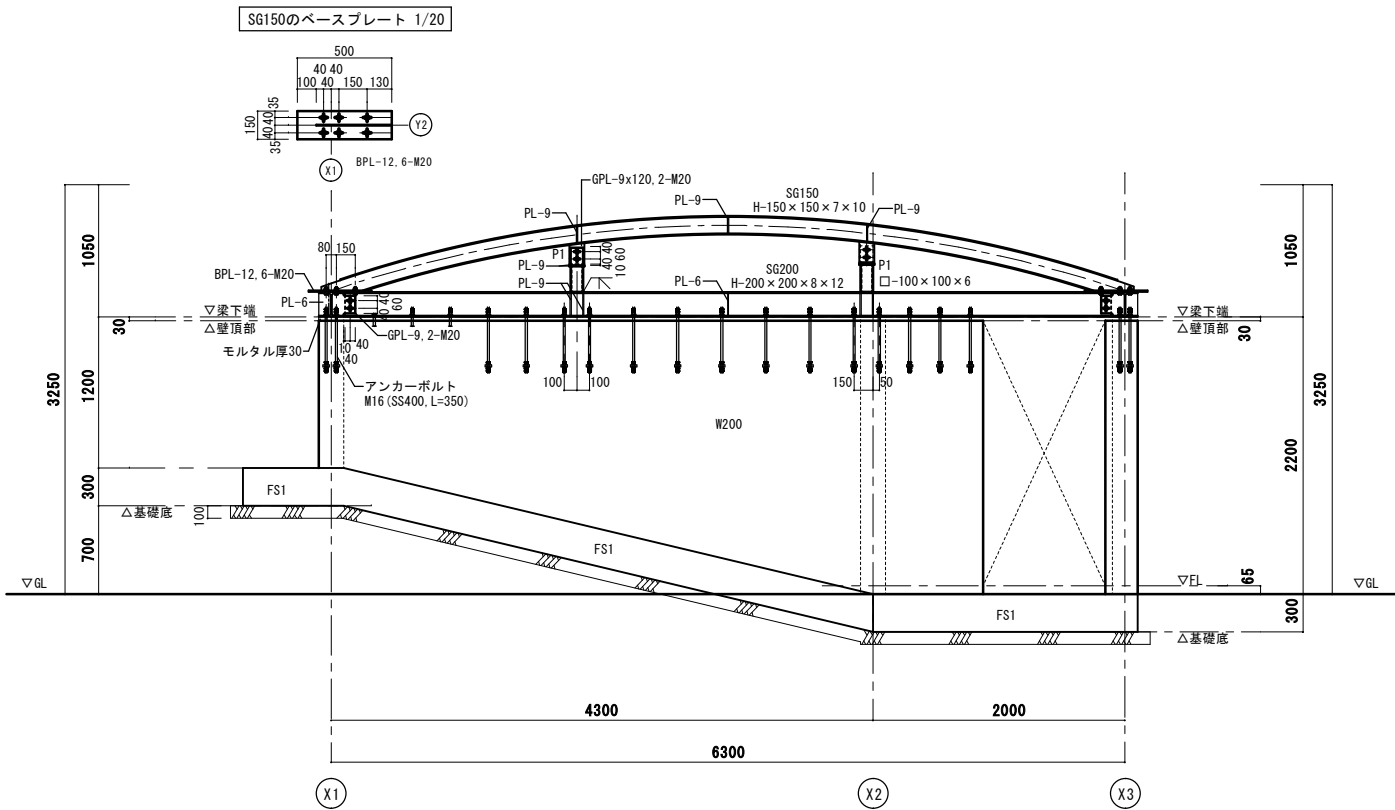
羽子板ボルトの形状及び寸法

ねじの呼び (d)				M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24	M27	M30	M33
軸径 d	最 大			10.8	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99	24.99	27.67	30.67
	最 小			10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77	24.77	27.42	30.42
調整ねじの長さ	Ss			100	115	125	140	150	165	175	200	225	225
取付ボルト穴径許容差 +0. -0.5mm	R			13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5	21.5	23.5	23.5
はしあき (最小) 注(2)	e1			35	40	45	50	50	55	50	50	55	55
切 板 製	へりあき (最小) 注(1)			e2	22	28	28	34	34	38	38	45	45
	板 厚			t	4.5	6	6	9	9	9	9	12	12
平 鋼 製	へりあき (最小) 注(1)			e1	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5	45.0	45.0
	板 厚			t	4.5	6	6	9	9	9	9	12	12
ボルト端から取付ボルト穴心のあき (最小)	e3			47	52	59	66	66	73	70	72	83	90
溶接長さ (最小)	lw			40	50	55	60	75	85	85	90	95	110
取付ボルト本数	注(2)			1-M12	1-M16	1-M16	1-M20	1-M20	1-M22	2-M20	2-M20	2-M22	2-M22

注 (1) e1、e2 が確保されていれば形状は自由でよい

(2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断 (支圧) 接合とする

(3) 取付ボルトの種類は J I S B 1 1 8 6 2 種高力ボルト ( F 1 0 T )



Y2通鉄骨架構詳細図 1/30

A部詳細図 1/30

業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	北盛土覆屋 構造図 2		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S=50 A3: S=100	図面番号	北覆 構-06
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

業務名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	電気設備特記仕様書(1)		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: $\frac{1}{50}$ A3: $\frac{1}{100}$	図面番号	北覆 E-
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

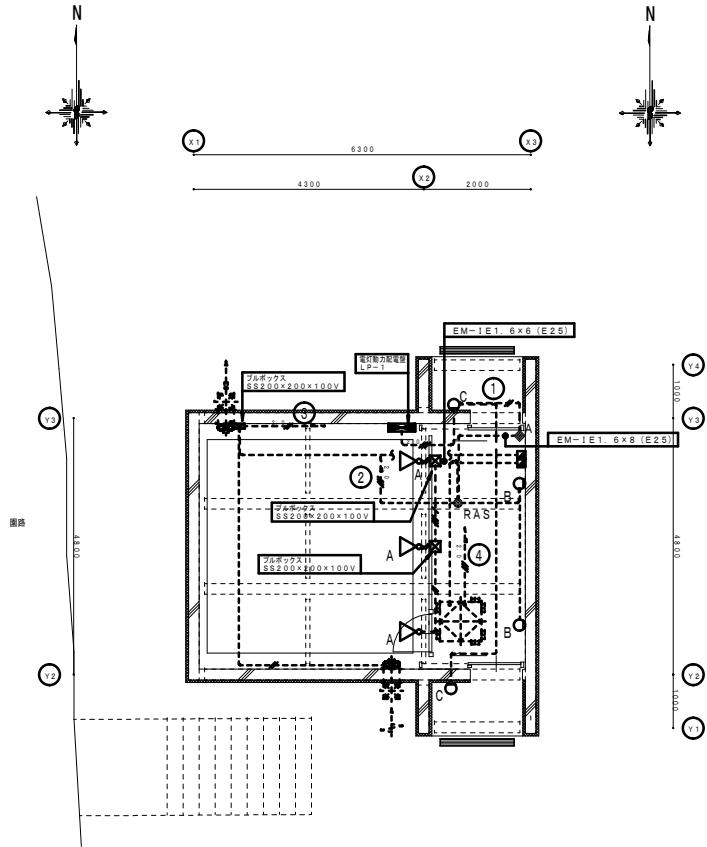




工 事 区 分 表（他工事との取合い等）							区分は○印を適用する		A 建築工事		E 電気設備工事		M 機械設備工事		EV エレベーター設備工事		※複数箇所に○印があるものは、各工事を適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
項 目							A	E	M	EV	備 考		項 目							A	E	M	EV	備 考		項 目							A	E	M	EV	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
躯体関係 RC造（梁・壁・床の貫通孔・開口部）							その他		事務室廻り		フリーアクセスフロアパネル切込み加工		フリーアクセスフロア給排気グリル		フリーアクセスフロアコンセント		壁・天井空調給排気グリル		自家発電設備		自家発電装置		発電装置 基礎		トレンチ		トレンチ用 蓋		主燃料槽（充填砂共）		主燃料槽用 基礎、外郭工事（充填砂共）		同上杭及び杭頭処理		燃料小出槽		燃料小出槽 基礎		防油堤		通気管		給油口ボックス		給油口ボックス 基礎		屋外トレンチ		屋外トレンチ用 蓋		危険物表示板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
S・SRC造（梁・壁・床の貫通孔・開口部）							鉄骨貫通鋼管スリーブ		貫通スリーブ		貫通スリーブの補強		開口部の型枠・補強		貫通スリーブ・開口部の墨出し		貫通スリーブ・型枠部の穴埋め		予備スリーブの穴埋め		仕 上 関 係		軽鉄天井・壁下地		ボード類の切り込み		下地材の切込み・補強		開口部の墨だし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

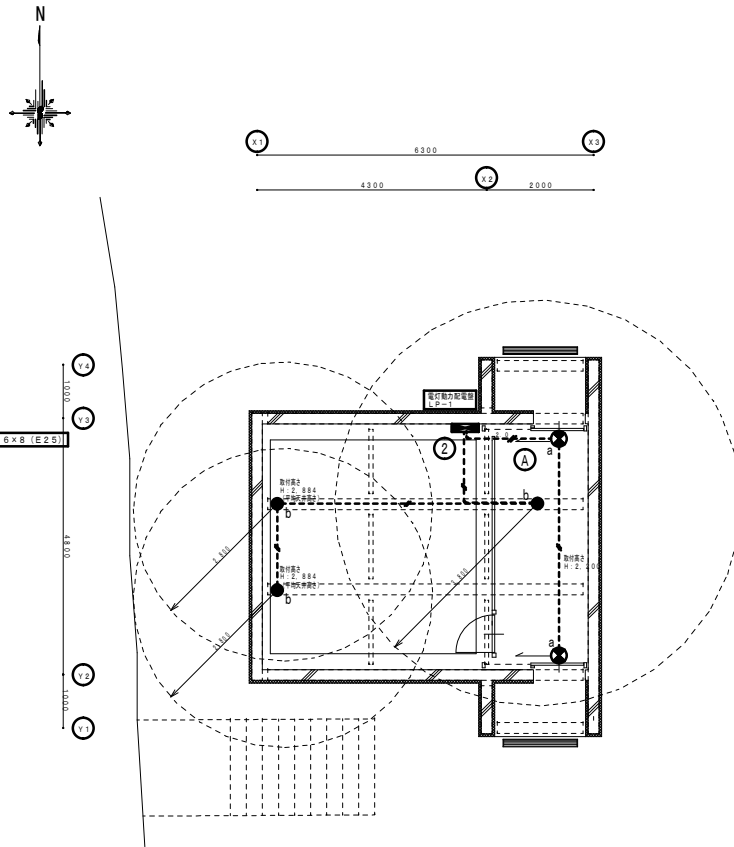
この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター工事（EV）といった施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体の工事内容を示すものではないことに留意すること。

業務名	三内丸山道跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	工事区分表		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: S= - A3: S= -	図面番号	北 Ⅷ E-03
会社名	株式会社イビツク		
事業名	三内丸山道跡センター		



電灯分岐設備図 1/50

配管前室案



非常照明・誘導灯設備図 1/50

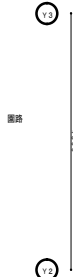
配管前室案

<div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> <div data-bbox="1464 92 1816 359"> </div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div>
---

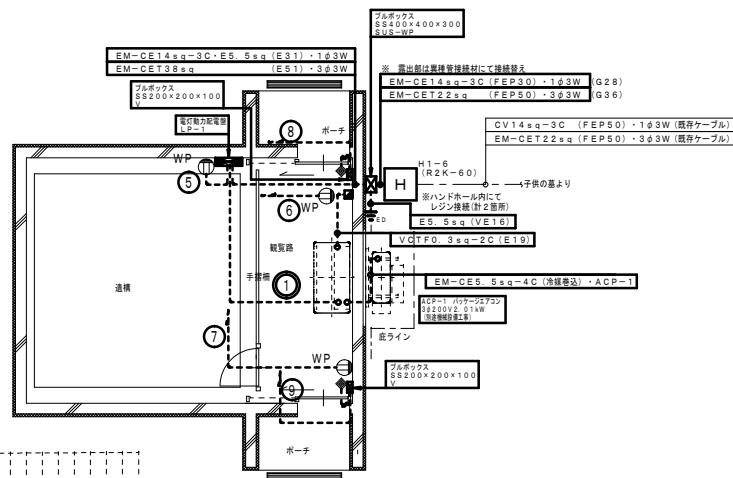
図記号	名 称	定 額
■	非常用電源工事 支線スイッチ	取付本工事

注 記
1. 特殊無形設備は、下記による。
ケーブルの上より引下がり設備等にて保護すること。
防火区画等主要な防火区画等通過箇所は防火処理を施すこと。
EM-1E 1.6 × 2 (E19) 露出
EM-1E 1.6 × 3 (E19) 露出
EM-1E 1.6 × 4 (E19) 露出
EM-1E 1.6 × 5 (E19) 露出
EM-1E 2.0 × 2 (E19) 露出
EM-1E 2.0 × 3 (E19) 露出

業務名	三内丸山道跡史跡整備実施設計作成業務
図面名	北嶺り土 電灯分岐設備図
作成年月日	2023年3月24日
縮尺	A1: 500 A3: 500
図面番号	北嶺 E-04
会社名	株式会社イビック
事業者名	三内丸山道跡センター



図路



電灯幹線・コンセント分岐・動力設備図面 1 / 50

図記号	名 称	定 格
①	壁付コンセント	2P15A×2・ET×1 (両側取)
■	別途設備設置工事 支線スイッチ	取付本工事
◆	ワイド版スイッチ	1P15A×1

注 記
1. 特記無き配線記号は、下記による。
ケーブルの径より管径が不足する場合は電線管にて保護すること。
管径不足および管径不足等発生箇所は別途設備仕様書に明示すること。
EM-1E 2.0×2 (E19)
EM-1E 2.0×3 (E19)

番 号	負 荷 容 量	負 荷 名 称	遮断器	回路 番号
18		読書灯	MCCB2P 50/20A	①

番 号	負 荷 容 量	負 荷 名 称	遮断器	回路 番号
70		エアコン 室内機	ELCB3P 50/20A	②
22		照明器具	"	③
70		換気扇	"	④
1,200		コンセント	"	⑤
1,200		"	"	⑥
800		自動ドア	"	⑦

AC100V100/200V

EM-CE14sq-3C

MCCB3P  
50/30A

回路 番号	遮断器	負 荷 名 称	負 荷 容 量	備 考
②	ELCB3P 50/20A	予 備	-	
③	"	照明器具	241	
④	"	全熱交換ユニット	100	
⑤	"	コンセント	1,200	
⑥	"	自動ドア	800	
⑦	"	予 備	-	

二次側計 18VA  
二次側計 5,703VA  
合 計 5,721VA

セパレータ

番 号	負 荷 容 量 (kW)	F/A/T	遮断器	負 荷 名 称
2-01		50/30	ELCB3P	パッケージエアコン ACP-1

AC303W200V

EM-CET22sq

MCCB3P  
50/30A

電灯動力配電盤LP-1

屋内露出型  
ステンレス製

業務名	三内丸山道跡史跡整備実施設計作成業務
図面名	北郷リネ コンセント 分岐・ 電灯幹線・動力設備図
作成年月日	2023年3月24日
縮尺	A1: S=50 A3: S=100
図面番号	北郷 E-05
会社名	株式会社イビツク
事業者名	三内丸山道跡センター

機械設備工事 特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

青森市内三内丸山 地内

2. 建物概要

建物名称	構造	階数		建築基準法による 延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第 1 の区分	備考
		地上	地下			
北盛土覆屋	S 造	1		34.24		新 築

3. 工事種目 (●印のついたものが対象工事)

工事種目	工 事 種 別					
	建物別及び屋外	工 事 種 別				
● 空気調和設備		暖 房				屋 外
● 換気設備		新設一式				
○ 排煙設備		新設一式				
○ 自動制御設備						
○ 衛生器具設備						
○ 給水設備						
○ 排水設備						
○ 給湯設備						
● 消火設備		新設一式				
○ ガス設備						
○						

4. 指定部分

○ 無

○ 有

指定部分工期：令和 年 月 日

対象部分（ ）

5. 設備概要 (●印の付いたものを適用する。)

方式	設 備 概 要						
空気調和方式	○中央方式	○全空気方式 (	○定風量	○定風量	○変風量	○7722(4222)7併用方式	
	○個別方式	○N・7722(4222)7併用方式 (	○EHP	○GHP)			
自動制御方式	●電気式	●電子式	○デジタル式	○ポンプ直送方式	○直結増圧方式		
給水方式	○水道直結方式	○高置タンク方式	○ポンプ直送方式	○直結増圧方式			
	建物内の汚水と雑排水 便所系統 (			○合流式	○分流式	○一部合流式)	
	上配以外系統 (			○合流式	○分流式	○一部合流式)	
排水方式	放流先 汚 水 (	○下水直送放流	○浄化槽)				
	雑排水 (	○下水直送放流	○浄化槽)				
給湯方式	○局所式	○中央式					
消火設備方式	○屋内消火栓設備	○スプリンクラー設備	○消火栓設備	○連結排水管			
	○不活性ガス消火設備	○フード等用簡易自動消火装置	●消火器				
ガス設備方式	○都市ガス (種別	、高圧発熱量	MJ/m3 (N)、低圧発熱量	MJ/m3 (N)、			
	供給圧力	Pa、一般ガス導管事業者名：)	○液化石油ガス				

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁業務部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成31年版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官庁官庁業務部監修、環境課監修「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成31年版）」（以下、「標準図」という。）による。

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様は（ ）図、建築工事の特記仕様は（ ）図による。

2. 特記仕様

●印の付いたものを適用する。

章	項 目	特 記 事 項
一 般 共 通 事 項	○ 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重の算定は次の条件による。 ○ 風圧力 風速（V＝ m/ s）、地表面粗度区分（ ） ○ 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表（ ）
	● 機材の品質等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 別表に機材名等が記載された製造業者等は次の①から⑥すべて事項を満たす証明と評価する資料を提出し監督職員の承認を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承認を受けた場合は、証明となる資料の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。
		別 表 （品質及び性能に該当する材料・機材等）
		鋼製貿易ボイラー 鋼製ボイラー 鋼製小型ボイラー
		鋼製ボイラー 真空式温水発生機（鋼製・鉄製） 無圧式温水発生機（鋼製・鉄製）
		オリングユニット及び空気熱源ヒートポンプユニット 吸収冷暖水機 吸収冷暖水機
		吸収冷暖水機ユニット 遠心冷凍機 冷却塔
		ユニット形空気調和機 ファンコイルユニット及びカセットファンコイルユニット マルチパッケージ形空気調和機
		コンパクト形空気調和機 パッケージ形空気調和機 マルチパッケージ形空気調和機
		Δ20℃/m・h以上 式空気調和機 7722(4222)7 形、新込み形) 自動微粒取エアフィルター
○ 機材の承認図	電気集じん器	全静電集塵（回転形、静止形） 自動微粒取エアフィルター
	制炭送風機	軸流送風機 消音ボックス付送風機
	精形遠心ポンプ	水中モーターポンプ（汚水用、雑排水用、汚物用）
	立形遠心ポンプ	風量ユニット（定風量・変風量） 自動制御システム
	衛生器具ユニット	密閉形鋼製式便座タンク（空潤滑） 給湯用
		</

一般共通事項

●足場その他

○埋戻し及び盛土

●容量等の表示

●電源周波数

●電動機

●耐震施工

2)

3)

●別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。  
○本工事で設置する。

足場を打設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行う。

○内部足場（    ○内部足場（    ○ 種、    ○ 種 ）    ○外部足場（    ○ 種、    ○ 種 ）    ○内部足場（    ○内部足場（    ○ 種、    ○ 種 ）    ○外部足場（    ○ 種、    ○ 種 ）    )

種別    ○A種    ○B種（ただし、コンクリート管以外の管間周は山砂の類）

(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。  
(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は原則として表示された数値以下とする。

50Hzとする。

換気扇、圧力筒及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は製造者規格による標準品とてしてもよい。

設備機器の固定は、施設の分類に応じて次による。  
(1) 設計用水平地震力  
機器の重量 [kN] (水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量)に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたとしたものとする。

設計用標準水平震度

	機 器 種 別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上 層 階 屋上及び塔屋	機 器 類	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器 類	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機 器 類	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは地階を除く2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4層とする。  
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。  
・水槽類にはオイルタンクを含む。  
・重要機器は次のように。  
[名称：                  、記号：                  ] [名称：                  、記号：                  ]  
[名称：                  、記号：                  ] [名称：                  、記号：                  ]  
[名称：                  、記号：                  ] [名称：                  、記号：                  ]  
[名称：                  、記号：                  ] [名称：                  、記号：                  ]  
[名称：                  、記号：                  ] [名称：                  、記号：                  ]

(2) 設計用鉛直地震力  
設計用水平地震力の1／2とする。

(3) 施設の分類  
本施設は （    ○特定の施設    ●一般の施設 ）とする。

各機器の個別運転調整後に次の総合調整を行い、測定報告書を提出する。  
●水量調整    ●室内外空気の温度差の測定  
○室内気流及びじんあいの測定    ○騒音測定    ○飲料水の水質の測定  
○給排水の水質の測定

特記されていない弁等のサイズは機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。

図示の箇所に施工する。施工方法は次による。

標準図 施工4 （    ○ a ）    施工5 （    ○ b ）    ○ c ）

図示による。

対象配管系統    ○冷水    ○冷却水    ○消火（水用）    ○油    ○ガス

標準仕様書記載以外の天吊形、カセット形、天井埋入形の機器の支持は吊り用ボルトで行い、振れ止めを施したものとする。

イ)    ボンプ、屋外機器及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）とする。  
ロ)    振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。  
ハ)    冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。  
二)    冷媒等の吊り用支持受け材として保護プレートを、断熱材被覆鋼管と吊り金物との間に掛け、自重による断熱材の食込みを防止する。

1)    地中埋設 (図示の位置)    ○要    ○不要  
2)    埋設表示テープ (排水管を除く)    ○要    ○不要

●配管施工 (配管工事)    ○建築鉄筋施工 (ダクト製作及び取付け)  
●熱絶縁施工 (保温工事)  
●冷凍空気調和機器施工    (チリングユニット、パッケージ型空気調和機の取付け及び整備)

工事区分表による。

屋内露出の保温外装は、合成樹脂製カバー2とする。

○保温を行わない居室・便所・湯沸室及び屋外の露出配管 (銅管)、ダクト には塗装を行う。  
○図示による。

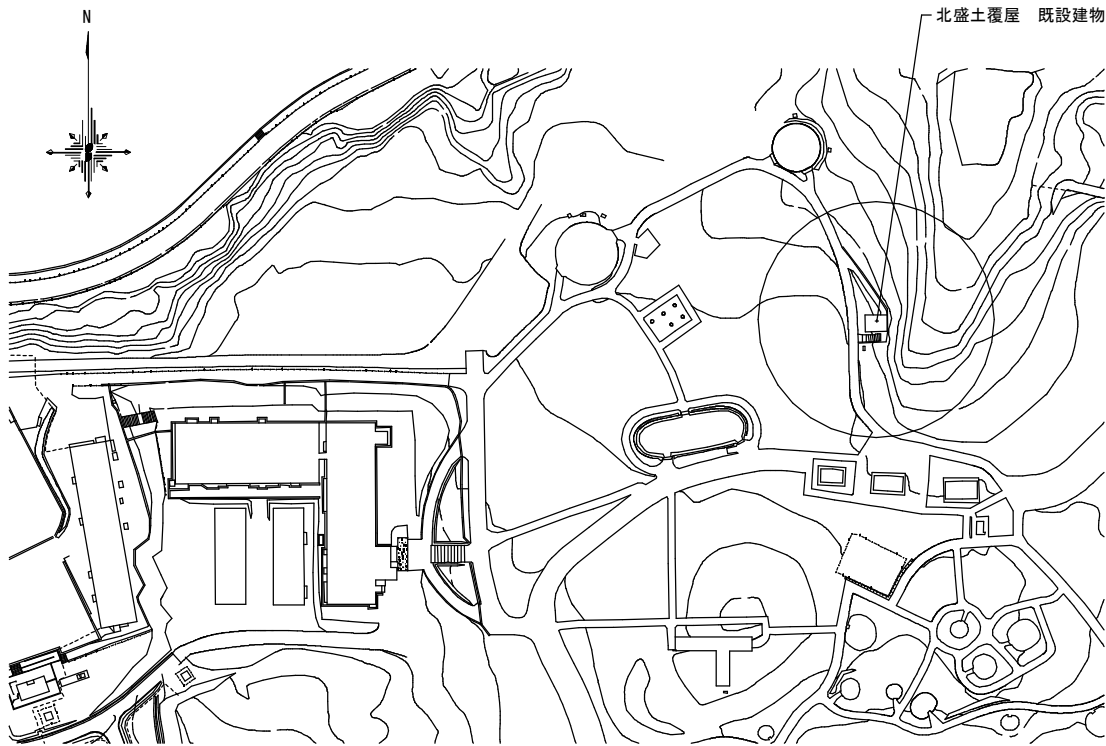
電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編 1. 5. 1表 4. 1. 1による。

[illegible]

<p>○ 衛生器具設備</p> <p>○ 大便器洗浄方式</p> <p>○ 大便器用洗浄弁</p> <p>○ 小便器自動洗浄</p> <p>○ 器具付風水栓</p> <p>○ 衛生器具ユニット</p>	<p>○ 洗浄タンク方式</p> <p>○ 洗浄弁方式</p> <p>○ 手動式</p> <p>○ 電気開閉式 ( )</p> <p>○ センサー式</p> <p>○ タッチスイッチ式</p> <p>個別感知方式とする。 ( )</p> <p>○ A/C電源</p> <p>○ ( )</p> <p>固定こま式 (節水こま式) とする。</p> <p>別図による。</p>
<p>○ 給水設備</p> <p>○ 量水器</p> <p>○ 量水器類</p> <p>○ 配管材料</p> <p>○ 弁類</p> <p>○ 不凍水栓柱</p> <p>○ 給水栓</p> <p>○ 埋設深さ</p> <p>○ 保温</p> <p>○ ステンレス鋼管の接合方法</p> <p>○ 引込納付金等</p>	<p>○ 親メーター ( )</p> <p>○ 親メーター ( )</p> <p>○ 現地表示式 (直読式)</p> <p>○ 通隔表示式 ( )</p> <p>○ 電文式</p> <p>○ バルス式</p> <p>○ 子メーター ( )</p> <p>○ 子メーター ( )</p> <p>○ 現地表示式 (直読式)</p> <p>○ 通隔表示式 ( )</p> <p>○ 電文式</p> <p>○ バルス式</p> <p>イ) 親メーター用</p> <p>○ 水道事業者指定品</p> <p>○ 標準図機材 57</p> <p>ロ) 子メーター用</p> <p>○ 水道事業者指定品</p> <p>○ 標準図機材 57</p> <p>イ) 一般配管</p> <p>○ ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <p>○ ポリ粉末ライニング鋼管 ( )</p> <p>○ PA</p> <p>○ PB</p> <p>ロ) 土間配管</p> <p>○ ステンレス鋼管 (SUS316)</p> <p>○ ポリ粉末ライニング鋼管 ( )</p> <p>○ PD</p> <p>シンダー内配管</p> <p>○ 塩ビライニング鋼管 ( )</p> <p>○ VD</p> <p>ハ) 屋外地中</p> <p>○ ポリエチレン二層管</p> <p>○ 水道配水用ポリエチレン管</p> <p>イ) 水道直結部分</p> <p>○ 10 K</p> <p>ロ) その他の部分</p> <p>○ 5 K</p> <p>○ 10 K</p> <p>な、ステンレス鋼管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。</p> <p>○ 化粧ケーシング ( )</p> <p>○ アルミニウム合金製</p> <p>○ 合成樹脂製</p> <p>○ 伸縮式</p> <p>イ) 屋内 ( )</p> <p>○ 一般水栓</p> <p>○ 耐寒水栓</p> <p>屋外 ( )</p> <p>○ 耐寒水栓</p> <p>○ 一般水栓</p> <p>ロ) 湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。耐寒水栓は JWWA の認証品とする。</p> <p>イ) 一般敷地内 ( )</p> <p>○ 0.6 m 以上</p> <p>ロ) 敷地内車庫通行部分 ( )</p> <p>○ 0.9 m 以上</p> <p>イ) 屋外露出管 (弁、フランジを含む) の保温は、標準仕様書第 2 編 3.1.5 表 2.3.5</p> <p>○ e 2・(ハ) とし厚さは呼び径 25 mm 以下は 50 mm、呼び径 32 mm 以上は 40 mm とする。</p> <p>イ) 呼び径 60 SI 以下</p> <p>SAS322</p> <p>(一般配管用 JIS の鋼管の管継手性能基準) を満足した継手による接合</p> <p>ロ) 呼び径 75 SI 以上</p> <p>○ 溶接接合</p> <p>○ ハウジング形管継手による接合</p> <p>○ フランジ接合</p> <p>○ 要 ( )</p> <p>○ 本工事</p> <p>○ 別途</p> <p>○ 不要</p>
<p>○ 排水設備</p> <p>○ 排水試験継手</p> <p>○ 台所流し等の排水管</p> <p>○ 放流納付金等</p>	<p>イ) 屋内汚水配管</p> <p>○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>○ 配管用炭素鋼鋼管 (白)</p> <p>○ 硬質塩化ビニル管 (VP)</p> <p>(最下階の床下・ベットの)</p> <p>○ 耐火二層管 (FDVD)</p> <p>(天井内、パイプシャフト内及び空腔壁中)</p> <p>○ ビニル管 (RFVP)</p> <p>衛生器具との接続部分に限る。)</p> <p>ロ) 屋内雑排水管</p> <p>○ 配管用炭素鋼鋼管 (白)</p> <p>○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>○ 硬質塩化ビニル管 (VP)</p> <p>(最下階の床下・ベットの)</p> <p>○ 耐火二層管 (FDVD)</p> <p>(天井内、パイプシャフト内及び空腔壁中)</p> <p>ハ) 屋外地中汚水、雑排水管</p> <p>○ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (RFPVU)</p> <p>○ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RSVU)</p> <p>○ 硬質塩化ビニル管 ( )</p> <p>○ VP</p> <p>○ VU</p> <p>ニ) 通気管</p> <p>○ 配管用炭素鋼鋼管 (白)</p> <p>○</p> <p>○ 硬質塩化ビニル管 (VP)</p> <p>(最下階の床下・ベットの)</p> <p>○ 耐火二層管 (FDVD)</p> <p>(天井内、パイプシャフト内及び空腔壁中)</p> <p>ホ) ポンプアップ排水管 (汚水系)</p> <p>○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (圧送 MD)</p> <p>○ 硬質塩化ビニル管 (VP)</p> <p>(雑水・湧水系)</p> <p>○ 配管用炭素鋼鋼管 (白)</p> <p>(圧送 MD)</p> <p>○ 硬質塩化ビニル管 (VP)</p> <p>ヘ) 雨水排水管</p> <p>○ 配管用炭素鋼鋼管 (白)</p> <p>○ ステンレス鋼管</p> <p>図示の位置に取り付ける。</p> <p>台所流し等の床上露出部分の配管は、ビニル管 (RFVP) でもよい。</p> <p>○ 要 ( )</p> <p>○ 本工事</p> <p>○ 別途</p> <p>○ 不要</p>
<p>○ 給湯設備</p> <p>○ 弁類</p> <p>○ 保温</p> <p>○ ステンレス鋼管の接合方法</p>	<p>○ ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <p>○</p> <p>(膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む)</p> <p>給水設備の当該事項による。</p> <p>沸騰器の給排水管 (二重管) のいんべい部保温を行う。</p> <p>(保温の種別は標準仕様書第 2 編 3.1.5 表 2.3.5 のハ・イ・X とする)</p> <p>イ) 呼び径 60 SI 以下</p> <p>SAS322</p> <p>(一般配管用 JIS の鋼管の管継手性能基準) を満足した継手による接合</p> <p>ロ) 呼び径 75 SI 以上</p> <p>○ 溶接接合</p> <p>○ ハウジング形管継手による接合</p> <p>○ フランジ接合</p>
<p>● 消火設備</p> <p>○ 屋内消火栓種類</p> <p>○ 屋内消火栓開閉弁</p> <p>○ 地中埋設配管の接合</p> <p>○ 保温</p> <p>○ 不活性ガス消火設備</p> <p>○ 泡消火設備</p>	<p>イ) 屋内消火栓配管 一般</p> <p>○ 配管用炭素鋼鋼管 (白)</p> <p>地中</p> <p>○ 外面被覆鋼管 (SGP-VS)</p> <p>ロ) 連結送水配管 一般</p> <p>○ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Seh40)</p> <p>地中</p> <p>○ 外面被覆鋼管 (STPG-370 VS)</p> <p>○ 1号消火栓</p> <p>○ 易操作性 1号消火栓</p> <p>○ 2号消火栓</p> <p>○ 広範囲型 2号消火栓</p> <p>○ 10 K</p> <p>外面被覆鋼管の呼び径 100 A 以下はねじ接合とする。</p> <p>イ) 充水タンクの保温は、標準仕様書第 2 編 3.1.5 表 2.3.5 鋼板製タンクの項による。</p> <p>ロ) 消火配管の保温は、標準仕様書第 2 編 3.1.5 表 2.3.5 給水管の項による。</p> <p>ハ) 屋外露出管については給水管に準ずる。</p> <p>別図による。</p> <p>別図による。</p>



業務名	三内丸山遺跡史跡整備実地設計作成業務		
図面名	機械設備 特記仕様書(3)		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: ー A3: ー	図面番号	北環 H-03
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		



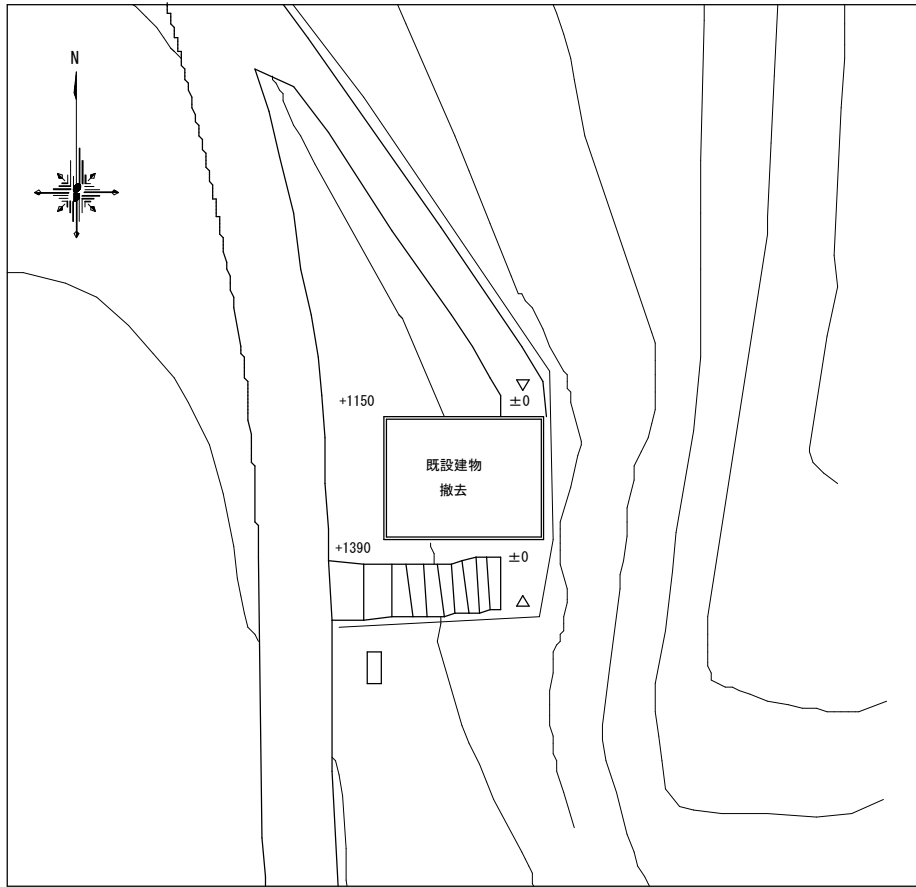
案 内 図

凡 例

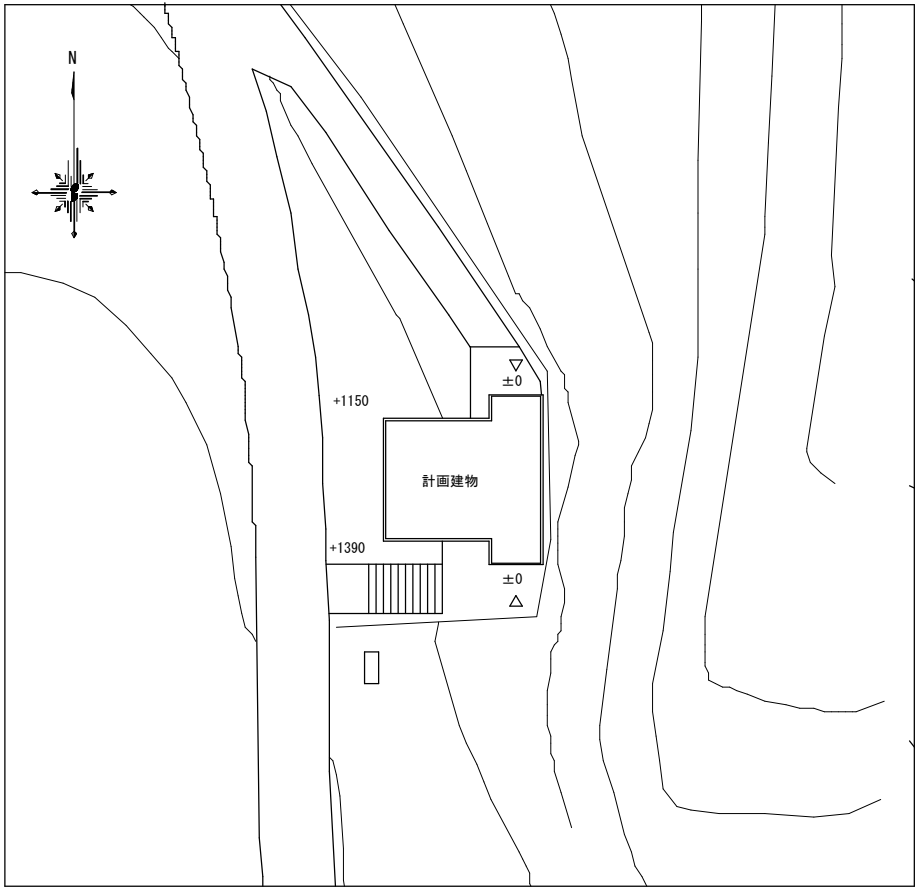
名 称	記 号	備 考	備 考
冷 媒 管		一 般 屋 外	断熱被覆銅管 (断熱UP) 上記配管に化粧ダクトを施す。
空 調 用 排 水 管		一 般 床 下	硬質塩化ビニル管 (VP) 硬質塩化ビニル管 (VP)
換 気 ダ ク ト		一 般	鋼板製スパイラルダクト、SUS製スパイラルダクト 鋼板製長方形ダクト (内装フランジ)
開 閉 操 水 口		〔 図示による 〕	
透 透 機		〔 図示による 〕	
電 動 ダ ン パ ー		〔 図示による 〕	
吹 出 口		〔 図示による 〕	
吸 込 口		〔 図示による 〕	

特 記 事 項

1. 図面記載品番を参考とし、同等以上の仕様及び能力を有する機器・器具を使用する。
2. 空調設備においては空調機等製造者の指導・監督の基に施工及び調整 (真空引き・冷媒補充等を含む) を行う。
3. パッケージエアコンの制御配線は本工事にて行う。
4. 防火区画を貫通する配管には区画貫通処理を施す。



現 況 配 置 図 S : 1/150



計 画 配 置 図 S : 1/150

業務名	三内丸山道跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	案内図、配置図、凡例		
作成年月日	2023年2月20日		
縮尺	A1: S=150 A3: S=300	図面番号	北覆 M-04
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山道跡センター		

空調機器表

[illegible]

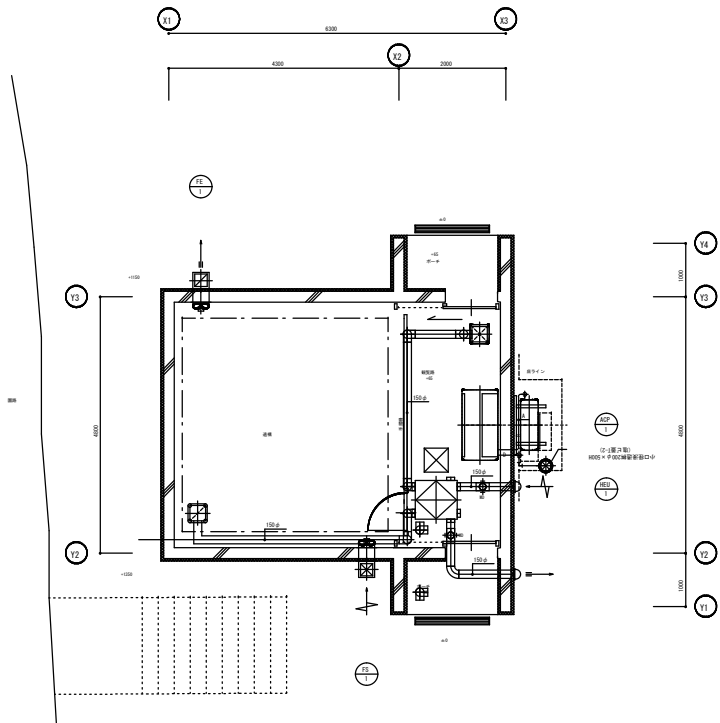
## 換氣機器表

[illegible]

深形パイプフードにおいて排気用はギャラリ付・給気用は防虫網付とする。  
ウェザーカバーにおいて排気用は防鳥網付・給気用は防虫網付とする。  
給排気グリルにおいて排気用はフィルター付とする。

業務名	三内丸山遺跡史跡整備事業施設設計作成業務		
図面名	空調換気設備 機群表		
作成年月日	2023年3月24日		
編尺	A1: ー A3: ー	図面番号	北環 M-05
会社名	株式会社イビソク		
事業名	三内丸山遺跡センター		





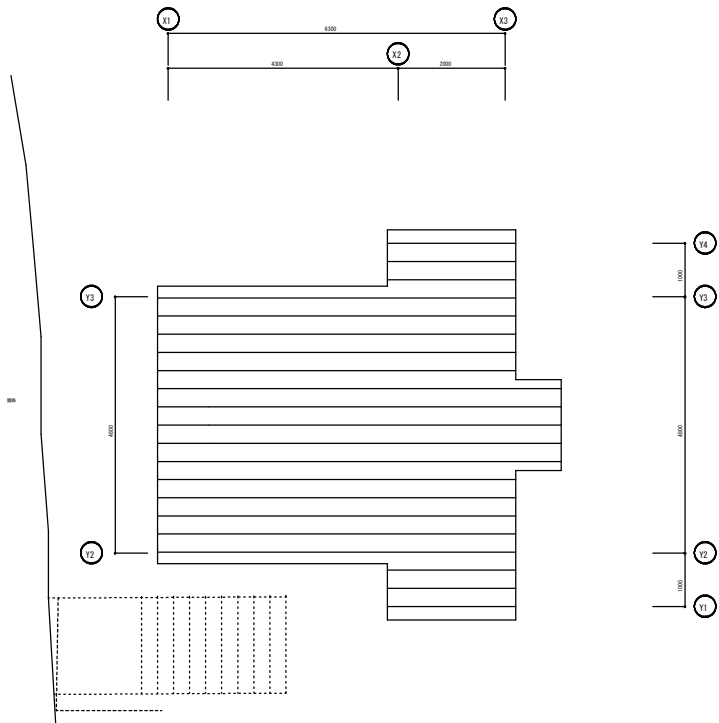
平面図 S=1/50

設備管サイズ表

設備	ガス管	排水管	暖房
A	φ15.88	φ9.52	

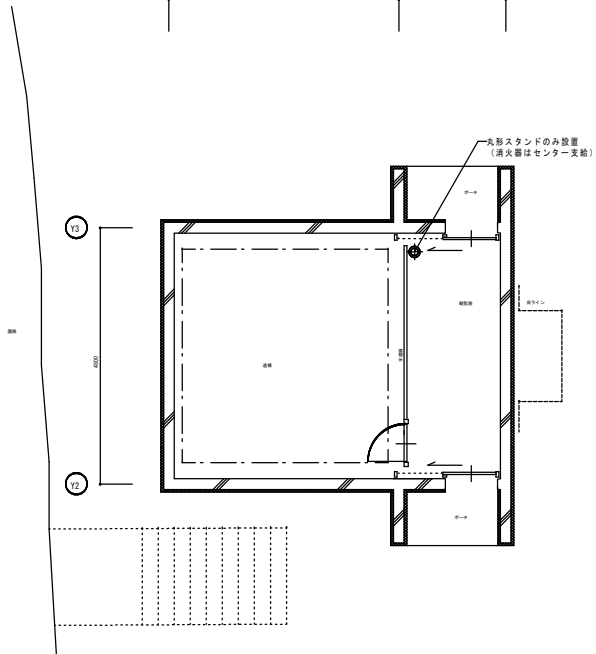
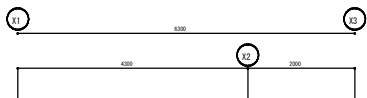
特記事項

- 1) 室内及び屋内外間の外気管は管周断熱材を施す。
- 2) エアコンの暖房用配管はH工事、電線配管はE工事とし、冷房用配管はH工事とし、冷房用配管はE工事とする。
- 3) ドレン配管は全てUPVCとし、屋内外間の配管は保温を施す。
- 4) 外壁貫通部は断熱材で補修を行う。

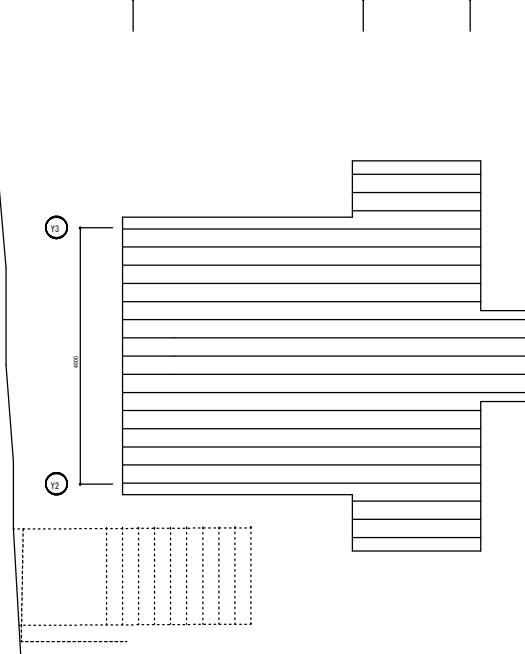
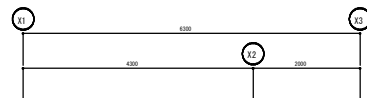


縦断図 S=1/50

業務名	三内丸山道跡史跡整備事業施設設計作成業務		
図面名	空調機取付図 1層平面図		
作成年月日	2023年3月4日		
縮尺	A1: 1/50 A2: 1/100	図面番号	北屋 Ⅱ-06
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山道跡センター		



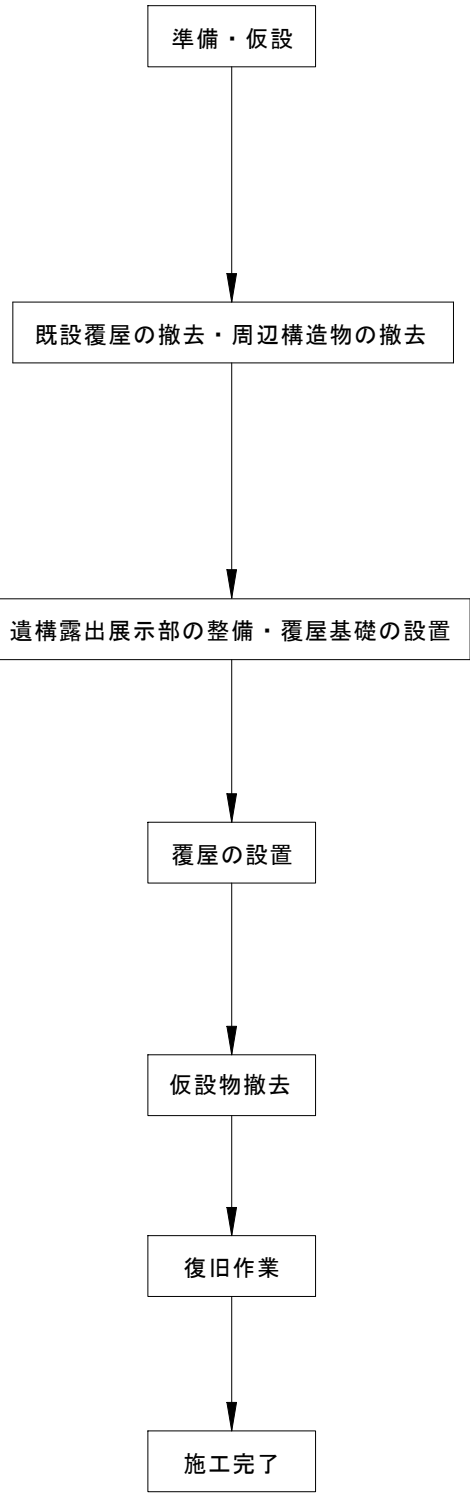
平面図 S=1/50



屋根伏図 S=1/50

業務名	三内丸山遺跡史跡整備事業施設設計作成業務		
図面名	消火設備 1 階平面図		
作成年月日	2023年3月24日		
縮尺	A1: 1/50 A2: 1/100	図面番号	北屋 Ⅱ-07
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

作業工程図



準備・仮設

- ①乗入搬入路の設置
- ②撤去・新設工事に伴う仮設

既設覆屋の撤去・周辺構造物の撤去

- ③展示遺構面への養生
- ④既存覆屋の撤去  
※周辺地形造成時は、遺構面が近傍に所在するため、監督員の立会いのもと施工を行うこと。
- ⑤周辺構造物・舗装の撤去
- ⑥地質調査の実施

遺構露出展示部の整備・覆屋基礎の設置

- ⑦遺構露出展示部の整備（充填）  
※表層の固化剤は試験を行ってから施工を実施すること。
- ⑧遺構露出展示部の整備（壁面）  
※埋設している土器等に表層材等が直接触れないよう和紙等で養生を行う。
- ⑨覆屋基礎の設置  
※遺構面が近傍に所在するため、掘削時には監督員の立会いのもと施工を行う。

覆屋の設置

- ⑩外装工事  
※意匠図・構造図における特記仕様書に則り施工を行うこと。
- ⑪内装工事  
※電気設備図・機械設備図における特記仕様書に則り施工を行うこと。
- ⑫埋戻/整地

園路・階段等の設置

- ⑬SLソイルサンド舗装の敷設  
※混合に関する試験を実施し、既設園路舗装と色調を合わせた上で監督員の承諾を得たのち、施工を行うこと。
- ⑭階段、擬木柵の設置  
※杭の打設時に、監督員の立会いのもと施工を行う。
- ⑮法面部の張芝

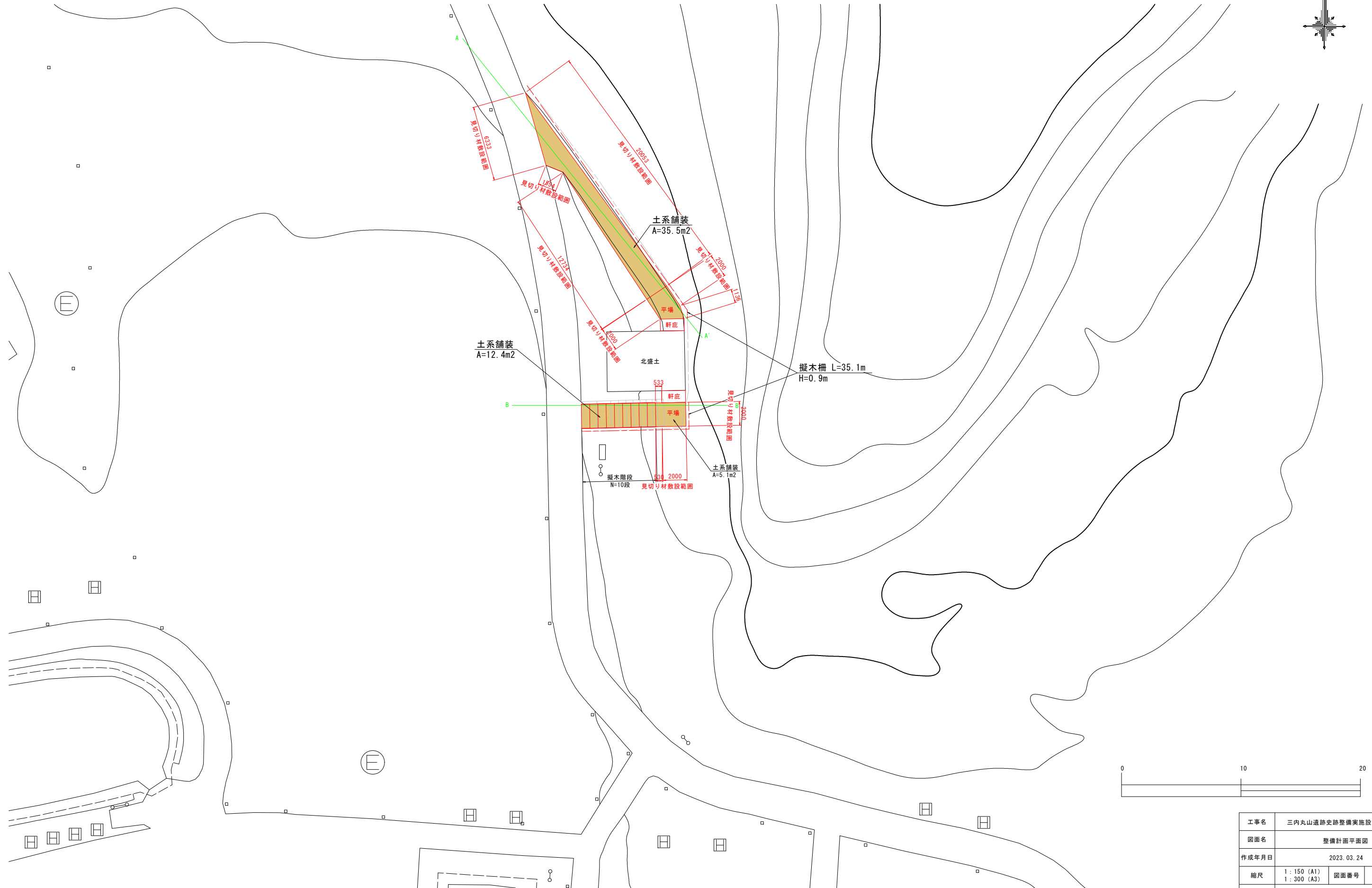
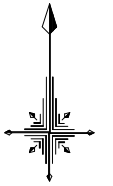
仮設物撤去

- ⑯仮設物等の撤去
- ⑰現場復旧作業

工事名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	作業工程図		
作成年月日	2023. 03. 24		
縮尺	1：100（A1） 1：200（A3）	図面番号	北土-01
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

整備計画平面図

S=1 : 150



工事名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	整備計画平面図		
作成年月日	2023. 03. 24		
縮尺	1 : 150 (A1) 1 : 300 (A3)	図面番号	北土-02
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

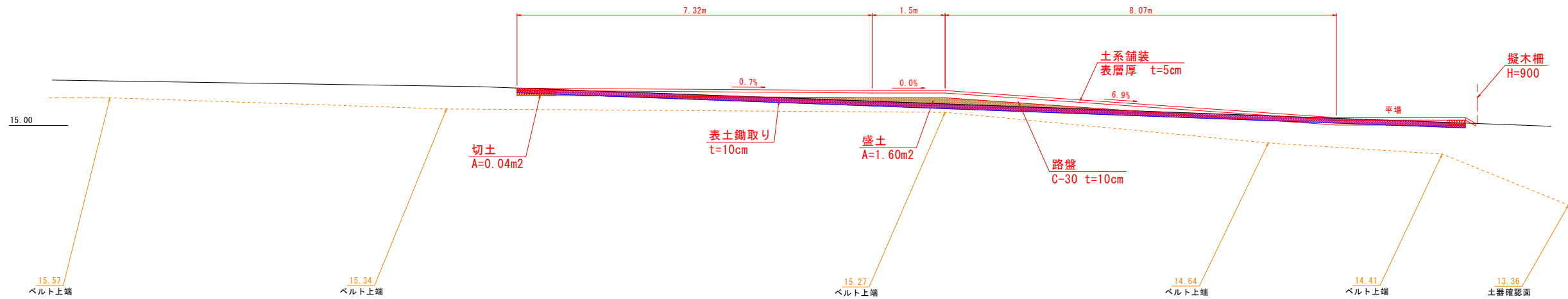
整備断面図

S=1 : 50

A-A' 断面

A

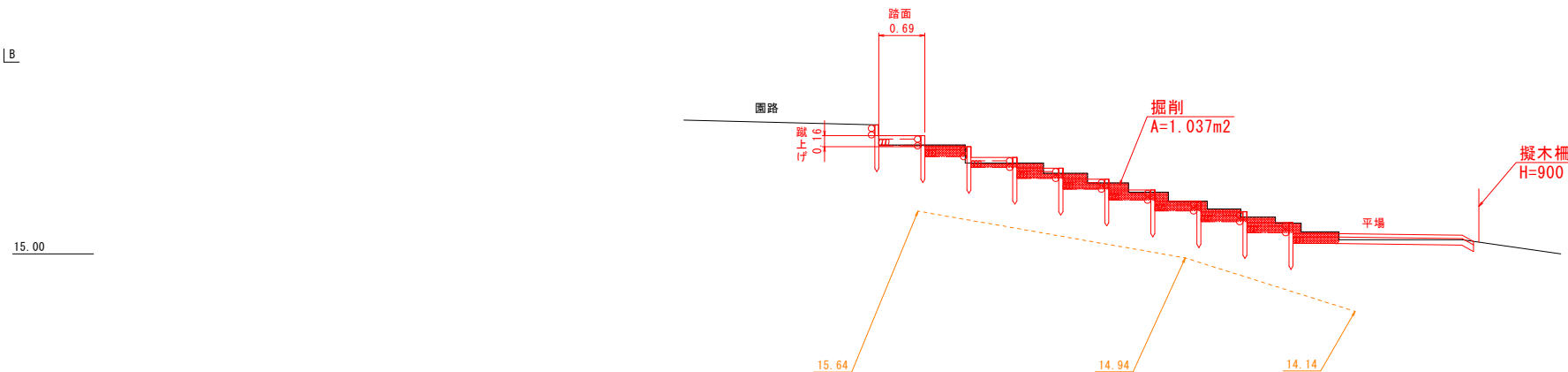
A'



B-B' 断面

B

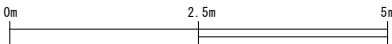
B'



凡例

	表土鍬取り
	切土
	盛土
	推定這構面ライン

※施工時において文化財職員による掘削立会を行い確認しながら進める。

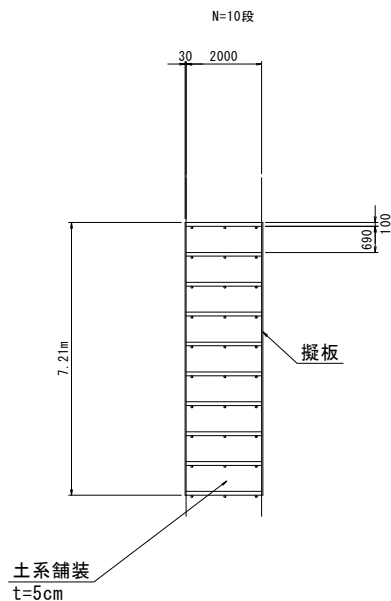
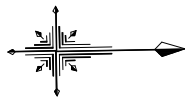


工事名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	整備断面図		
作成年月日	2023. 03. 24		
縮尺	1 : 50 (A1) 1 : 100 (A3)	図面番号	北土-03
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

階段工

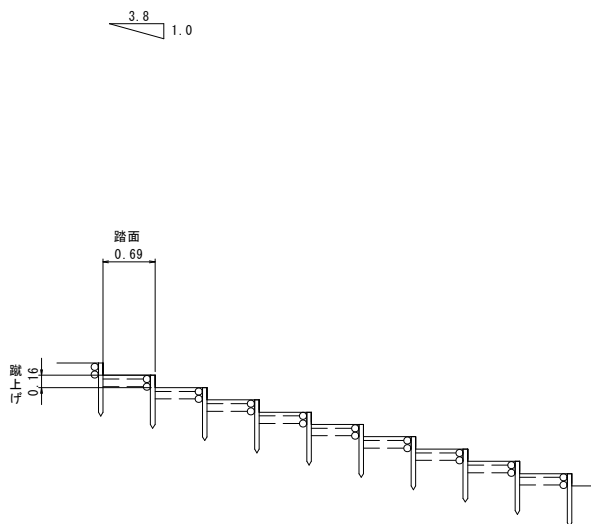
平面図

S=1:100



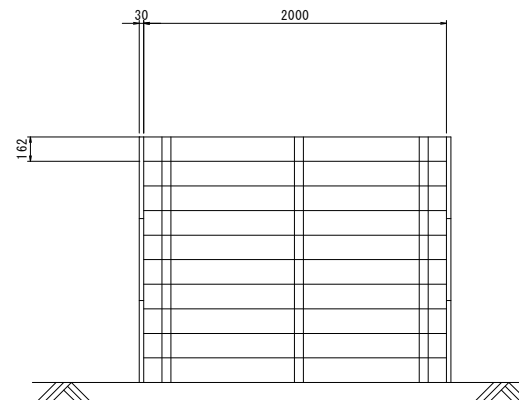
断面図

S=1:50



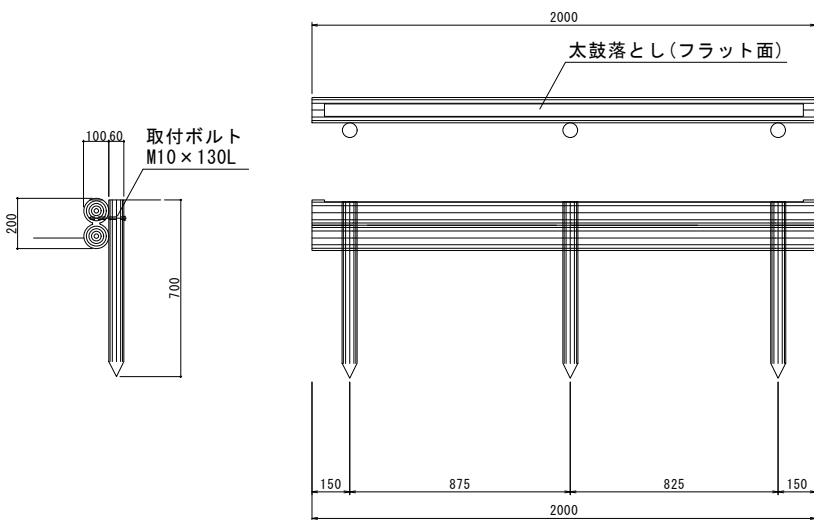
立面図

S=1:25



詳細図

S=1:15

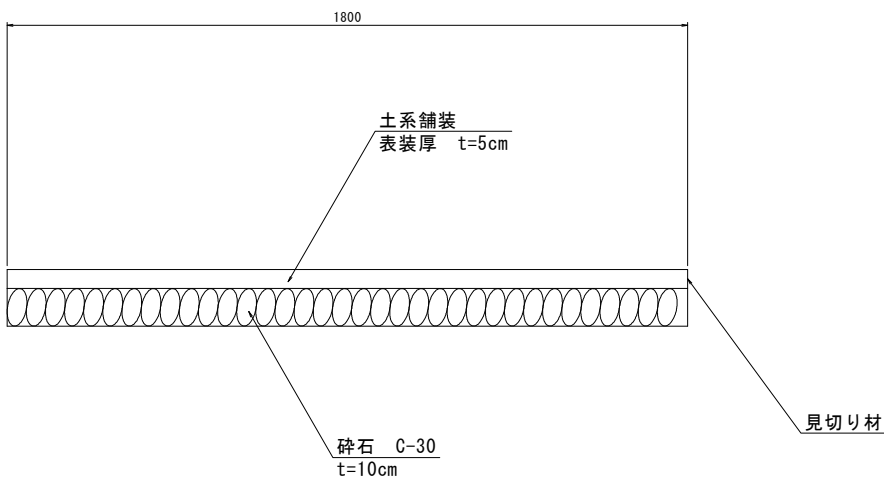


工事名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	階段工詳細図		
作成年月日	2023. 03. 24		
縮尺	図示 (A1) 図示の1/2 (A3)	図面番号	北土-04
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

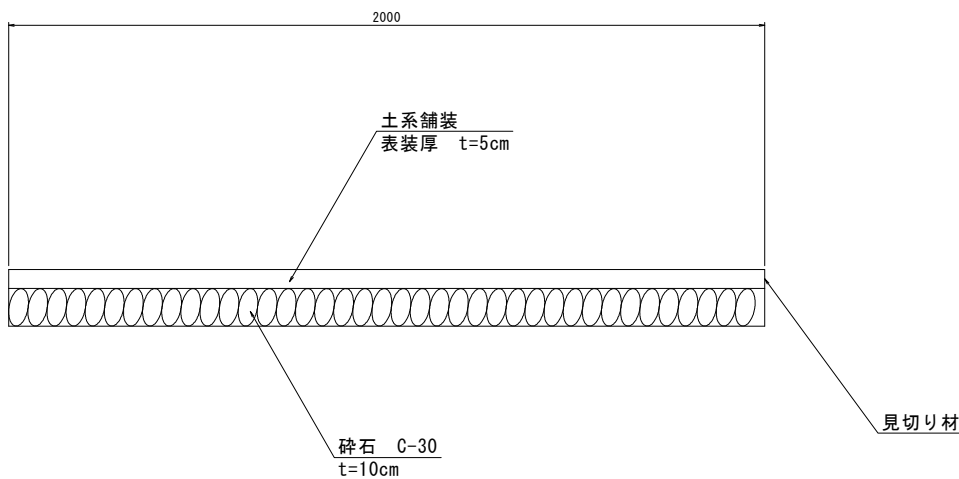
# 舗装工

S=1 : 10

標準断面図  
(北側園路部)



標準断面図  
(南側階段部)



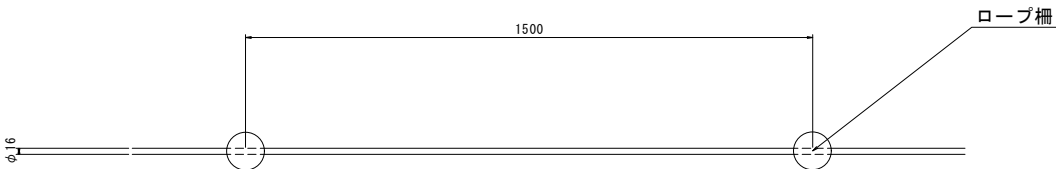
※舗装の色調は試験を行った後に、監督員の承諾を得た上で施工を行うこと。

工事名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	舗装工詳細図		
作成年月日	2023. 03. 24		
縮尺	1 : 10 (A1) 1 : 20 (A3)	図面番号	北土-05
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

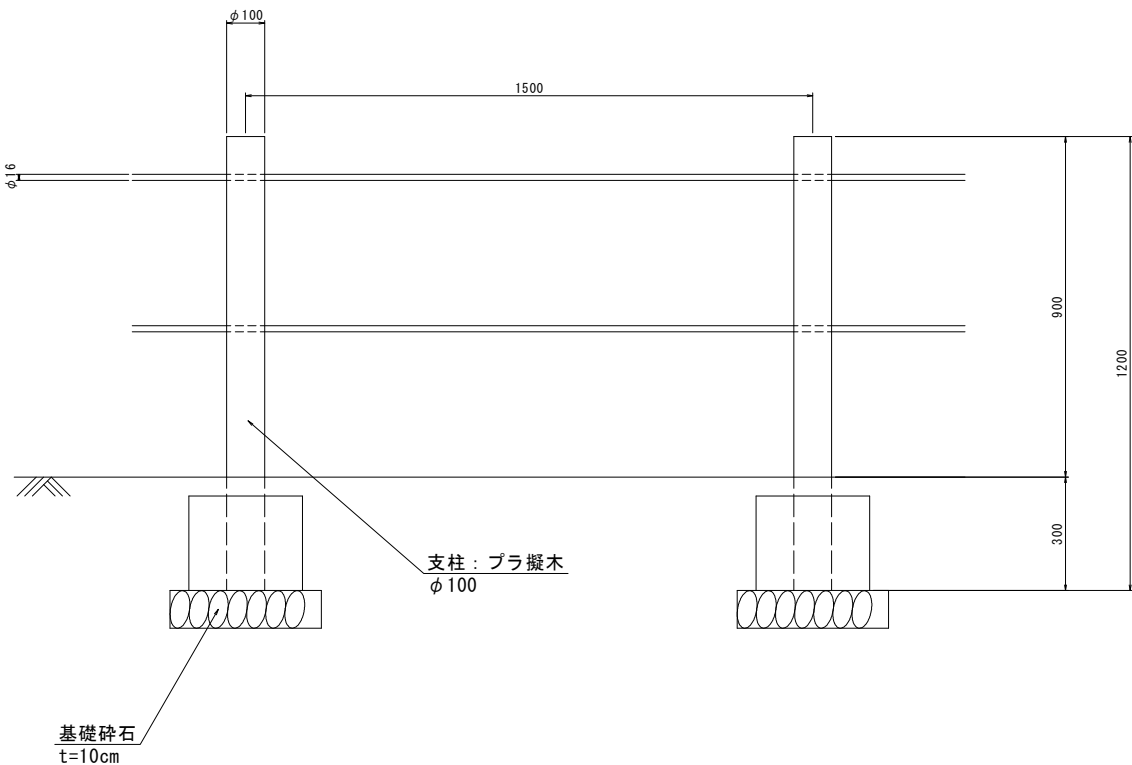
付属施設工

S=1 : 10

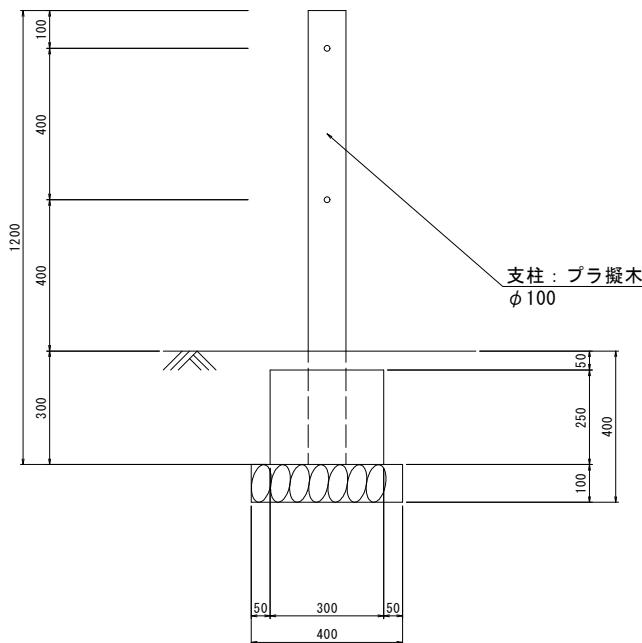
平面図



正面図



側面図



※施工時において文化財職員による据附立会を行い確認しながら進める。

工事名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	付属施設工詳細図		
作成年月日	2023. 03. 24		
縮尺	1 : 10 (A1) 1 : 20 (A3)	図面番号	北土-06
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		



植生工平面図

S=1 : 150

張芝 (ノシバ)  
A=20.0m2 × 1.031  
=20.6m2

植生工詳細図

S=1 : 20

張芝  
ノシバ

植栽客土  
t=10cm  
土壌改良材混合

工事名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	植生工平面図		
作成年月日	2023.03.24		
縮尺	図示 (A1) 図示の1/2 (A3)	図面番号	北土-07
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

覆屋内平面図

S=1:10



No. 8+4. 386

No. 8

No. 7

No. 6

No. 5

No. 4

No. 3

No. 2

No. 1

No. 0

4. 4m<sup>2</sup>

1. 3m<sup>2</sup>

0. 2m<sup>2</sup>

通  
路

凡例

■ 土舗装範囲

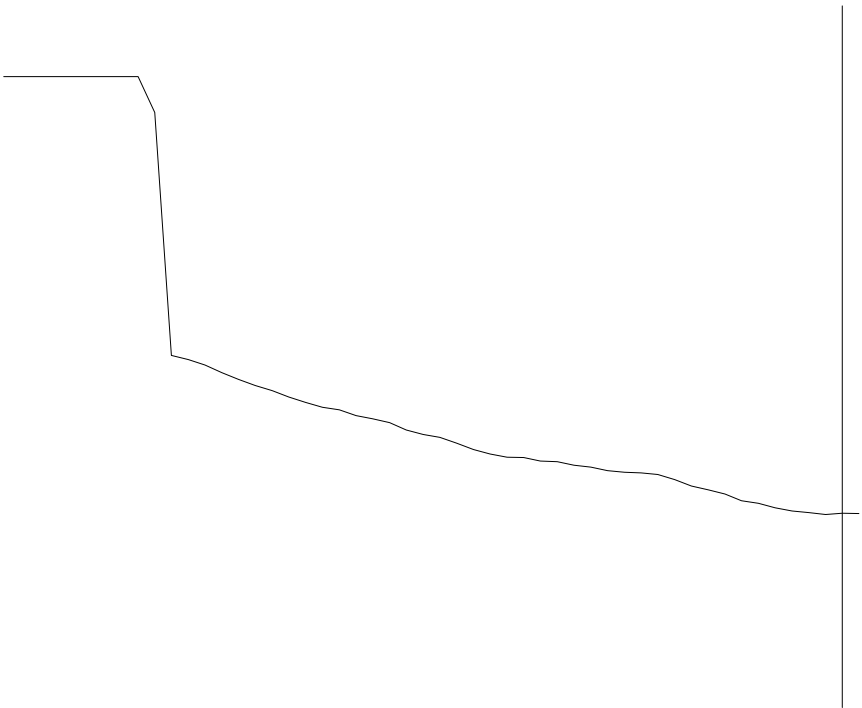


工事名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	覆屋内平面図		
作成年月日	2023. 03. 24		
縮尺	1:10 (A1) 1:20 (A3)	図面番号	北土-08
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

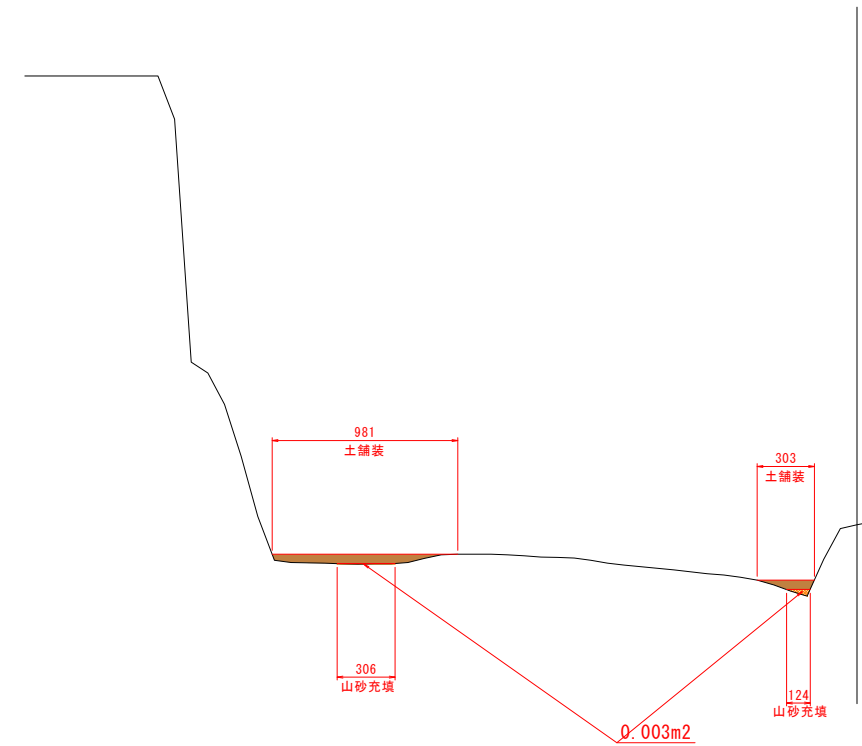
覆屋内断面図（1）

S=1:20

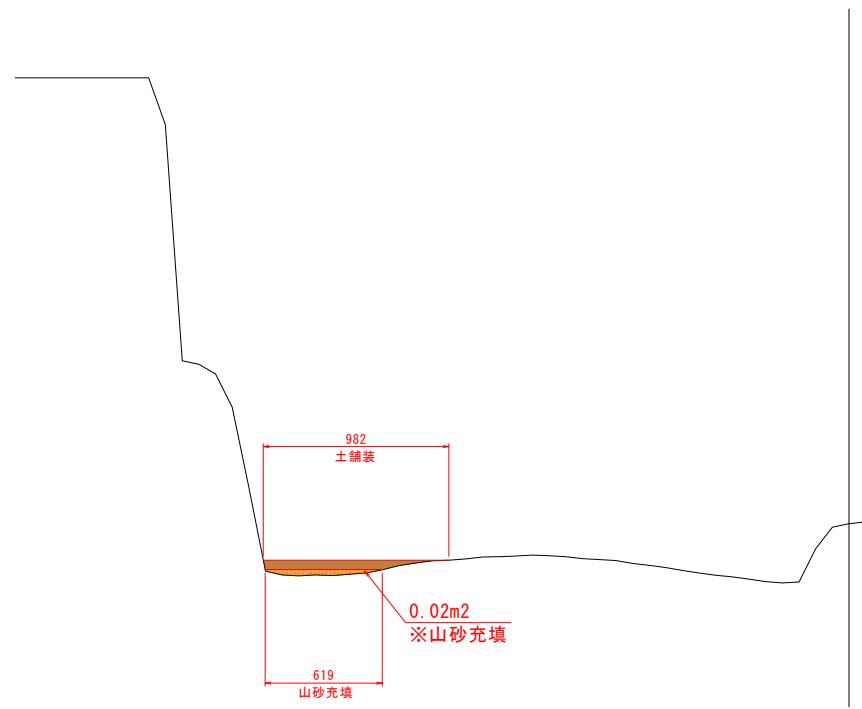
No. 0



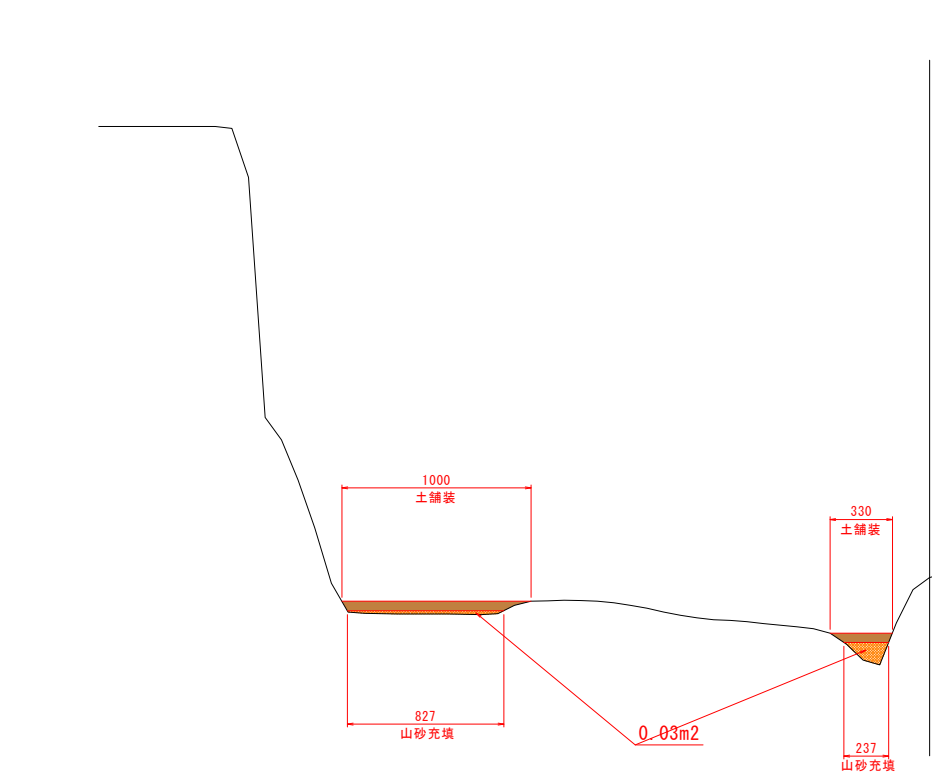
No. 2



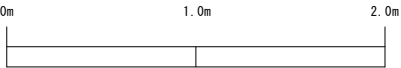
No. 1



No. 3



凡例	
	土系舗装
	山砂（充填材）

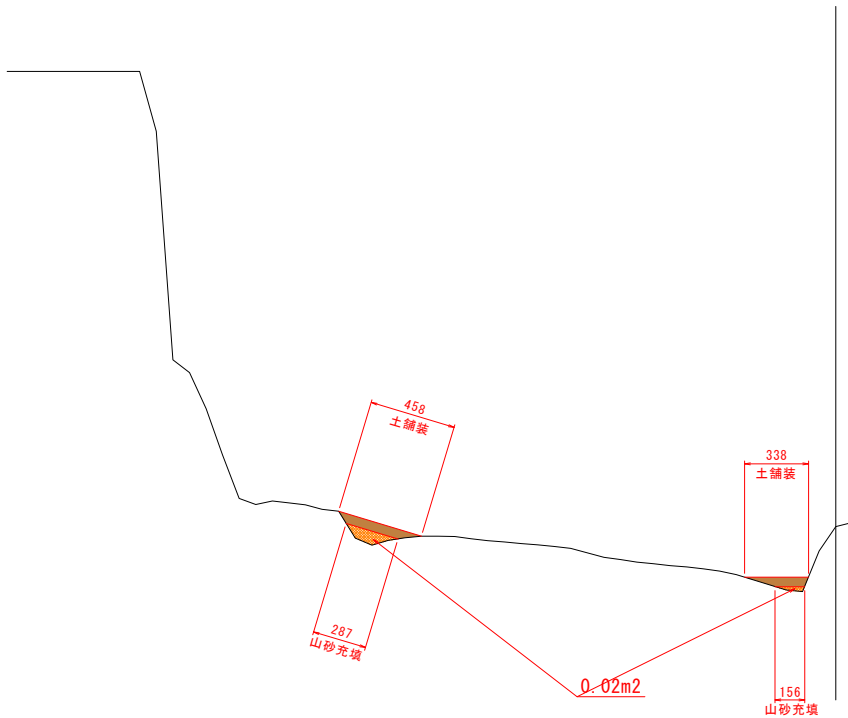


工事名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	覆屋内断面図（1）		
作成年月日	2023. 03. 24		
縮尺	1：20（A1） 1：40（A3）	図面番号	北土-09
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

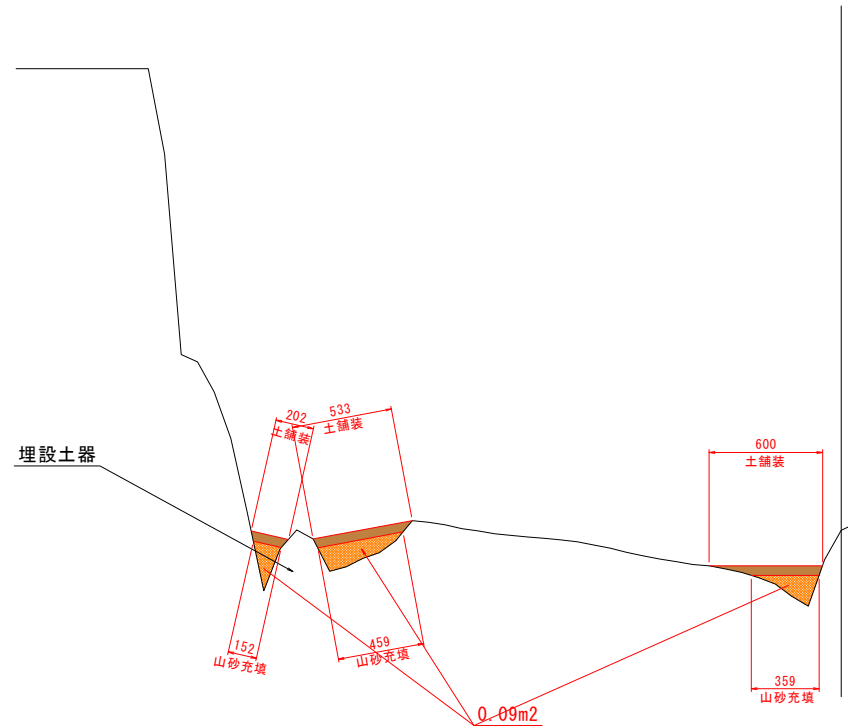
覆屋内断面図（2）

S=1:20

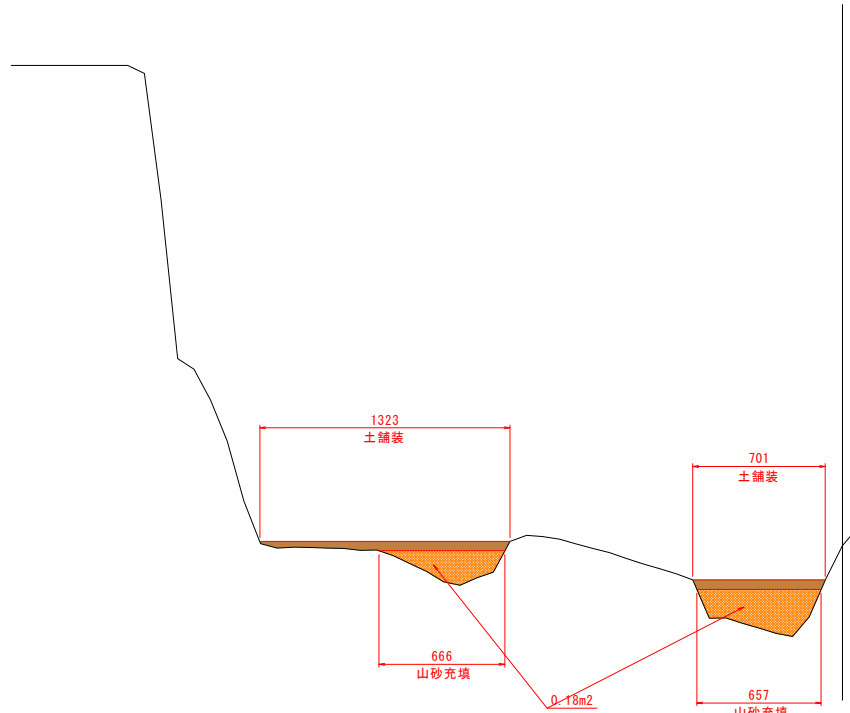
No. 4



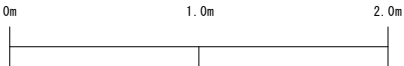
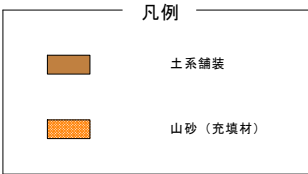
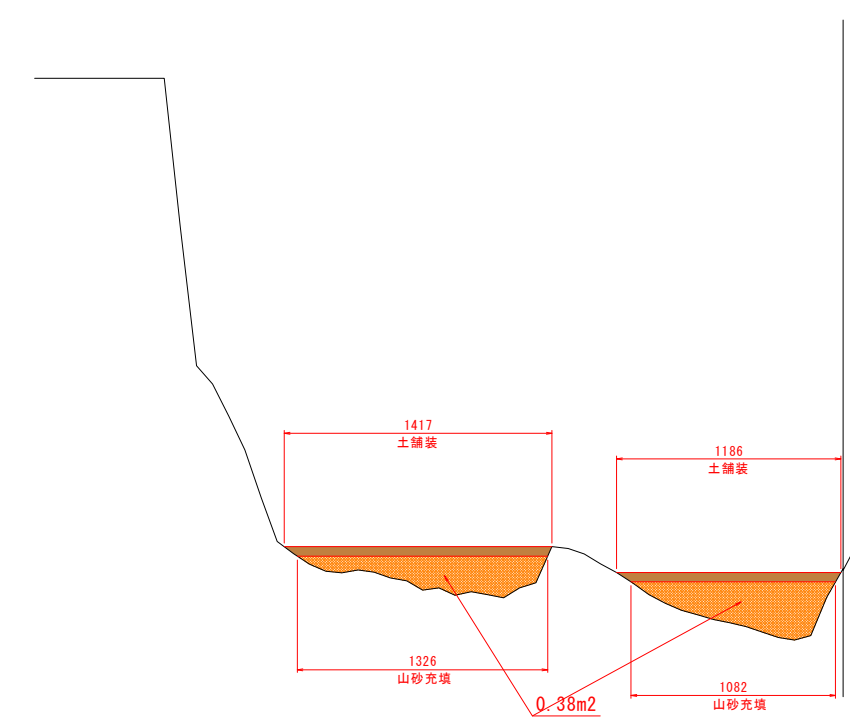
No. 5



No. 6



No. 7



工事名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	覆屋内断面図（2）		
作成年月日	2023. 03. 24		
縮尺	1：20（A1） 1：40（A3）	図面番号	北土-10
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

覆屋内断面図（3）

S=1:20

No. 8

No. 8+4.386

529  
土舗装  
64  
山砂充填

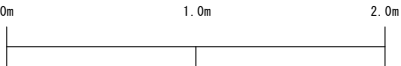
凡例



土系舗装



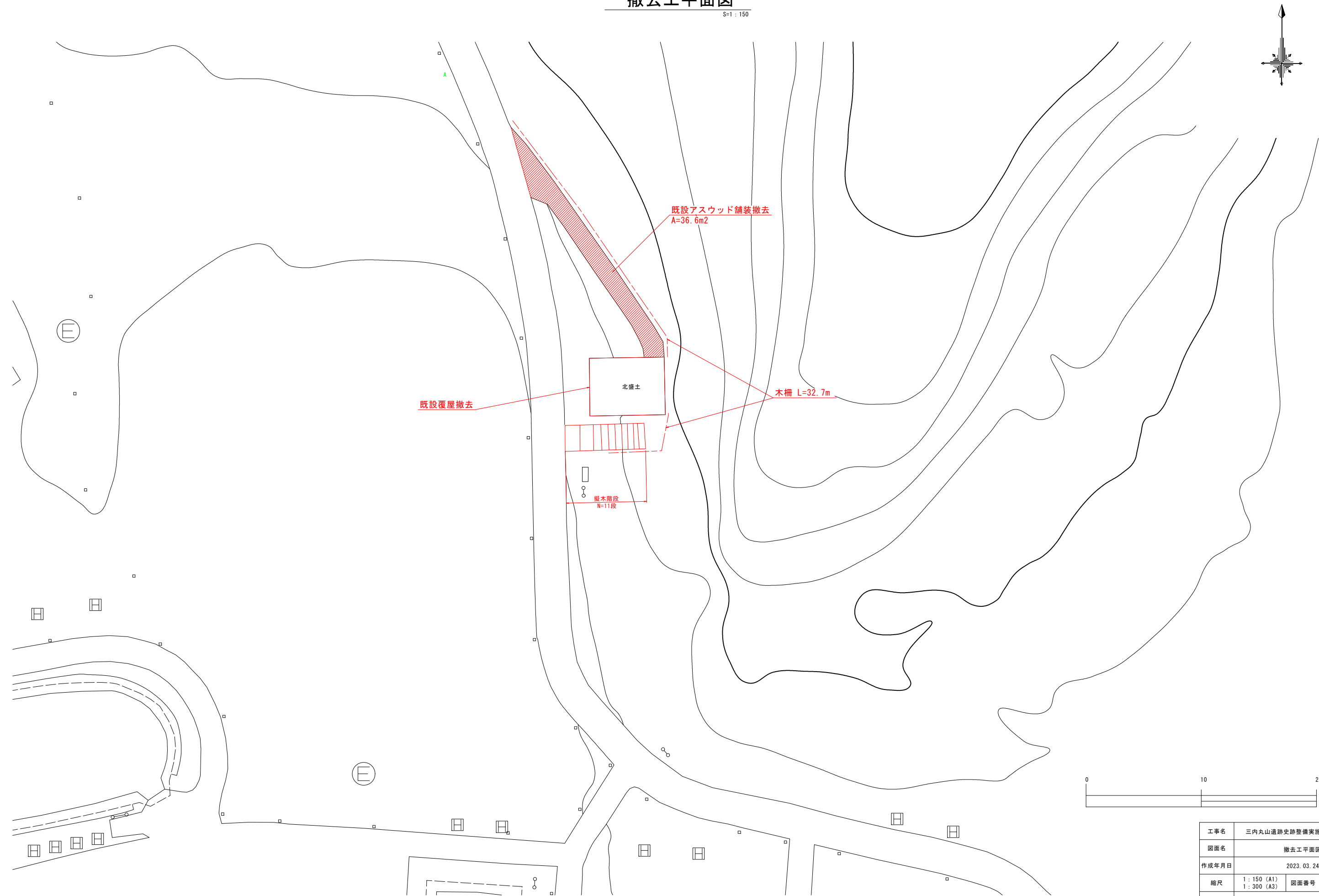
山砂（充填材）



工事名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	覆屋内断面図（3）		
作成年月日	2023. 03. 24		
縮尺	1：20（A1） 1：40（A3）	図面番号	北土-11
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

撤去工平面図

S=1 : 150

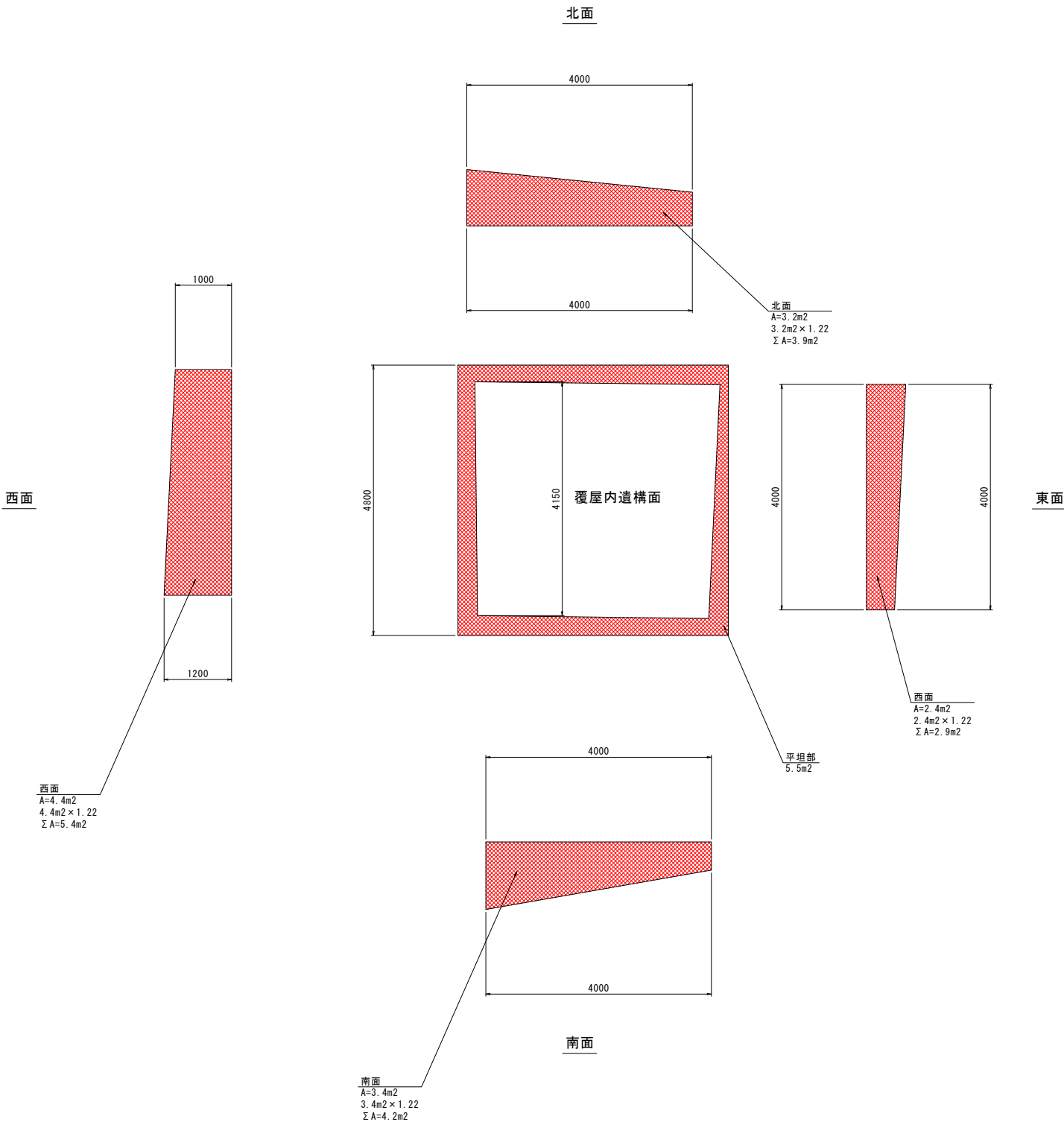


工事名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	撤去工平面図		
作成年月日	2023. 03. 24		
縮尺	1 : 150 (A1) 1 : 300 (A3)	図面番号	北土-12
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		



覆屋内壁面求積図

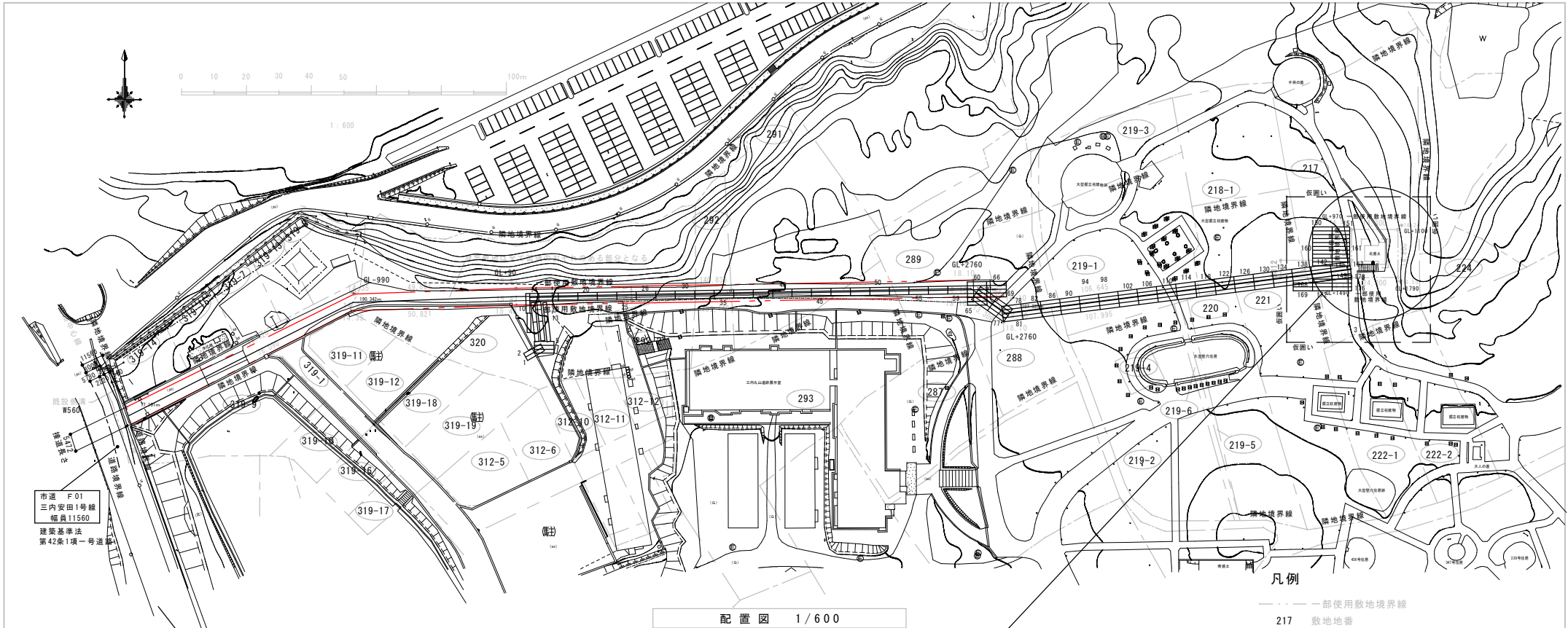
S=1 : 50



面積表

平坦部	5.5m <sup>2</sup>
東面	2.9m <sup>2</sup>
西面	5.4m <sup>2</sup>
南面	4.2m <sup>2</sup>
北面	3.9m <sup>2</sup>
計	21.9m <sup>2</sup>

工事名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	覆屋内壁面求積図		
作成年月日	2023. 03. 24		
縮尺	1 : 50 (A1) 1 : 100 (A3)	図面番号	北土-14
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		



市道 F01  
三内安田1号線  
幅員11560  
建築基準法  
第42条1項一号道路

配置図 1/600

凡例

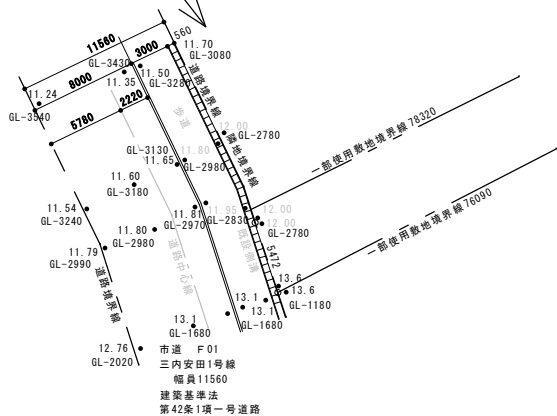
- 一部使用敷地境界線
- 217 敷地地番
- 00.00 標高高さ m
- 設計 GL (GL) は標高+15.34m

斜線制限の検討

- ・道路斜線の検討  
道路からの離れが約38mある事から明らかに道路斜線内となる
- ・隣地斜線の検討  
建物高さが20.00m以下のため明らかに隣地斜線内となる

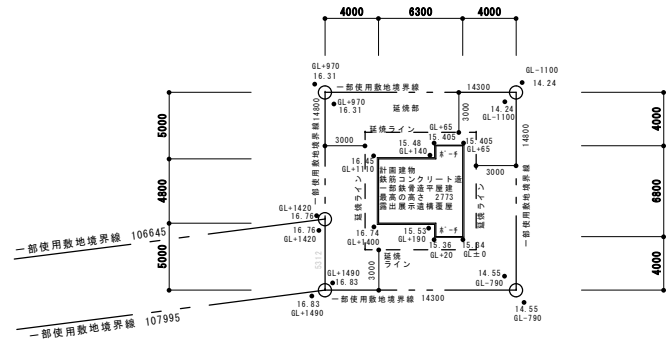
排水について

雨水排水は既設建物と同様に敷地地表面への自然排水とする



市道 F01  
三内安田1号線  
幅員11560  
建築基準法  
第42条1項一号道路

拡大配置図 1/200



株式会社 イビソク  
一級建築士事務所登録 岐阜県知事 第12615号  
一級建築士 建設大臣 第213684号 藤原秀樹  
岐阜県大垣市美穂町3丁目102番地  
Tel-0584-89-5507

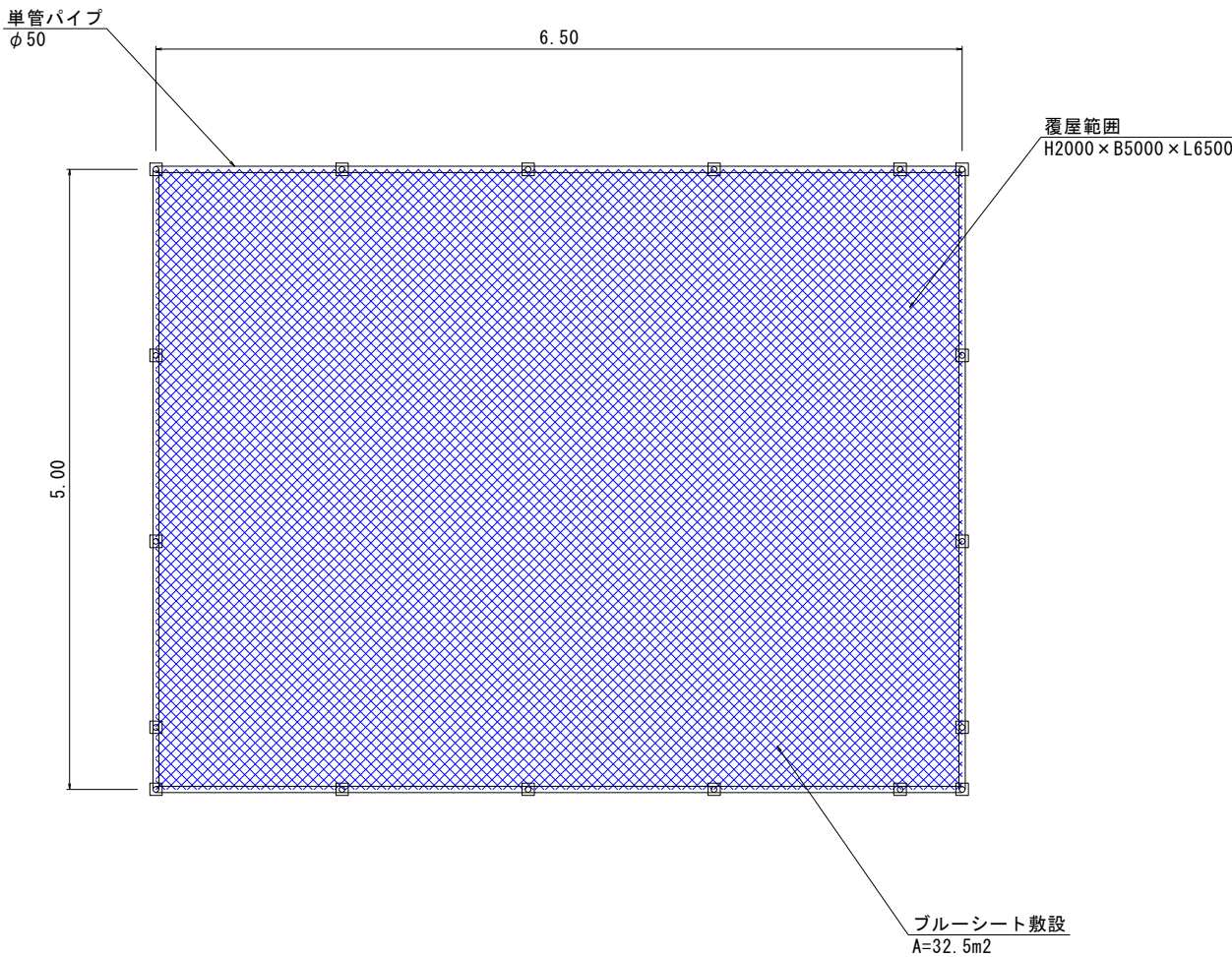
業務名	特別安田三内丸山道路 北郷土屋建築設計事務所 計画設計監理代行業務		
図面名	敷地面 (北郷土)		
作成年月日	2023年8月6日		
縮尺	A1: 全+600 A3: 全+1200	図面番号	北郷 意-011
会社名	株式会社イビソク		
事業内容	三内丸山道路センター		



工事仮設詳細図

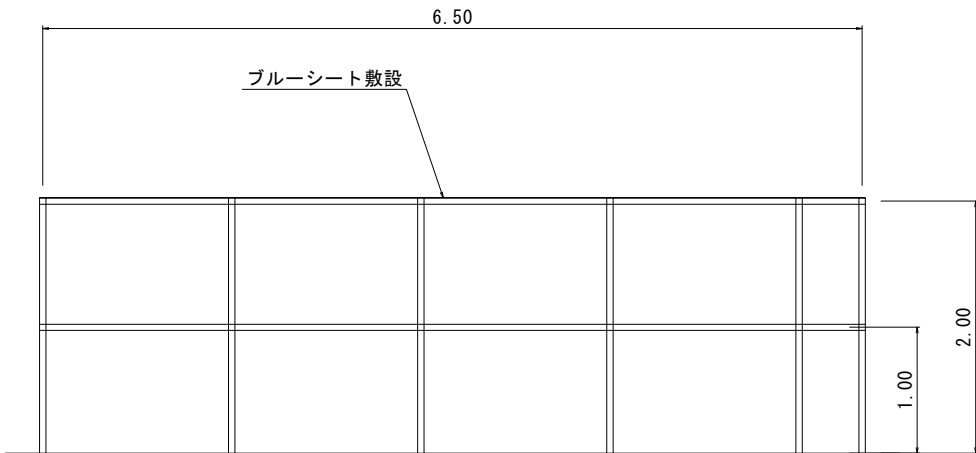
仮設覆屋平面図

S=1:30

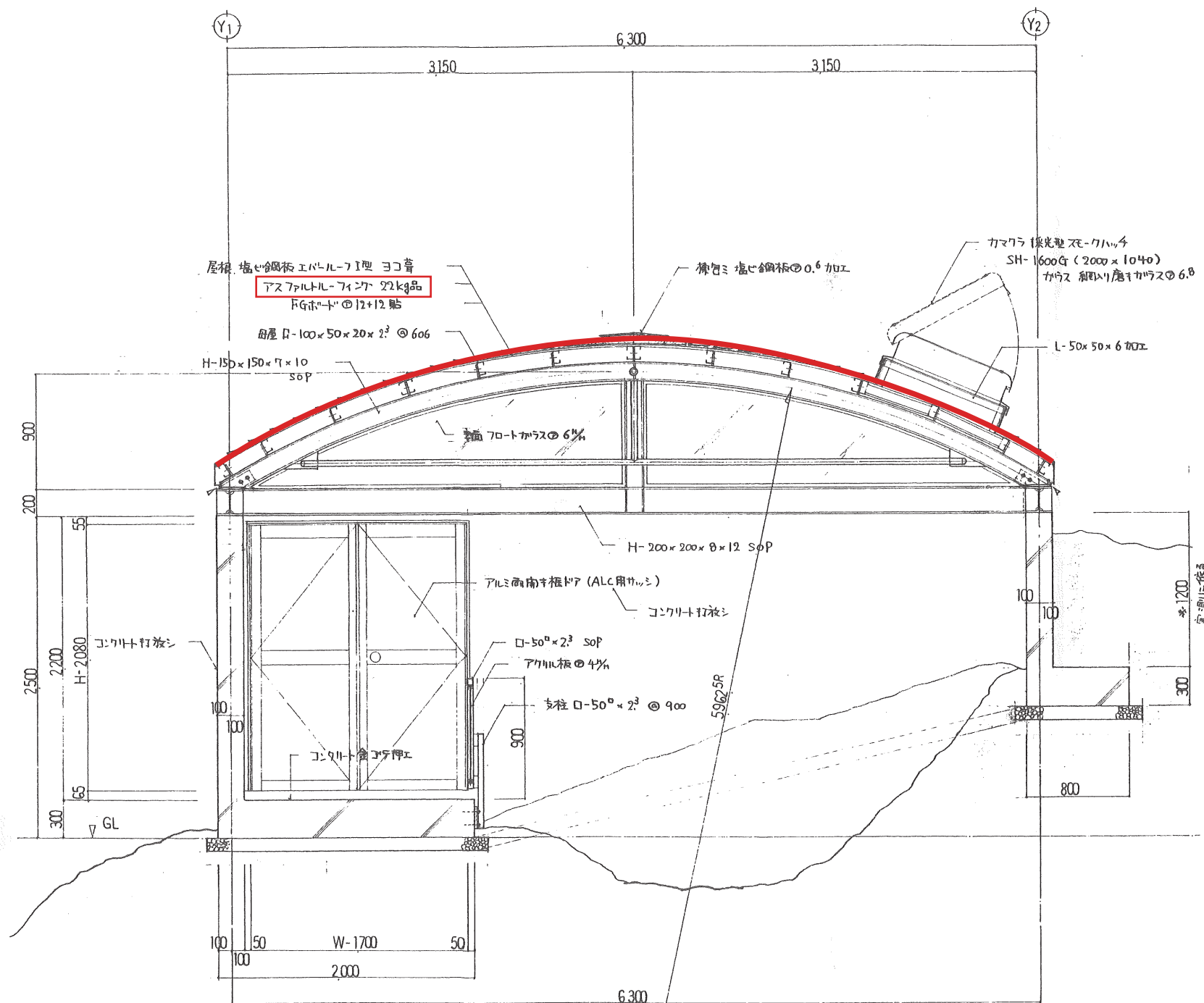


仮設覆屋立面図

S=1:30

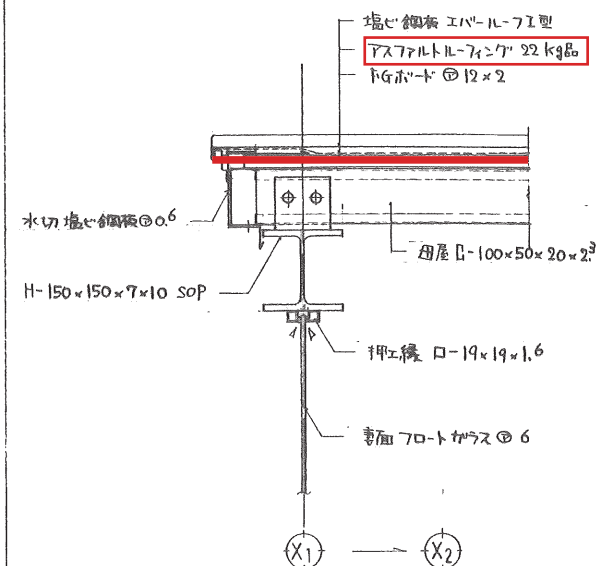


工事名	三内丸山遺跡史跡整備実施設計作成業務		
図面名	工事仮設詳細図		
作成年月日	2023. 03. 24		
縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	図面番号	北土-16
会社名	株式会社イビソク		
事業者名	三内丸山遺跡センター		

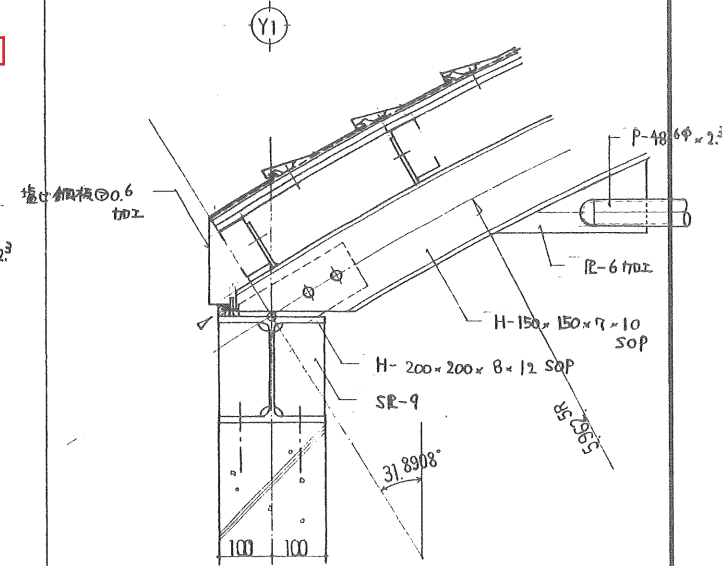


矩 計 図 S=1/30

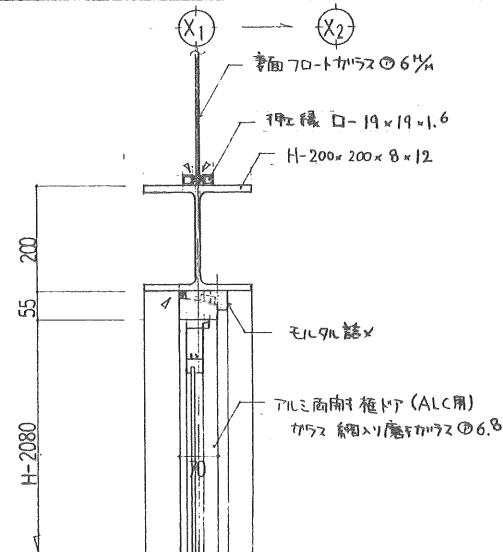
トラス廻り 詳細図 S=1/10



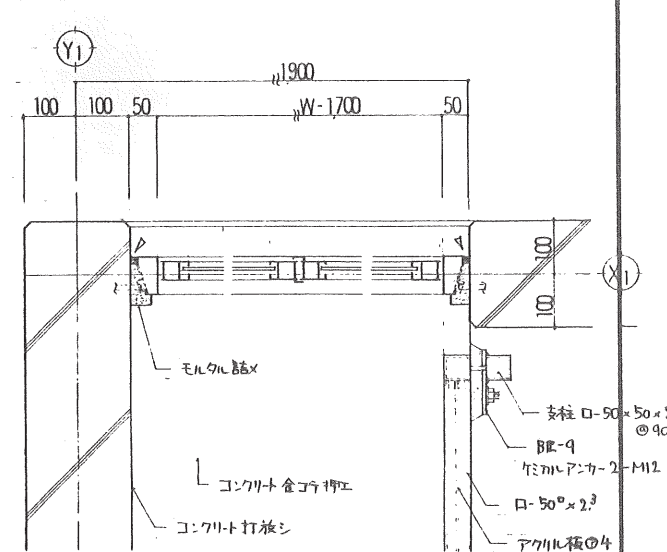
軒先廻り 詳細図 S=1/10



両面付植付廻り 詳細図 S=1/10



両面付植付廻り 詳細図 S=1/10

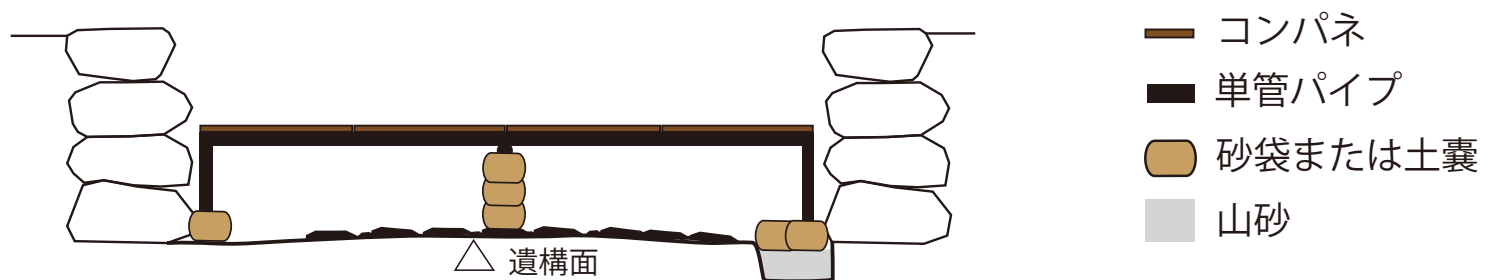




山砂を充填し、その上に土嚢を設置

必要に応じて砂袋または土嚢で被覆

北盛土 公開露出範囲の現況



北盛土の遺構養生の方法（模式図）